

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1	佛蘭西重商政策の一考證：モンクレチアン研究	竹内 謙二	1輯	1931(S6)
2	勞銀の勢力説	高田 保馬	1輯	1931(S6)
3	原始共産社会に於ける植民	長田 三郎	1輯	1931(S6)
4	重商主義確立時代の佛蘭西	竹内 謙二	2輯	1931(S6)
5	アモン教授の賃銀論：一つの「國民經濟」的理論	高橋 正雄	2輯	1931(S6)
6	原始共産社会に於ける植民	長田 三郎	2輯	1931(S6)
7	前進變動の理論	高田 保馬	2(1)	1932(S7)
8	ケインズの貨幣理論(一)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	2(1)	1932(S7)
9	レファイの爲替理論	大森 研造	2(1)	1932(S7)
10	貨幣理論の發展	大森 研造	2(2)	1932(S7)
11	『殖民』或は『植民』なる名辭に就いて	長田 三郎	2(2)	1932(S7)
12	ケインズの貨幣理論(二)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	2(2)	1932(S7)
13	アダム・スミスの土地所有形態論：彼れの地代論への理解のために	田中 定	2(2)	1932(S7)
14	ゴールドシャイドの財政學説と其批判：財政社會學の一節	米原 七之助	2(2)	1932(S7)
15	供給函數論	栗村 雄吉	2(2)	1932(S7)
16	ケインズの貨幣理論(三)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	3(1)	1933(S8)
17	再び『殖民』或は『植民』なる名辭に就いて：矢内原教授に重ねて問ふ	長田 三郎	3(1)	1933(S8)
18	コラムの財政學説の吟味	米原 七之助	3(1)	1933(S8)
19	獨占價格の理論	栗村 雄吉	3(1)	1933(S8)
20	アメリカの農業における最近の諸變化	田中 定	3(1)	1933(S8)
21	ケインズの貨幣理論(四)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	3(2)	1933(S8)
22	準獨占雙方獨占及補完獨占到於ける價格理論	栗村 雄吉	3(2)	1933(S8)
23	アメリカ農業に於ける恐慌對策とその効果	田中 定	3(2)	1933(S8)
24	財政社會學の最近の傾向	米原 七之助	3(2)	1933(S8)
25	ポーズの爲替理論	大森 研造	3(2)	1933(S8)
26	ケインズの貨幣理論(五)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	3(3)	1933(S8)
27	アダム・スミスの地代論	田中 定	3(3)	1933(S8)
28	一般均衡理論に於ける交換方程式の取扱に就いて	栗村 雄吉	3(3)	1933(S8)
29	爲替相場と貨幣數量説	大森 研造	3(3)	1933(S8)
30	ジョン・スチュアート・ミルの恐慌理論	谷口 吉彦	3(4)	1933(S8)
31	投機と爲替相場	大森 研造	3(4)	1933(S8)
32	價格決定機構に於ける貨幣流通速度	栗村 雄吉	3(4)	1933(S8)
33	租税原則論の一考察	米原 七之助	3(4)	1933(S8)
34	アダム・スミスの地代論	田中 定	3(4)	1933(S8)
35	一九三二年の増税法案に就いて：アメリカ財政史の一節	井手 文雄	3(4)	1933(S8)
36	勢力なくして利子なしと云ふ理論	高田 保馬	4(1)	1934(S9)
37	ケインズの貨幣理論(六)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	4(1)	1934(S9)
38	リカアの地代論(一)	田中 定	4(1)	1934(S9)
39	ハイエクの景氣學説	米原 七之助	4(1)	1934(S9)
40	限界生産力説の吟味	栗村 雄吉	4(1)	1934(S9)
41	ケインズの貨幣理論(七)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	4(2)	1934(S9)
42	労働概念の吟味	森 耕二郎	4(2)	1934(S9)
43	貨幣の限界効用と價格一般：附 柴田敬学士に答ふ	栗村 雄吉	4(2)	1934(S9)
44	「日田金」の研究(一)：徳川時代商業資本發展の一例	遠藤 正男	4(2)	1934(S9)
45	リカアの地代論(二)	田中 定	4(2)	1934(S9)
46	構成的失業について	馬場 克三	4(2)	1934(S9)
47	高・低勞賃政策の理論	森 耕二郎	4(3)	1934(S9)
48	信用と景氣變動の問題：シユムペーター及びハーンの理論の吟味	波多野 鼎	4(3)	1934(S9)
49	需要曲線及供給曲線の統計的測定の可能條件	栗村 雄吉	4(3)	1934(S9)
50	「日田金」の研究(二)：徳川時代商業資本發展の一例	遠藤 正男	4(3)	1934(S9)
51	リカアの地代論[三・完]	田中 定	4(3)	1934(S9)
52	『國民的勞賃』：勞賃の國際的比較の問題	森 耕二郎	4(4)	1934(S9)
53	信用循環論：景氣循環は信用循環である(ホオトレー)	波多野 鼎	4(4)	1934(S9)
54	財政の性質	米原 七之助	4(4)	1934(S9)
55	企業集中機構としての再保險	馬場 克三	4(4)	1934(S9)
56	ケインズの貨幣理論(八)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	4(4)	1934(S9)
57	信用循環論：景氣循環は信用循環である(ホオトレー)	波多野 鼎	5(1)	1935(S10)
58	シユルツ統計的需要曲線を評す	栗村 雄吉	5(1)	1935(S10)
59	幕末北九州の製蠟事業：「日田金」による資本制家内労働・マニユファクチュアの形成過程	遠藤 正男	5(1)	1935(S10)
60	十九世紀末世界農業恐慌	田中 定	5(1)	1935(S10)
61	ケインズの貨幣理論(九)：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	5(1)	1935(S10)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
62	我國中小工業の現段階的意義	森 耕二郎	5(2)	1935(S10)
63	ハイエーク批判	波多野 鼎	5(2)	1935(S10)
64	限界效用新測定法の陥穽	栗村 雄吉	5(2)	1935(S10)
65	十九世紀末世界農業恐慌（下）	田中 定	5(2)	1935(S10)
66	資本形成と課税の問題	米原 七之助	5(2)	1935(S10)
67	ケインズの貨幣理論（十）：“A TREATISE ON MONEY”の研究	高橋 正雄	5(2)	1935(S10)
68	保険會社貸附資本とその原價	馬場 克三	5(2)	1935(S10)
69	景氣變動の必然性	波多野 鼎	6(1)	1936(S11)
70	筑豊石炭業に於ける初期會社企業	遠藤 正男	6(1)	1936(S11)
71	保険料の經濟學的性質	馬場 克三	6(1)	1936(S11)
72	聯關財の需要及供給について	栗村 雄吉	6(1)	1936(S11)
73	マルサスの地代論	田中 定	6(1)	1936(S11)
74	節約の理論	栗村 雄吉	6(2)	1936(S11)
75	徳川時代の炭坑労働者	遠藤 正男	6(2)	1936(S11)
76	最近に於ける我國労働者状態	森 耕二郎	6(2)	1936(S11)
77	マルサスの地代論	田中 定	6(2)	1936(S11)
78	リンドベルヒのベエム批判を繞りて	松山 茂二郎	6(2)	1936(S11)
79	最近に於ける我國労働者状態（下）	森 耕二郎	6(3)	1936(S11)
80	幕末鯨漁業に於ける經營形態	遠藤 正男	6(3)	1936(S11)
81	獨占財に對する租税の影響に就て	栗村 雄吉	6(3)	1936(S11)
82	租税の排轉に就て	米原 七之助	6(3)	1936(S11)
83	ジエ・エス・ミルの地代論（一）	田中 定	6(3)	1936(S11)
84	戦費調達上の租税主義：リカアドウの研究	井手 文雄	6(3)	1936(S11)
85	印度土地改革の研究	今井 長二郎	6(3)	1936(S11)
86	商店法案の再検討	谷口 吉彦	6(4)	1937(S12)
87	銀山に於ける近代的労働者の萌芽：徳川時代對馬國諸銀山の労働者状態	遠藤 正男	6(4)	1937(S12)
88	重商主義の國內商業統制：國內商業に於ける自由と統制（一）	堀 新一	6(4)	1937(S12)
89	貨幣價値の歴史的連續性の問題	栗村 雄吉	6(4)	1937(S12)
90	ジエ・エス・ミルの地代論（二）	田中 定	6(4)	1937(S12)
91	レーデラアの獨占論：景氣循環過程との關聯における	土岐 強	6(4)	1937(S12)
92	景氣上昇の理論	波多野 鼎	7(1)	1937(S12)
93	交換に於ける貨幣存在の論理的必然性	栗村 雄吉	7(1)	1937(S12)
94	ジエ・エス・ミルの地代論（三・完）	田中 定	7(1)	1937(S12)
95	再生産と不況克服の過程：諸理論の吟味	馬場 克三	7(1)	1937(S12)
96	マールの貨幣的景氣政策論に就て	森 茂樹	7(1)	1937(S12)
97	近世の町方奉公人と賃労働	遠藤 正男	7(2)	1937(S12)
98	政治概念に就て	米原 七之助	7(2)	1937(S12)
99	國內商業に於ける自由と統制（二）：ケネーの商業理論	堀 新一	7(2)	1937(S12)
100	貨幣の根本機能に關する考察	栗村 雄吉	7(2)	1937(S12)
101	恐慌の理論	波多野 鼎	7(2)	1937(S12)
102	アダス・スミス利子論、利附貸付資本論の基本的特質	高木 暢哉	7(2)	1937(S12)
103	財政の比較研究方法を論ず / 特に、所謂財政負擔の比較を中心として	三田村 一郎	7(3)	1937(S12)
104	完全競争の理論 / その一 労働対象の特性の問題	栗村 雄吉	7(3)	1937(S12)
105	農業機械論	田中 定	7(3)	1937(S12)
106	明治初期の労働者と労働問題	遠藤 正男	7(3)	1937(S12)
107	固定資本と恐慌	吉村 正晴	7(3)	1937(S12)
108	減價償却の一吟味	馬場 克三	7(4)	1937(S12)
109	明治初期に於ける労働者の状態(二)：軍需的諸産業に於ける労働事情	遠藤 正男	7(4)	1937(S12)
110	リチャード・カンチロンの商業理論(上)	堀 新一	7(4)	1937(S12)
111	貨幣の根本機能に關して高田博士に教を乞ふ	栗村 雄吉	7(4)	1937(S12)
112	農業機械論：その二 土地条件の諸問題	田中 定	7(4)	1937(S12)
113	支那茶業の研究	今井 長二郎	7(4)	1937(S12)
114	ダムピングの理論	栗村 雄吉	8(1)	1938(S13)
115	グロースマンの減價償却論	馬場 克三	8(1)	1938(S13)
116	公共財の問題：財政学に於ける財に就て	米原 七之助	8(1)	1938(S13)
117	農業機械論：その三 土地經濟論上の諸問題	田中 定	8(1)	1938(S13)
118	減價償却に於ける利子の問題	馬場 克三	8(2)	1938(S13)
119	リチャード・カンチロンの商業理論（下）	堀 新一	8(2)	1938(S13)
120	カルテルと景氣變動	波多野 鼎	8(2)	1938(S13)
121	節約投資問題への覺書	栗村 雄吉	8(2)	1938(S13)
122	古典學派資本利子説	高木 暢哉	8(2)	1938(S13)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
123	固定資本財の寿命・自動性	栗村 雄吉	8(3)	1939(S14)
124	ナチス・ドイツの金融政策	波多野 鼎	8(3)	1939(S14)
125	輸入農業機械と吾國農業：福岡縣谷垣農業の事例に就て	田中 定	8(3)	1939(S14)
126	經費作用の二形態	米原 七之助	8(3)	1939(S14)
127	爲替相場における支拂差額の意義	吉村 正晴	8(3)	1939(S14)
128	有機的学説に於ける減価償却論	馬場 克三	8(4)	1939(S14)
129	甘蔗栽培起源考	小野 武夫	8(4)	1939(S14)
130	福岡県大和村に於ける自動耕耘機状況	田中 定	8(4)	1939(S14)
131	價格の理論と貨幣價値の理論	栗村 雄吉	8(4)	1939(S14)
132	比較生産費原理の研究	吉村 正晴	9(1)	1939(S14)
133	信用經濟段階における金融統制論の理論構造的批判	岡橋 保	9(1)	1939(S14)
134	均衡安定の条件について	栗村 雄吉	9(1)	1939(S14)
135	佐賀県平坦地帯一農村の分析	田中 定	9(1)	1939(S14)
136	供給に関する考察一束	栗村 雄吉	9(2)	1940(S15)
137	減価償却論に於けるジモンとフィッシャー	馬場 克三	9(2)	1940(S15)
138	為替心理説の批判	岡橋 保	9(2)	1940(S15)
139	經費と租税：軍事費を中心として	米原 七之助	9(2)	1940(S15)
140	預金貨幣の生成と構成	高木 暢哉	9(3)	1940(S15)
141	佐賀県農業論(一)：實體調査の分析 耕地その一	田中 定	9(3)	1940(S15)
142	減価償却論に於けるジモンとフィッシャー(二)	馬場 克三	9(3)	1940(S15)
143	節約、投資、所得の時形態	栗村 雄吉	9(4)	1940(S15)
144	佐賀縣農業論：實體調査の分析 耕地その二	田中 定	9(4)	1940(S15)
145	休息貨幣と信用	高木 暢哉	9(4)	1940(S15)
146	國際分業の諸問題	吉村 正晴	9(4)	1940(S15)
147	銀行券について	岡橋 保	9(4)	1940(S15)
148	減価償却論に於ける評価の問題	馬場 克三	9(4)	1940(S15)
149	所得税と物価	米原 七之助	10(1)	1941(S16)
150	國際分業の諸問題(二)	吉村 正晴	10(1)	1941(S16)
151	減価償却論に於ける評価の問題(二)	馬場 克三	10(1)	1941(S16)
152	休息貨幣と信用(二)	高木 暢哉	10(1)	1941(S16)
153	預金貨幣論	岡橋 保	10(2)	1941(S16)
154	重商主義利子思想(一)	高木 暢哉	10(2)	1941(S16)
155	國際分業の諸問題(三)	吉村 正晴	10(2)	1941(S16)
156	二資料法に就いて：エコノメトリックスの一節	栗村 雄吉	10(3/4)	1941(S16)
157	金融流通における貨幣の休息	高木 暢哉	10(3/4)	1941(S16)
158	我國輸出貿易の形態的分析	吉村 正晴	10(3/4)	1941(S16)
159	投資誘因と所得税	米原 七之助	11(1)	1942(S17)
160	出納預金の研究	高木 暢哉	11(1)	1942(S17)
161	需要曲線に關するマルシャクの方法に就いて	栗村 雄吉	11(1)	1942(S17)
162	フランスに於ける社会經濟史学	宮本 又次	11(2)	1943(S18)
163	十九世紀獨逸の農業人口移動の諸過程：海外移住より内國殖民まで	竹内 英夫	11(2)	1943(S18)
164	蓄藏貨幣について	岡橋 保	11(2)	1943(S18)
165	戰國諸侯の經濟政策と統制	宮本 又次	12(1)	1944(S19)
166	振替的出納預金について(一)	高木 暢哉	12(1)	1944(S19)
167	戰時最低賃銀と国民生活論：戰時賃銀論の一	森 耕二郎	12(2)	1944(S19)
168	年雇を使用すること多き地帯に於ける家族勞作經營の育成	田中 定	12(2)	1944(S19)
169	賃銀形態の問題：戰時賃金論の二	森 耕二郎	13(1)	1945(S20)
170	累進税に就て	米原 七之助	13(1)	1945(S20)
171	防穀令事件と日清戰爭	宮本 又次	13(1)	1945(S20)
172	經濟的發展と信用貨幣	岡橋 保	13(2)	1947(S22)
173	日清戰爭の戰後經營と貿易擴張策	宮本 又次	13(2)	1947(S22)
174	振替預金の構造(一)	高木 暢哉	13(2)	1947(S22)
175	賃銀引上と物價	栗村 雄吉	13(2)	1947(S22)
176	手許現金の貨幣規定的分析	岡橋 保	14(1)	1948(S23)
177	振替預金の構造(二)	高木 暢哉	14(1)	1948(S23)
178	日清戰爭の戰後經營と貿易擴張策(下)	宮本 又次	14(1)	1948(S23)
179	俵物一手請方と俵物役所の成立	宮本 又次	14(2)	1948(S23)
180	經濟學史の豫備概念	高木 暢哉	14(2)	1948(S23)
181	投資節約の恒等に就て	伊藤 岩	14(2)	1948(S23)
182	土地所有と資本：地代論研究ノート(一)	湯村 武人	14(2)	1948(S23)
183	新爲替レートと安定恐慌：木村教授の圓高レート論に寄せて	岡橋 保	15(1/2)	1949(S24)
184	俵物役所の構成とその買集め仕法	宮本 又次	15(1/2)	1949(S24)
185	銀行業務の分析	高木 暢哉	15(1/2)	1949(S24)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
186	経済学批判の成立：批判原理の生成	副田 満輝	15(1/2)	1949(S24)
187	産業と職業の分類について	高橋 正雄	15(3/4)	1950(S25)
188	経済現象の歴史性について：小泉信三氏の『経済学論』を読む	向坂 逸郎	15(3/4)	1950(S25)
189	雇用人の労働と農業の構造	田中 定	15(3/4)	1950(S25)
190	納屋制度と炭鉱賃金：近代的賃金関係の成立過程	馬場 克三	15(3/4)	1950(S25)
191	リカードの資本蓄積理論における「機械論」の意義	岡 茂男	15(3/4)	1950(S25)
192	世界市場と価値法則	吉村 正晴	16(1)	1950(S25)
193	デフレーションと金の問題：宮田教授のデフレーション論批判	岡橋 保	16(1)	1950(S25)
194	徳川期九州に於ける農村奉公人の諸相	秀村 選三	16(1)	1950(S25)
195	2分法に関する論争	栗村 雄吉	16(2)	1950(S25)
196	対馬藩村落の身分構成：若干の資料紹介	宮本 又次	16(2)	1950(S25)
197	経済学批判の成立（二）：産力の疎外	副田 満輝	16(2)	1950(S25)
198	労働組合の必然性について（一）：その経済理論的考察	奥田 八二	16(2)	1950(S25)
199	アダム・スミスの蓄積論（一）	高木 暢哉	16(3)	1950(S25)
200	対馬藩の土地制度と貢租	宮本 又次	16(3)	1950(S25)
201	労賃形態の展開（一）	正田 誠一	16(3)	1950(S25)
202	ネッケルとフランス革命	湯村 武人	16(3)	1950(S25)
203	労働組合の必然性について（二）：その経済理論的考察	奥田 八二	16(3)	1950(S25)
204	律令農民の分解と農民賑給について	原田 敏丸	16(3)	1950(S25)
205	英国に於ける産業資本家の出自	宮本 又次	16(4)	1951(S26)
206	ケインズの労働価値説	高橋 正雄	16(4)	1951(S26)
207	信用創造論に於ける技術主義の批判	岡橋 保	16(4)	1951(S26)
208	アダムスミスの蓄積論（二）	高木 暢哉	16(4)	1951(S26)
209	減価償却と経営財務	馬場 克三	16(4)	1951(S26)
210	装置工業序論	三戸 公	16(4)	1951(S26)
211	デフレーション恐慌論	岡橋 保	17(1)	1951(S26)
212	フランス絶対王政とブルジョワジー	湯村 武人	17(1)	1951(S26)
213	古代日本に於ける交換の由来と型式	原田 敏丸	17(1)	1951(S26)
214	『ライン新聞』におけるマルクスの思想（一）	向坂 逸郎	17(1)	1951(S26)
215	ピグーの経済学：“Income”を読んで	高橋 正雄	17(2)	1951(S26)
216	久留米藩における藩札行事歴	作道 洋太郎	17(2)	1951(S26)
217	外国貿易と価値法則：最近の国際価値論争によせて	小野 朝男	17(2)	1951(S26)
218	経営学方法序論	馬場 克三	18(1)	1952(S27)
219	古典古代に於ける農耕的と商工的（下）	宮本 又次	18(1)	1952(S27)
220	徳川期九州に於ける捕鯨業の労働関係（一）	秀村 選三	18(1)	1952(S27)
221	蓄蔵貨幣の形態	竹村 脩一	18(1)	1952(S27)
222	銀行学派の物価変動理論及び銀行機能に関する研究：特にT・トゥークを中心として：第一部 物価変動の一般理論：T・トゥークの所得数量説批判を中心として	松井 安信	18(1)	1952(S27)
223	装置の特異的性格：装置工業論序説（その二）	三戸 公	18(1)	1952(S27)
224	安定の経済学（一）：米国経済学研究	高橋 正雄	18(2)	1952(S27)
225	戦後の日本貿易の基調	吉村 正晴	18(2)	1952(S27)
226	徳川期九州に於ける捕鯨業の労働関係（二）	秀村 選三	18(2)	1952(S27)
227	紙幣流通の法則と貨幣数量説：インフレ・デフレの本質確認のために	岡橋 保	18(3)	1953(S28)
228	再生産と流通（一）：問題と展望	高木 暢哉	18(3)	1953(S28)
229	フランス絶対王政とアンタンダン	湯村 武人	18(3)	1953(S28)
230	労賃格差の法則	吉村 朔夫	18(3)	1953(S28)
231	株式プレミアムの本質について：資本剰余論 その一	内川 菊義	18(3)	1953(S28)
232	シュムペーターとマルクス	向坂 逸郎	18(4)	1953(S28)
233	J. スチュアートの信用論	高木 暢哉	18(4)	1953(S28)
234	物価変動及び銀行機能に関する研究：T. トゥークを中心として（二）	松井 安信	18(4)	1953(S28)
235	通貨論争についての一考察：「パーマーの定則」をめぐる	寺園 徳一郎	18(4)	1953(S28)
236	金の価値と価格	岡橋 保	19(1)	1953(S28)
237	差額地代の成立・増進について：とくに利潤率の変動とかゝわらしめて	都留 大治郎	19(1)	1953(S28)
238	封建制度（一）：その基本的特徴をめぐる諸問題	湯村 武人	19(1)	1953(S28)
239	装置工業労働力論：装置工業論序説・その三	三戸 公	19(1)	1953(S28)
240	資本主義の發達と世界市場	吉村 正晴	19(2)	1953(S28)
241	安定の経済学（二）：米国経済学研究	高橋 正雄	19(2)	1953(S28)
242	『一般理論』における貯蓄と投資	副田 満輝	19(2)	1953(S28)
243	封建制度（二）：その基本的特徴をめぐる諸問題	湯村 武人	19(2)	1953(S28)
244	幕末豊前における寄生地主の性格	藤本 隆士	19(2)	1953(S28)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
245	メタリズム擁護論	岡橋 保	19(3)	1953(S28)
246	町人的社會觀の變遷：浮世のうつりかわり	宮本 又次	19(3)	1953(S28)
247	幕末薩摩郷士の農業經營と下人(一)：大隈国高山郷士守屋家の手作と下人	秀村 選三	19(3)	1953(S28)
248	再生産ということ	高木 暢哉	19(4)	1954(S29)
249	封建制度(三)：その基本的特徴をめぐる諸問題	湯村 武人	19(4)	1954(S29)
250	『社会的必要労働時間』について	馬場 元二	19(4)	1954(S29)
251	獨占後期における株式會社金融變貌	馬場 克三	20(1)	1954(S29)
252	職階級と賃上げ：王子製紙の場合	副田 満輝	20(1)	1954(S29)
253	村落制度と農業の発達：農業と封建制度、その一	湯村 武人	20(1)	1954(S29)
254	製鉄企業における労働力構造	三戸 公	20(1)	1954(S29)
255	安定の経済学(三、完)：米国経済学の研究	高橋 正雄	20(2)	1954(S29)
256	封建社会分析の方法論について：農業と封建制度(其の二)	湯村 武人	20(2)	1954(S29)
257	製鉄企業における労働力構造(その二)	三戸 公	20(2)	1954(S29)
258	再生産の構造(一)：社会的資本の循環	高木 暢哉	20(3/4)	1955(S30)
259	価値法則と商品生産：副島種典氏の見解に対する若干の疑問	本吉 敬治	20(3/4)	1955(S30)
260	鐵鉱業における企業系列の再編成について	有賀 定彦	20(3/4)	1955(S30)
261	英蘭銀行以前の銀行形態(一)	飯田 正義	20(3/4)	1955(S30)
262	テイラー・システムの原理	副田 満輝	21(1)	1955(S30)
263	相対的剰余価値と差額地代：飯田繁教授の差額地代論について	小島 恒久	21(1)	1955(S30)
264	恐慌論研究：恐慌の諸「可能性」と、いわゆる『現実の恐慌の窮極原因』に就いて	北古賀 勝幸	21(1)	1955(S30)
265	絶対的窮乏化論批判	中村 建治	21(1)	1955(S30)
266	フランスにおける社會主義の歴史(1)	湯村 武人	21(2)	1955(S30)
267	アメリカ株式會社における新株引受權の變遷(一)	片山 伍一	21(2)	1955(S30)
268	藩政改革の研究：城下町商業の危機を通じてみた中津藩封建構造の崩壊過程	篠藤 光行	21(2)	1955(S30)
269	ケインズ「一般理論」の性格	高橋 正雄	21(3)	1956(S31)
270	フランスにおける社會主義の歴史(二)	湯村 武人	21(3)	1956(S31)
271	制約循環について：ヒックスの景気上昇限	武野 秀樹	21(3)	1956(S31)
272	昭和二年職種別等賃金実体調査について：標本統計の一断面	大屋 祐雪	21(3)	1956(S31)
273	生産的労働と不生産的労働：国民所得とサービスについて	副田 満輝	21(4)	1956(S31)
274	最近に於けるフランス中世經濟史の研究動向	宮本 又次	21(4)	1956(S31)
275	農民的商品市場の成立過程：中津藩「在外店」成立を中心に	篠藤 光行	21(4)	1956(S31)
276	通貨論争の背景	荒牧 正憲	21(4)	1956(S31)
277	近代株式会社の史的展開(一)	馬場 克三	22(1)	1956(S31)
278	通貨原理と銀行原理について	高木 暢哉	22(1)	1956(S31)
279	商業利潤の根拠について	近江谷 左馬之介	22(1)	1956(S31)
280	幕末期辺境における村方商人の手代と小作管理人：肥後国天草郡御領村石本家について	秀村 選三	22(1)	1956(S31)
281	国民所得論における模型	高橋 正雄	22(2)	1956(S31)
282	中世フランスの農民家族	湯村 武人	22(2)	1956(S31)
283	差額地代Ⅰ及びⅡの論理的関係について	中村 清	22(2)	1956(S31)
284	成長理論の一考察：ハロッドの模型の批判	武野 秀樹	22(2)	1956(S31)
285	価格標準の変更と物価	岡橋 保	22(3)	1956(S31)
286	信用制度と銀行業	高木 暢哉	22(3)	1956(S31)
287	近世大名領國における基本的夫役(一)：福岡藩について	秀村 選三	22(3)	1956(S31)
288	資本蓄積と貧困化理論(一)	近江谷 左馬之介	22(4)	1956(S31)
289	フランスにおける社會主義の歴史(三)	湯村 武人	22(4)	1956(S31)
290	近世大名領國における基本的夫役(二)：福岡藩について	秀村 選三	22(4)	1956(S31)
291	一九世紀アメリカ炭鉱業の一考察	川端 久夫	22(4)	1956(S31)
292	再生産の構造(二)	高木 暢哉	23(1)	1957(S32)
293	ヒューマン・リレーションズについて：一つの経済学批判としてのメイヨイズム	副田 満輝	23(1)	1957(S32)
294	通貨論争と銀行制度(一)：発券銀行の発展を中心として	荒牧 正憲	23(1)	1957(S32)
295	資本制蓄積と貧困化理論(二)	近江谷 左馬之介	23(1)	1957(S32)
296	フランス中世農業史(第一部・序説)	湯村 武人	23(2)	1957(S32)
297	アメリカ株式會社における經營者報酬の問題	片山 伍一	23(2)	1957(S32)
298	超過利潤の地代への転化	中村 清	23(2)	1957(S32)
299	アダム・スミスの市場理論	田中 定	23(3/4)	1959(S34)
300	スミスの原理について	高木 暢哉	23(3/4)	1959(S34)
301	スミスの地代論	小島 恒久	23(3/4)	1959(S34)
302	リカード貨幣論の性格：初期貨幣論文を中心として	岡橋 保	23(3/4)	1959(S34)
303	マルクスの拡大再生産表式の説明に関する一問題点について	高木 幸二郎	23(3/4)	1959(S34)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
304	ローザ「拡張再生産表式の矛盾」に関する研究（後編）：貿易問題への再生産論の適用方法の一吟味	吉村 正晴	23(3/4)	1959(S34)
305	投資及び節約の相対関係と景気変動	栗村 雄吉	23(3/4)	1959(S34)
306	資本の再生産と所得	近江谷 左馬之介	23(3/4)	1959(S34)
307	減価償却における動態理論の克服	馬場 克三	23(3/4)	1959(S34)
308	パーソナル・アドミニストレーションについて	副田 満輝	23(3/4)	1959(S34)
309	封建制と荘園制	湯村 武人	23(3/4)	1959(S34)
310	幕末期辺境における村方商人＝地主の雇用関係：肥後国天草郡御領村石本家の「定石」奉公人	秀村 選三	23(3/4)	1959(S34)
311	アメリカにおける低所得者	高橋 正雄	23(3/4)	1959(S34)
312	職階給について：その経済的、技術的及び社会的側面	副田 満輝	24(1)	1958(S33)
313	フランス中世農業史(Ⅱ)	湯村 武人	24(1)	1958(S33)
314	産業連関分析における部門統合	武野 秀樹	24(1)	1958(S33)
315	「バンク・グループ」について：銀行合併と参与	中村 雄次郎	24(1)	1958(S33)
316	三三年度経済白書の研究(上)	高橋 正雄	24(2)	1958(S33)
317	シムプレックス法に関する若干の考察	栗村 雄吉	24(2)	1958(S33)
318	封建的土地所有の論理	友岡 学	24(2)	1958(S33)
319	リカード貨幣論に関する一試論	村岡 俊三	24(2)	1958(S33)
320	消費不足説について	高木 暢哉	24(3)	1958(S33)
321	フランス中世農業史(Ⅲ)	湯村 武人	24(3)	1958(S33)
322	アメリカにおける失業統計(一)：一九三〇年以前のアメリカ失業統計	船木 勝也	24(3)	1958(S33)
323	リカード外国為替理論の一考察	松尾 達	24(3)	1958(S33)
324	貨幣流通の諸法則と銀行券流通の諸法則	岡橋 保	24(4)	1959(S34)
325	三三年度経済白書の研究(下)	高橋 正雄	24(4)	1959(S34)
326	中世人身売買文書の一考察：瑕疵担保と推定される文書について	秀村 選三	24(4)	1959(S34)
327	ケネーの「純生産」論	小島 恒久	25(1)	1959(S34)
328	社会会計論の基礎	武野 秀樹	25(1)	1959(S34)
329	兌換と発券の調整：リカドゥ発券制度論の問題点	深町 郁彌	25(1)	1959(S34)
330	中世イングランド羊毛貿易の構造	山村 延昭	25(1)	1959(S34)
331	城主層の擡頭と封建制の成立(Ⅰ)：フランス中世農業史(Ⅳ)	湯村 武人	25(2)	1959(S34)
332	株式プレミアムと創業利得(一)：とくに所要機能資本について	別府 正十郎	25(2)	1959(S34)
333	中間層の諸問題(一)	三好 正巳	25(2)	1959(S34)
334	第五国立銀行の史的研究：土族銀行の特殊型として	伊丹 正博	25(2)	1959(S34)
335	シスモンディについて：恐慌論における過少消費説の検討のために	高木 幸二郎	25(3)	1960(S35)
336	ミル『経済学原理』の基本構造とその学史的位	宮崎 喜代司	25(3)	1960(S35)
337	貴金属移動論：レビンスキーのリカード一観について	大坪 徳次	25(3)	1960(S35)
338	株式配当(Stock Dividends)の性格	片山 伍一	25(3)	1960(S35)
339	ヒルファーディングの『創業利得』について(一)	近江谷 左馬之介	25(4)	1960(S35)
340	イギリスにおける不動産賃借農の存在形態：絶対王制期の総借地農について	長野 暹	25(4)	1960(S35)
341	窮乏化法則について：一つの解釈	古賀 良一	25(4)	1960(S35)
342	株式プレミアムと創業利得(二)：とくに配当の利子化ということについて	別府 正十郎	25(4)	1960(S35)
343	国民所得序論	高橋 正雄	26(1)	1960(S35)
344	固定資本の耐用年数と道徳的磨滅の問題	馬場 克三	26(1)	1960(S35)
345	開放耕地と圍繞耕地	湯村 武人	26(1)	1960(S35)
346	ドイツにおける一八七九年の関税改正	近江谷 左馬之介	26(1)	1960(S35)
347	国民所得序論(二)	高橋 正雄	26(2)	1960(S35)
348	ジェイムズ・ステュアートの銀行理論	川島 信義	26(2)	1960(S35)
349	アメリカにおける信用制度発達的一段階：19世紀初期の銀行制度の生成について	高橋 久彌	26(2)	1960(S35)
350	銀行券論争にかんする文献	岡橋 保	26(2)	1960(S35)
351	銀行券論争の諸問題	岡橋 保	26(3)	1960(S35)
352	ヒルファーディングの「創業利得」について(二)	近江谷 左馬之介	26(3)	1960(S35)
353	いわゆる「平均原理」について：大内説の検討	福田 豊	26(3)	1960(S35)
354	株式配当企業資本の蓄積(一)	片山 伍一	26(3)	1960(S35)
355	経済成長論の覚書の一	栗村 雄吉	26(4)	1961(S36)
356	国民所得序論(三)	高橋 正雄	26(4)	1961(S36)
357	19世紀後半に於けるドイツ小企業について	坂本 秀行	26(4)	1961(S36)
358	株式配当企業資本の蓄積(二)	片山 伍一	26(4)	1961(S36)
359	国立銀行紙幣について：日本銀行券の系譜	岡橋 保	26(5/6)	1962(S37)
360	プレミアム論争の展望	馬場 克三	26(5/6)	1962(S37)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
361	わが国企業経営の体質と職務給	副田 満輝	26(5/6)	1962(S37)
362	現代アメリカ資本主義とドルの問題：この問題のための一つの序説	高木 暢哉	26(5/6)	1962(S37)
363	資本主義的再生産の前提の問題について	高木 幸二郎	26(5/6)	1962(S37)
364	荘園制と封建制	湯村 武人	26(5/6)	1962(S37)
365	労働史の一課題：従属的労働関係の歴史的研究（その一）	秀村 選三	26(5/6)	1962(S37)
366	国民所得勘定と政府の経済活動	武野 秀樹	26(5/6)	1962(S37)
367	オウバーストーンの通貨統制論	深町 郁弥	26(5/6)	1962(S37)
368	一つの社会経済構造：ユーゴ経済の研究	高橋 正雄	26(5/6)	1962(S37)
369	マニユファクチュアの方法論的吟味	小島 恒久	26(5/6)	1962(S37)
370	自己株式の会計：創業利得と株式プレミアム統論	別府 正十郎	26(5/6)	1962(S37)
371	自小作農の系譜	田中 定	26(5/6)	1962(S37)
372	商品論における歴史と論理：櫛田民蔵研究	川口 武彦	26(5/6)	1962(S37)
373	中農標準化の新形態：農民層分解と農業就業構造（1）	都留 大治郎	26(5/6)	1962(S37)
374	向坂逸郎先生のこと	田中 定	26(5/6)	1962(S37)
375	向坂先生の日々	川口 武彦	26(5/6)	1962(S37)
376	国民所得概念について	武野 秀樹	27(1)	1961(S36)
377	ステュアートの「流通の銀行」について	川島 信義	27(1)	1961(S36)
378	十九世紀末、東ドイツにおける農業労働者問題	原田 溥	27(1)	1961(S36)
379	株式配当と企業資本の蓄積(三)	片山 伍一	27(1)	1961(S36)
380	拡大再生産表式にかんする一試論	高木 幸二郎	27(2)	1961(S36)
381	日本低賃金制の確立過程：鉱山業を中心としての覚え書	吉村 朔夫	27(2)	1961(S36)
382	近世農村奉公人の供給源(一)：北九州の事例	秀村 選三	27(2)	1961(S36)
383	封建社会分析の方法論：吉岡照彦氏の諸理論批判	湯村 武人	27(3)	1961(S36)
384	リカードウ貨幣論における価値規定	吹春 寛一	27(3)	1961(S36)
385	政府支出と市場構造の変貌：コスト・インフレ論の一側面	阿部 真也	27(3)	1961(S36)
386	近世農村奉公人の供給源(二)：北九州の事例	秀村 選三	27(3)	1961(S36)
387	ペートン教授の自己株式「等価取引説」について：持分均衡説の批判	別府 正十郎	27(4)	1961(S36)
388	オウバーストーンの通貨論	深町 郁彌	27(4)	1961(S36)
389	イギリス労働運動における産業革命(一)	清山 卓郎	27(4)	1961(S36)
390	ジョプリンの「通貨・銀行改革論」について：(一) 経済理論の特質と初期の通貨改革論を中心として	荒巻 正憲	27(5)	1961(S36)
391	寄生地主制について	毛利 淳二	27(5)	1961(S36)
392	近世日本雇用史資料：その一、筑前国横大路家文書	秀村 選三	27(5)	1961(S36)
393	典型的銀行券論：飯田教授の単純商品流通視角について	岡橋 保	27(6)	1962(S37)
394	ディスコント・ゲゼルシャフトの発展：その設定期から一八七〇年まで	相原 陽	27(6)	1962(S37)
395	土地資本にかんする一考察	宮川 謙三	27(6)	1962(S37)
396	近世日本雇用史資料：その二 大隅国鹿屋郡野田家文書・同国高山郷守屋(泰造)家文書	秀村 選三	27(6)	1962(S37)
397	テイラー・システムの原理再論：職能化原理について	副田 満輝	28(1)	1962(S37)
398	社会会計組織の設計	武野 秀樹	28(1)	1962(S37)
399	イギリス労働運動における産業革命(その二)	清山 卓郎	28(1)	1962(S37)
400	株式会社論に関する覚え書	馬場 克三	28(2)	1962(S37)
401	フランス旧制度下の大規模農業経営	湯村 武人	28(2)	1962(S37)
402	リカードウにおける一般的交換媒介物について	吹春 寛一	28(2)	1962(S37)
403	T. ジョプリンの通貨改革論と通貨論争：その一 初期の通貨改革論とその背景	荒牧 正憲	28(2)	1962(S37)
404	最近の日本経済：成長経済研究序論	高橋 正雄	28(3)	1962(S37)
405	トゥックの貨幣・信用論(一)	深町 郁彌	28(3)	1962(S37)
406	「生産価格」の貨幣形態：ポルトキエヴィッチの生産価格論をめぐる	金子 甫	28(3)	1962(S37)
407	T. ジョプリンの通貨改革論と通貨論争：その二 通貨改革論の変貌と通貨論争との関連を中心として	荒牧 正憲	28(3)	1962(S37)
408	一九、二〇世紀におけるフランスの農業構造：北部フランスの場合	湯村 武人	28(4)	1962(S37)
409	トゥックの貨幣・信用論(二)	深町 郁彌	28(4)	1962(S37)
410	農業調整政策の成立	宮川 謙三	28(4)	1962(S37)
411	日本銀行券前史	岡橋 保	28(4)	1962(S37)
412	国民所得論の批判的研究：有沢、中村両氏の「国民所得」について	高橋 正雄	28(5)	1962(S37)
413	前期ニュー・ディールの展開とその政策的意義	田中 慎一郎	28(5)	1962(S37)
414	ドイツ関税政策と社会民主党	中山 禎雄	28(5)	1962(S37)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
415	近世日本雇用史資料：その三、鹿児島県漁業規程草案	秀村 選三	28(5)	1962(S37)
416	企業資本構成の研究(一)	片山 伍一	28(6)	1963(S38)
417	シュムペーター信用理論に関する覚書	岩野 茂道	28(6)	1963(S38)
418	さいきんの日本農業の変化(一)：世界農林業センサスの分析	田中 定	28(6)	1963(S38)
419	近世日本雇用史資料：その四、大隅国高山郷守屋舎人日帳	秀村 選三	28(6)	1963(S38)
420	シールド・ビルについて	岡橋 保	29(1)	1963(S38)
421	アルザスの農村構造	湯村 武人	29(1)	1963(S38)
422	新規学卒者労働市場に関する一考察	清山 卓郎	29(1)	1963(S38)
423	ルール地方の「混合企業」	相原 陽	29(1)	1963(S38)
424	さいきんの日本農業の変化(二)：世界農林業センサスの分析	田中 定	29(1)	1963(S38)
425	職務給について	副田 満輝	29(2)	1963(S38)
426	減価償却論の構造(一)	別府 正十郎	29(2)	1963(S38)
427	企業資本構成の研究(二)	片山 伍一	29(2)	1963(S38)
428	国際金融機構についての一考察：金ブレーキ論批判	岩野 茂道	29(2)	1963(S38)
429	石高制に関する二つの問題	秀村 選三	29(2)	1963(S38)
430	ひとつの日本経済論：英国エコノミスト誌の報告書	高橋 正雄	29(3)	1963(S38)
431	統計論への序説	大屋 祐雪	29(3)	1963(S38)
432	『資本論』体系と競争の展開	逢坂 充	29(3)	1963(S38)
433	鉱山業の本源的蓄積：鉱区所有制度の形成を主題として	吉村 朔夫	29(3)	1963(S38)
434	トマス・アットウッドの経済観：素朴な貨幣的景気論	荒牧 正憲	29(4)	1963(S38)
435	反トラスト政策の一研究：その展開過程と社会的基礎	田中 慎一郎	29(4)	1963(S38)
436	さいきんの農民層分解論覚え書	中山 崙雄	29(4)	1963(S38)
437	イングランド銀行の創設と公信用制度	深町 郁弥	29(4)	1963(S38)
438	国民勘定の記録に关する若干の問題	武野 秀樹	29(5/6)	1964(S39)
439	第三次産業と国民所得	高橋 正雄	29(5/6)	1964(S39)
440	銀行券-価値章標説の物価論	岡橋 保	29(5/6)	1964(S39)
441	現代不換通貨における銀行的特質	高木 暢哉	29(5/6)	1964(S39)
442	ヴァレヌとその主人たち：中西部フランスの一荘園の記録	湯村 武人	29(5/6)	1964(S39)
443	わが国における職務給の実情	副田 満輝	29(5/6)	1964(S39)
444	自小作中層前進論の今日的坐標：「佐賀農業」の反省にたつて	都留 大治郎	29(5/6)	1964(S39)
445	銀行券論争の展望と帰結：銀行券-価値章標説の批判	岡橋 保	30(1)	1964(S39)
446	雇役制度について	原田 統之介	30(1)	1964(S39)
447	マーシャル理論の特徴について：独占移行期の理論としての	藤田 暁男	30(1)	1964(S39)
448	幕末期薩摩藩におけるアジールの痕跡：領主権力と寺院権威	秀村 選三	30(1)	1964(S39)
449	『経済学批判要綱』における貨幣論：貨幣の形態諸規定の展開を中心として	深町 郁弥	30(2)	1964(S39)
450	市場価格の変動と競争について：市場価値論の展開と関連して	逢坂 充	30(2)	1964(S39)
451	『帝国主義論』における方法上の特質	鈴木 芳徳	30(2)	1964(S39)
452	わが国株式会社における時価発行の問題：企業資本の蓄積・所有形態の展開	片山 伍一	30(2)	1964(S39)
453	西部フランスの農村構造	湯村 武人	30(3)	1964(S39)
454	社会主義世界市場における価値法則：松井清教授にちよえて	木下 悦二	30(3)	1964(S39)
455	利潤率階層化説の一検討	仲村 政文	30(3)	1964(S39)
456	鉱山地代のブルジョアの表象の展開	吉村 朔夫	30(3)	1964(S39)
457	日本経済当面の諸問題	高橋 正雄	30(4)	1964(S39)
458	労働生産性と固定資本の経済的寿命：S・ストルーミリンの方法の意義	馬場 克三	30(4)	1964(S39)
459	EECにおける農業問題(一)	小林 晃	30(4)	1964(S39)
460	近世日本雇傭史資料：その五、肥前鍋島藩「下人方之掟」(一)	秀村 選三	30(4)	1964(S39)
461	日本統計制度史の一齣：大内委員会のこと	大屋 祐雪	30(5/6)	1965(S40)
462	明治三十年の幣制改革について	岡橋 保	30(5/6)	1965(S40)
463	優先株についての一節	馬場 克三	30(5/6)	1965(S40)
464	日本の職務給：年功賃金体系のニュー・ディール	副田 満輝	30(5/6)	1965(S40)
465	貸付資本の変動について(一)	高木 暢哉	30(5/6)	1965(S40)
466	南部フランスの農村構造	湯村 武人	30(5/6)	1965(S40)
467	共存の経済学と0. ランゲ	木下 悦二	30(5/6)	1965(S40)
468	幕末期薩摩藩郷土の分家と家産の分与	秀村 選三	30(5/6)	1965(S40)
469	流動性選好理論の再考察(1)	武野 秀樹	30(5/6)	1965(S40)
470	松方財政金融政策の歴史的意義	岡橋 保	31(1)	1965(S40)
471	流動性選好理論の再考察(II)	武野 秀樹	31(1)	1965(S40)
472	『経済学批判要綱』における貨幣論(二)：貨幣の形態諸規定の展開を中心として	深町 郁弥	31(1)	1965(S40)
473	農民的分割地所有の歴史的性恪について	原田 統之介	31(1)	1965(S40)
474	貸付資本の変動について(二)	高木 暢哉	31(2)	1965(S40)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
475	フランス資本主義と大革命	湯村 武人	31(2)	1965(S40)
476	マーシャル価格理論における経済主体の機能と性格	藤田 暁男	31(2)	1965(S40)
477	スミス分業論の再構成：生産力理論に即して	仲村 政文	31(2)	1965(S40)
478	兌換銀行券発行制度の整備	岡橋 保	31(3/4)	1965(S40)
479	流動資本の回転と運転資本	馬場 克三	31(3/4)	1965(S40)
480	経済学史の本質と意義	高木 暢哉	31(3/4)	1965(S40)
481	職務給の管理論	副田 満輝	31(3/4)	1965(S40)
482	北部フランスにおける資本家的大農場制の確立	湯村 武人	31(3/4)	1965(S40)
483	第一次世界戦争前におけるドイツの穀物関税制度の性格について：輸入証明書制度を中心として	木下 悦二	31(3/4)	1965(S40)
484	明治初年造幣寮における御雇外国人の解雇問題	秀村 選三	31(3/4)	1965(S40)
485	マルクス、エンゲルスにおけるユンカー論	原田 溥	31(3/4)	1965(S40)
486	中農理論の系譜	都留 大治郎	31(3/4)	1965(S40)
487	兌換銀券発行制度の拡充	岡橋 保	31(5/6)	1966(S41)
488	統計調査の社会科学的考察(一)	大屋 祐雪	31(5/6)	1966(S41)
489	価値法則と絶対地代	小林 晃	31(5/6)	1966(S41)
490	労働力の価値法則に関する一考察	仲村 政文	31(5/6)	1966(S41)
491	わが国における公募・時価発行：株式プレミアムの実態	片山 伍一	31(5/6)	1966(S41)
492	一九世紀前半期におけるフランスの財政事情(一)	湯村 武人	32(1)	1966(S41)
493	減価償却基金の拡大効果	別府 正十郎	32(1)	1966(S41)
494	大隈農村社会経済史料：守屋舎人日帳(一) 文政十・十一年	秀村 選三	32(1)	1966(S41)
495	インフレーションにおける物価騰貴の構造について	岡橋 保	32(2)	1966(S41)
496	一九世紀前半期におけるフランスの財政事情(二)	湯村 武人	32(2)	1966(S41)
497	減価償却基金の拡大効果(二)	別府 正十郎	32(2)	1966(S41)
498	わが国における公募・時価発行(二)：株式プレミアムの実態	片山 伍一	32(2)	1966(S41)
499	J・S・ミルの通貨調節論について	荒牧 正憲	32(3)	1966(S41)
500	資本主義的農業の条件としての近代的土地所有：『資本論』における土地所有についての一考察	三上 礼次	32(3)	1966(S41)
501	恐慌論の方法：『経済学批判要綱』における資本の基本矛盾とその展開	中村 氏方	32(3)	1966(S41)
502	大隈農村社会経済史料(二)：守屋舎人日帳(二) 文政十二年	秀村 選三	32(3)	1966(S41)
503	日本銀行兌換銀券の発展：銀行券の非ほんらい化	岡橋 保	32(4)	1966(S41)
504	国民経済計算体系の基礎問題(II)	武野 秀樹	32(4)	1966(S41)
505	『経済学批判要綱』：貨幣の形態諸規定の展開を中心として	深町 郁弥	32(4)	1966(S41)
506	金輸出再禁止前後における為替相場と物価	岡橋 保	32(5/6)	1967(S42)
507	減価償却理論の展開のために	馬場 克三	32(5/6)	1967(S42)
508	職務給と労働組合	副田 満輝	32(5/6)	1967(S42)
509	管理通貨制の意義について	高木 暢哉	32(5/6)	1967(S42)
510	現段階における資本輸出の若干の問題点	木下 悦二	32(5/6)	1967(S42)
511	統計調査論における蜷川虎三	大屋 祐雪	32(5/6)	1967(S42)
512	「五段階説」の理論構成について	服部 俊治	32(5/6)	1967(S42)
513	株式プレミアムと創業者利得：その処分可能性をめぐる	片山 伍一	32(5/6)	1967(S42)
514	為替インフレーション論批判	岡橋 保	33(1)	1967(S42)
515	投資理論における株式資本コスト：ソロモン教授の所説を中心に	片山 伍一	33(1)	1967(S42)
516	資本蓄積と差額地代	三上 礼次	33(1)	1967(S42)
517	国民経済計算体系の基礎問題(III)	武野 秀樹	33(2)	1967(S42)
518	独占確立期におけるアメリカの財政問題：革新主義の一評価	古川 卓萬	33(2)	1967(S42)
519	中国の新しい簿記「増減記帳法」記帳実例	馬場 克三	33(2)	1967(S42)
520	経営財務論の体系おぼえがき	馬場 克三	33(3/4)	1967(S42)
521	ドル危機とドルの価値	高木 暢哉	33(3/4)	1967(S42)
522	職務評価の技術：その本質と限界	副田 満輝	33(3/4)	1967(S42)
523	『経済学批判要綱』における「自由」と「平等」	高木 幸二郎	33(3/4)	1967(S42)
524	いわゆる「均衡論」の擁護：中木康夫著『フランス絶対王制の構造』批判	湯村 武人	33(3/4)	1967(S42)
525	国際通貨基金の性格：ドル危機についての予備的考察	木下 悦二	33(3/4)	1967(S42)
526	統計委員会と統計使節団	大屋 祐雪	33(3/4)	1967(S42)
527	信用貨幣にたいするJ・S・ミルの見解について	荒牧 正憲	33(3/4)	1967(S42)
528	信用の必然性について：『経済学批判要綱』における展開を中心に	深町 郁弥	33(3/4)	1967(S42)
529	貨幣の相対価値について	岡橋 保	33(5/6)	1968(S43)
530	社会主義の賃金法則と職務評価：労働の還元と労働評価	副田 満輝	33(5/6)	1968(S43)
531	現代不換通貨の構造とその価値	高木 暢哉	33(5/6)	1968(S43)
532	『経済学批判要綱』における労働過程	高木 幸二郎	33(5/6)	1968(S43)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
533	いわゆる「封建的危機」への対応：一六、七世紀における「メーリ」創設の意味	湯村 武人	33(5/6)	1968(S43)
534	国際通貨協力についての覚書	木下 悦二	33(5/6)	1968(S43)
535	会計資金説批判：ルフチ運動貸借対照表論について	服部 俊治	33(5/6)	1968(S43)
536	わが国企業金融における「持ち合い」：資本の水増し的膨脹と支配資本の節約	片山 伍一	33(5/6)	1968(S43)
537	国民経済計算における経済活動の記録方法(I)	武野 秀樹	33(5/6)	1968(S43)
538	ドイツ民主共和国における経済計算制の展開	近江谷 左馬之介	34(1)	1968(S43)
539	自己株式の基本的性格	片山 伍一	34(1)	1968(S43)
540	大隅農村社会経済史料(三)：守屋舎人日帳(三) 文政十三年（天保元年）	秀村 選三	34(1)	1968(S43)
541	『経済学批判要綱』における価値増殖過程(一)	高木 幸二郎	34(2)	1968(S43)
542	投資理論の根底(一)：M.M理論を中心としたアメリカ投資理論の特色	古賀 公治	34(2)	1968(S43)
543	「古典荘園制」に関する最近の研究について：A. フルヒュルストの所説を中心に	森本 芳樹	34(2)	1968(S43)
544	J. S. ミルの「動態論」の意義について(一)	荒牧 正憲	34(3)	1968(S43)
545	中国の過渡期社会論について：呉璉・陶鑄論文批判	山口 勇	34(3)	1968(S43)
546	薩摩藩における上層郷土の一考察：大隅国高山郷守屋家と社家組織	秀村 選三	34(3)	1968(S43)
547	為替インフレーション論批判	武野 秀樹	34(4)	1968(S43)
548	『金融資本論』の研究(一)：「総カルテル」論の特質	野田 弘英	34(4)	1968(S43)
549	明治十五年五月『鹿児島県農談会日誌』(一)	秀村 選三	34(4)	1968(S43)
550	中世初期における領主制の諸形態(一)：ベルギー諸地方の場合	森本 芳樹	34(5)	1968(S43)
551	社会主義社会の分配法則をめぐる論争の現段階と盲点(上)	山口 勇	34(5)	1968(S43)
552	明治十五年五月『鹿児島県農談会日誌』(一)	秀村 選三	34(5)	1968(S43)
553	中世初期における領主制の諸形態(二)：ベルギー諸地方の場合	森本 芳樹	34(6)	1969(S44)
554	社会主義社会の分配法則をめぐる論争の現段階と盲点(下)	山口 勇	34(6)	1969(S44)
555	明治十八年八月第一回鹿児島県勸業諮問会日誌	秀村 選三	34(6)	1969(S44)
556	ドイツ経営経済学体系における労務論の位置と内容(1)	副田 満輝	35(1/2)	1969(S44)
557	中世初期における領主制の諸形態(三)：ベルギー諸地方の場合	森本 芳樹	35(1/2)	1969(S44)
558	所有形態の転化法則について：アジアの生産様式に関する試論	杉野 囿明	35(1/2)	1969(S44)
559	貨幣の相対的価値の国民的相違：その世界市場での諸資本の競争との連関について	中川 信義	35(1/2)	1969(S44)
560	九州大学経済学会経済学部所蔵古典(洋書)目録(I)	経済学部資料室	35(1/2)	1969(S44)
561	現代資本主義分析の基本問題(遺稿)	吉村 正晴	35(3/4)	1969(S44)
562	近代組織理論の基本問題：バーナードの組織概念をめぐる	川端 久夫	35(3/4)	1969(S44)
563	現段階における「貧困化」の問題について	中原 弘二	35(3/4)	1969(S44)
564	大隅農村社会経済史料(4)：守屋舎人日帳(4) (安政6年)	秀村 選三	35(3/4)	1969(S44)
565	九州大学経済学部所蔵古典(洋書)目録(II)	経済学部資料室	35(3/4)	1969(S44)
566	いわゆる「局地的市場圏」論の批判(I)	湯村 武人	35(5/6)	1970(S45)
567	ドイツ経営経済学体系における労務論の位置と内容(2)：戦後の「経営における人間」論争と経営労務論	副田 満輝	35(5/6)	1970(S45)
568	最適貯蓄問題の一考察	武野 秀樹	35(5/6)	1970(S45)
569	九州大学経済学部所蔵古典(洋書)目録(III)	経済学部資料室	35(5/6)	1970(S45)
570	いわゆる「局地的市場圏」論の批判(その二)	湯村 武人	36(1/2)	1970(S45)
571	労働力の価値の労賃への転化について	中川 スミ	36(1/2)	1970(S45)
572	福岡藩社会経済史の基礎的資料(1)：『藩政一般作法』(『郡方御作法留書』)(上)	秀村 選三	36(1/2)	1970(S45)
573	フランス中世経済史に関する新研究：R. フォシェ「13世紀末期に至るピカルディーの土地と人間」をめぐる	森本 芳樹	36(1/2)	1970(S45)
574	九州大学経済学部所蔵古典(洋書)目録(IV)	経済学部資料室	36(1/2)	1970(S45)
575	経営社会政策と経営労務論：経営社会政策の「経済化」について	副田 満輝	37	1972(S47)
576	価値総額論と価値形成過程	高木 幸二郎	37	1972(S47)
577	いわゆる「辺境革命論」の吟味	湯村 武人	37	1972(S47)
578	明治前・中期福岡県の炭坑における囚人労働：監獄派出所・出役所・監獄支署について	秀村 選三	37	1972(S47)
579	「ライス・レポート」再論	大屋 祐雪	37	1972(S47)
580	配当と創業者利得	片山 伍一	37	1972(S47)
581	最適経済成長径路の存在と一意性について	武野 秀樹	37	1972(S47)
582	静態的在庫問題の分析とその意義：スター・ミラーの所論を中心として	市村 昭三	37	1972(S47)
583	企業組織の境界：バーナード組織論の基本問題	川端 久夫	37	1972(S47)
584	通貨論争研究のひとつの視角について	荒牧 正憲	37	1972(S47)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
585	公信用と信用制度：管理通貨制度論へのひとつの視座	深町 郁弥	37	1972(S47)
586	モンテिएランデル修道院土地台帳の分析：「古典荘園制」未発達の一形態	森本 芳樹	37	1972(S47)
587	九州大学経済学部所蔵古典(洋書)目録	九州大学経済学部資料室	37(別冊)	1972(S47)
588	経済学史研究における理論と歴史	高木 暢哉	38	1973(S48)
589	国際通貨・貿易制度と開発援助：試論	木下 悦二	38	1973(S48)
590	幕末期薩摩藩郷村社会の一断面(1)：「二階堂本覚院覚書」によりて	秀村 選三	38	1973(S48)
591	資本循環公式にもとづく勘定理論の再検討(1)	服部 俊治	38	1973(S48)
592	ヒルファディング「創業者利得」の定式について：配当と創業者利得(2)	片山 伍一	38	1973(S48)
593	動態的在庫管理論の展開：スター・ミラーの所論を中心にして	市村 昭三	38	1973(S48)
594	責任・権限・委譲：バーナード組織論の一断面	川端 久夫	38	1973(S48)
595	財務諸表公開の論理	津守 常弘	38	1973(S48)
596	人間関係論の参加主義的理解について：Paul Blumbergの『産業民主主義論』の考察	原田 実	38	1973(S48)
597	近世前期九州における幕府領の年貢：豊後国と肥後国天草郡を中心に	松下 志朗	38	1973(S48)
598	アメリカ鉄道における会計公開制度の展開と意味	西村 明	38	1973(S48)
599	農業における自給と保護：EC共通農業政策下の西独農業を素材として	都留 大治郎	39	1974(S49)
600	世界貨幣・外国為替・国際通貨 (I)	木下 悦二	39	1974(S49)
601	近世における「納物」の一考察：福岡藩を中心として	秀村 選三	39	1974(S49)
602	統計法の成立	大屋 祐雪	39	1974(S49)
603	資本調達論の体系について：経営財務論の方法 (I)	片山 伍一	39	1974(S49)
604	資本配分と最適成長：アロー＝クルツ・モデルの問題点	武野 秀樹	39	1974(S49)
605	業務計画と短期資金計画との総合化に関する研究：ピーターソンの所論を中心として	市村 昭三	39	1974(S49)
606	組織目的論の一考察：サイヤート・マーチ対サイモン	川端 久夫	39	1974(S49)
607	管理通貨制度論と信用論 (I)	深町 郁弥	39	1974(S49)
608	西欧中世初期における商品・貨幣流通と都市：ピレンヌ以降ベルギー学会の成果を中心として	森本 芳樹	39	1974(S49)
609	再生産の視角と諸資本の競争(続)：『資本論』第2巻・資本循環論の展開と関連して	逢坂 充	39	1974(S49)
610	近世中後期九州における幕府領の年貢	松下 志朗	39	1974(S49)
611	秘密・公開制度と企業会計制度：財務諸表公開制度の成立過程	西村 明	39	1974(S49)
612	通貨論研究の視角について	荒牧 正憲	40(1)	1974(S49)
613	ロシア・ミール論の学説的整理をめぐって：「割替」に関する評価を中心に	桂木 健次	40(1)	1974(S49)
614	『パリ草稿』についての一考察：科学としての経済学の形成に関する一試論	佐藤 誠	40(1)	1974(S49)
615	大隈農村社会経済史料(5)：守屋舎人日帳(5)(天保2年1月～4月)	秀村 選三	40(1)	1974(S49)
616	最適経済成長と非可逆的投資	武野 秀樹	40(2)	1974(S49)
617	個別資本説の現段階	川端 久夫	40(2)	1974(S49)
618	ガスパラン著『ヴォクルーズ県における分益小作農場の工作』(1817)	湯村 武人	40(2)	1974(S49)
619	組織均衡理論の誕生：バーナードにおける経済人「批判」	川端 久夫	40(3)	1974(S49)
620	再び連邦統計の統合化問題における「連邦統局」構想について	船木 勝也	40(3)	1974(S49)
621	生産的労働概念の構成	飯盛 信男	40(3)	1974(S49)
622	大隅農村社会経済史料(VI)：守屋舎人日帳(6)(天保2年5月～8月)	秀村 選三	40(3)	1974(S49)
623	イーヴリングとバルンシュタイン：『賃銀、価格および利潤』の序文を巡って	福留 久大	40(3)	1974(S49)
624	メテリ、その構築と解体	湯村 武人	40(4/6)	1975(S50)
625	世界貨幣・外国為替・国際通貨 (II)	木下 悦二	40(4/6)	1975(S50)
626	財務管理論の方法について：経営財務論の方法 (II)	片山 伍一	40(4/6)	1975(S50)
627	バーナードにおける責任とオーソリティ：飯野春樹氏の見解に寄せて	川端 久夫	40(4/6)	1975(S50)
628	J. S. ミルの『経済学原理』と「社会哲学」について (I)：ひとつの問題提起	荒牧 正憲	40(4/6)	1975(S50)
629	管理通貨制度論と信用論 (II)	深町 郁弥	40(4/6)	1975(S50)
630	参加的管理の初期実験研究について：ハーウッド実験の吟味	原田 実	40(4/6)	1975(S50)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
631	西欧中世初期における商品・貨幣流通と都市(Ⅱ)：ピレンヌ以降ベルギー学界の成果を中心として	森本 芳樹	40(4/6)	1975(S50)
632	商品資本の循環について：再生産の視角と諸資本の競争(Ⅲ)	逢坂 充	40(4/6)	1975(S50)
633	福岡藩における財政経済政策の展開(Ⅰ)：長政遺書と第六代藩主経高の治政	松下 志朗	40(4/6)	1975(S50)
634	太閤検地と福岡藩初期の石高	松下 志朗	41(1)	1975(S50)
635	シスモンディの再生産と富の概念：アニーキンのシスモンディ評価に関連して	桂木 健次	41(1)	1975(S50)
636	ホートリー金為替本位制論の学史的意義について	吉沢 法生	41(1)	1975(S50)
637	明治中期九州地方の電気業：電灯会社・水電会社の設立経過を中心として	東定 宣昌	41(1)	1975(S50)
638	大隅農村社会経済史料(VII)：守屋舎人日帳(7)(天保2年9月～12月)	秀村 選三	41(1)	1975(S50)
639	ドイツ賃借対照表公開制度の基礎：アメリカ財務公開制度との比較において	西村 明	41(2)	1976(S51)
640	アルザス綿工業の「高級化」と原料問：エジプト綿《Jumel》の経済的役割を中心として	古賀 和文	41(2)	1976(S51)
641	再契約プロセスとその安定性	是枝 正啓	41(2)	1976(S51)
642	統計数理派の一原型：B. C. ネムチノフの統計学	森 博美	41(2)	1976(S51)
643	M. ヴェーバー政策論の一側面	久間 清俊	41(2)	1976(S51)
644	福岡藩における財政経済政策の展開(Ⅱ)：長政～継高時代における藩政の展開と改革	松下 志朗	41(3)	1976(S51)
645	企業行動と企業戦略：サイアート・マーチ対アンソフ	平池 久義	41(3)	1976(S51)
646	ドイツ資本主義における経営者と株主：H・プロスの所説を中心として	丑山 優	41(3)	1976(S51)
647	再生産論と国際収支(Ⅰ)	木下 悦二	41(4)	1976(S51)
648	再建金本位制・再論	吉沢 法生	41(4)	1976(S51)
649	近世後期筑後久留米における商家の家訓：福童屋＝岡家の『家法録』	秀村 選三	41(4)	1976(S51)
650	再生産論と国際収支(Ⅱ)：国際収支論序説	木下 悦二	41(5)	1976(S51)
651	社会的市場経済と住宅政策	佐藤 誠	41(5)	1976(S51)
652	戦後我国の重化学工業における価格政策：特に労働生産性・輸出競争力との関連において	来島 浩	41(5)	1976(S51)
653	第二帝政期フランス製鉄業において展開された経営労務諸政策に関する一考察：技能養成と労働力統轄を中心として	藤村 大時郎	41(5)	1976(S51)
654	西欧における封建的従属農民層の起源によせて：ドイツ学界の東と西	森本 芳樹	41(6)	1976(S51)
655	シスモンディ再生産論の一側面：穀物条例論に関連して	桂木 健次	41(6)	1976(S51)
656	1847年恐慌とJ. ウイルソンの見解：不均衡理論の一典型	田中 克尚	41(6)	1976(S51)
657	一次産品貿易におけるロンドンの商品取引所の役割	藤村 大時郎	41(6)	1976(S51)
658	国と地方自治体間の財政関係：事務再配分および財源再配分について	岩元 和秋	42(1/6)	1977(S52)
659	旧制度末期から19世紀初頭にかけての北部フランスにおける大農場：ノール県の場合	湯村 武人	42(1/6)	1977(S52)
660	「国際通貨」について：世界貨幣・外国為替・国際通貨(Ⅲ)	木下 悦二	42(1/6)	1977(S52)
661	近世後期筑後農村における豪農の生活慣行と家訓河北家「家伝相続記」をめぐって	秀村 選三	42(1/6)	1977(S52)
662	統計学批判序説	大屋 祐雪	42(1/6)	1977(S52)
663	日本経営学史の一齣：個別資本説の創始と変転	川端 久夫	42(1/6)	1977(S52)
664	「配当の利子化」について	片山 伍一	42(1/6)	1977(S52)
665	J. S. ミルの「社会哲学」をめぐって	荒牧 正憲	42(1/6)	1977(S52)
666	最適資本配分政策の制御可能性	武野 秀樹	42(1/6)	1977(S52)
667	経済的サービス・ポテンシャル減価償却論の展開	市村 昭三	42(1/6)	1977(S52)
668	テイラーの「鉄銑運搬作業実験」について：レヅジ＝ペローニの一研究に関連して	原田 実	42(1/6)	1977(S52)
669	西ドイツにおける1974-75年恐慌について	原田 溥	42(1/6)	1977(S52)
670	西欧中世初期の領主制に関する若干の論点	森本 芳樹	42(1/6)	1977(S52)
671	低開発経済と農業近代化	宮川 謙三	42(1/6)	1977(S52)
672	近世初期の石高と領知高	松下 志朗	42(1/6)	1977(S52)
673	中国増減記帳法の構造と基礎	西村 明	42(1/6)	1977(S52)
674	「資本主義的蓄積の歴史的傾向」論：『資本論』第1巻第24章第7節を巡って(上)	福留 久大	42(1/6)	1977(S52)
675	労働の対象化、物質化、凝固とサービス労働	刀田 和夫	42(1/6)	1977(S52)
676	農民層分解と生産力主体の追及：三つの軌跡をめぐって	都留 大治郎	42(1/6)	1977(S52)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
677	株式の時価発行と自己金融	片山 伍一	43(1)	1977(S52)
678	組織目的と組織統制：ウィリアムソンの所説を中心として	平池 久義	43(1)	1977(S52)
679	シュビートホフにおける「営利資本」概念と資本市場について	小野 隆弘	43(1)	1977(S52)
680	ローザ・ルクセンブルグ『資本蓄積論』についての一考察	岡村東洋光	43(1)	1977(S52)
681	土地所有権の分割：退職直接税局長ジメル氏による1883年4月4日の講演	湯村 武人	43(1)	1977(S52)
682	19世紀フランスにおけるロワール・エ・シェル県農村の動向	湯村 武人	43(2)	1977(S52)
683	配当の利子化と自己金融	片山 伍一	43(2)	1977(S52)
684	特別剰余価値と市場価値との関連に関する一考察	立花 敬雄	43(2)	1977(S52)
685	富と福祉と経済学：シスモンディ研究の現代的視座	桂木 健次	43(2)	1977(S52)
686	貿易・為替・金融とマーチャント・バンカー：ロンドン金融市場の分析(1)	服部 彰	43(2)	1977(S52)
687	過剰資本と利潤率低下の法則(上)：『資本論』第3部第3篇第15章とは何か	逢坂 充	43(3)	1977(S52)
688	国際的信用制度と世界市場恐慌(I)	徳永 正二郎	43(3)	1977(S52)
689	第一次大戦期におけるアメリカの労働政策の展開：産業民主制との関連で	鈴木 滋	43(3)	1977(S52)
690	レンテンマルクの「奇蹟」の財政	中村 良広	43(3)	1977(S52)
691	マルクス資本理論の生成：「資本一般」の形成によせて	高倉 泰夫	43(3)	1977(S52)
692	19世紀フランス農村における年雇労働力について	湯村 武人	43(4)	1977(S52)
693	米国の農産物取引と商品取引所	中村 靖志	43(4)	1977(S52)
694	アメリカの資本輸出と公的ドル・バランス：賠償問題との関連を中心にして	平岡 賢司	43(4)	1977(S52)
695	「流信用」と再生産：ヒルファディングにおける商業銀行機能の把握(1)	坂本 正	43(4)	1977(S52)
696	現代資本主義と1974, 75年恐慌	木下 悦二	43(5)	1978(S53)
697	福岡藩初期の本支藩関係と家臣団統制：検地と知行制を中心に	松下 志郎	43(5)	1978(S53)
698	チューネン『孤立国』の主要課題、方法と地代理論：主要課題と方法	伊東 維年	43(5)	1978(S53)
699	第一次大戦までのイギリスの一次産品貿易と商品先物取引	中村 靖志	43(5)	1978(S53)
700	再論、年雇労働力について：18世紀末から19世紀初めにかけてのイギリスの場合	湯村 武人	43(6)	1978(S53)
701	秋月藩の知行制について	松下 志郎	43(6)	1978(S53)
702	宇野『恐慌論』とヴィクセル：際的信用制度と世界市場恐慌(2)	徳永 正二郎	43(6)	1978(S53)
703	金融市場と信用創造：際金融市場論展開のために	服部 彰	43(6)	1978(S53)
704	雇用保障と職務財産権思想：モンズ理論との関連で	鈴木 滋	43(6)	1978(S53)
705	経営理念・経営思想・経営学説：三戸・雲鳩両教授の所説にかこつけて	川端 久夫	44(1)	1978(S53)
706	過剰資本と利潤率低下の法則(中)：『資本論』第3部第3篇第15章とは何か	逢坂 充	44(1)	1978(S53)
707	国民経済と生産の国際的関係：世界市場概念と関連して	徳永 正二郎	44(1)	1978(S53)
708	大隅農村社会経済史料(VIII)：屋舎人日帳(8)(天保3年1月～6月)	秀村 選三	44(1)	1978(S53)
709	資本輸出と世界市場の構造変化：第一次大戦前「パクス・ブリタニカ」の実像	徳永 正二郎	44(2/3)	1979(S54)
710	「資本一般」の展開過程(1857-62)	高倉 泰夫	44(2/3)	1979(S54)
711	新国際経済秩序における共通基金による緩衝在庫構想について	中村 靖志	44(2/3)	1979(S54)
712	アダム・スミスの資本蓄積論にみる歴史と理論の問題	関 源太郎	44(2/3)	1979(S54)
713	14・5世紀ツフト制度の変容について：ケルン綿・絹工業を中心として	田北 廣道	44(2/3)	1979(S54)
714	固定資本の更新と景気循環の周期性	田中 克尚	44(2/3)	1979(S54)
715	経済恐慌と軍事支出	中村 達	44(2/3)	1979(S54)
716	1866年のフランス「農業アンケート」のアルザス篇	湯村 武人	44(2/3)	1979(S54)
717	大隅農村社会経済史料(IX)：守屋舎人日帳(9)(天保3年7月～12月)	秀村 選三	44(2/3)	1979(S54)
718	フランクリン「愚考 紙幣の本質と必要」	福留 久大	44(2/3)	1979(S54)
719	家畜と社会：イギリスの場合とフランスの場合	湯村 武人	44(4/6)	1979(S54)
720	為替相場と国際収支	木下 悦二	44(4/6)	1979(S54)
721	近代管理学の労使関係観：バーナードにおける協働とコンフリクト	川端 久夫	44(4/6)	1979(S54)
722	国民勘定システムの構造と変換	武野 秀樹	44(4/6)	1979(S54)
723	「財務諸表公開の論理」再論	津守 常弘	44(4/6)	1979(S54)
724	資本循環の「統一」と資本流通過程：再生産の視角と諸資本の競争(IV)	逢坂 充	44(4/6)	1979(S54)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
725	賀藩の石高制と地米	松下 志朗	44(4/6)	1979(S54)
726	マルクス残虐立法論の源泉：イーデン『貧民の状態』	福留 久大	44(4/6)	1979(S54)
727	「大不況」と世界市場：第一次大戦前の世界市場構造の分析	徳永 正二郎	44(4/6)	1979(S54)
728	サービス商品の価値と商品体：赤堀邦雄教授の所説に関連して(1)	刀田 和夫	44(4/6)	1979(S54)
729	西独における株式所有構造の展開(I)：J.C.レーファクスの所説を中心として	丑山 優	44(4/6)	1979(S54)
730	地方自治体の根拠と地方財政論の方法について	中村 良広	44(4/6)	1979(S54)
731	「貴金属と為替相場」についての覚書	木下 悦二	45(1)	1979(S54)
732	サービス商品の価値と商品体：赤堀邦雄教授の所説に関連して(2)	刀田 和夫	45(1)	1979(S54)
733	一次産品問題につして	中村 靖志	45(1)	1979(S54)
734	明治前期鹿児島県農業に関する一資料-『大日本農会鹿児島支会大集会日誌』	秀村 選三	45(1)	1979(S54)
735	統計環境の実態(統一I)	大屋 祐雪	45(1)	1979(S54)
736	ウェストン『作業場からの火花』：『賃銀、価格および利潤』におけるマルクスの論敵-	福留 久夫	45(1)	1979(S54)
737	現代経営学の基本問題：個別資本説と近代組織論の統合	川端 久夫	45(2)	1980(S55)
738	組織内権力とコンティンジェンシー：アストン・グループの所説を中心に	中野 裕治	45(2)	1980(S55)
739	近世中・後期福岡藩の夫役制度に関する資料：『遠賀・鞍手両郡夫役定書并追加』・『鞍手郡夫錢仕組建前帳』・『御国中郡夫村夫取分定書』	秀村 選三	45(2)	1980(S55)
740	統計環境の実態(統一II)	大屋 祐雪	45(2)	1980(S55)
741	カロリング期農村世界の新しい像を求めて。：9世紀末プリュム修道院領の農民	森本 芳樹	45(3)	1980(S55)
742	V. F. ワグナーの信用創造論批判の視角：「現金余剰信用」概念を中心に	小野 隆弘	45(3)	1980(S55)
743	『法学講義』におけるA. スミスの歴史認識について	関 源太郎	45(3)	1980(S55)
744	資本蓄積論と労賃論との連繫に関する一考察：資本蓄積論前史としてのマルクス手稿『経済学批判(1861-63年)』	原 伸子	45(3)	1980(S55)
745	統計環境の実態(統一完)	大屋 祐雪	45(3)	1980(S55)
746	地方財政論の方法論に関する試論	岩元 和秋	45(4/6)	1980(S55)
747	19世紀ヨーロッパ農村における大規模経営の減少と中規模経営の増加について：フランスを中心に	湯村 武人	45(4/6)	1980(S55)
748	低開発国の経済発展の現局面とその性格	木下 悦二	45(4/6)	1980(S55)
749	創設期八幡製鉄所におけるドイツ人技師・職工長に関する資料(I)	秀村 選三	45(4/6)	1980(S55)
750	統計学批判序説(続)	大屋 祐雪	45(4/6)	1980(S55)
751	バーナード組織概念の再検討	川端 久夫	45(4/6)	1980(S55)
752	私的国際通貨と公的国際通貨	深町 郁弥	45(4/6)	1980(S55)
753	農業恐慌とドイツ畜産：ドイツ・ファシズムの「社会的基盤論」によせて	原田 溥	45(4/6)	1980(S55)
754	農民層分解と地代法則	宮川 謙三	45(4/6)	1980(S55)
755	過剰資本と利潤率低下の法則：(下)：『資本論』第3部第3篇第15章とは何か	逢坂 充	45(4/6)	1980(S55)
756	筑後国田中藩・有馬藩の石高と年貢	松下 志朗	45(4/6)	1980(S55)
757	中国における大躍進と財務監督取消し論争	西村 明	45(4/6)	1980(S55)
758	マルクスの農業機械論	福留 久大	45(4/6)	1980(S55)
759	世界市場と貿易論	徳永 正二郎	45(4/6)	1980(S55)
760	『資本論』における「価値の導出」の批判的考察	刀田 和夫	45(4/6)	1980(S55)
761	経済計画における統計利用	浜砂 敬郎	45(4/6)	1980(S55)
762	第一帝政期のフランス農村における年雇労働力	湯村 武人	46(1/2)	1981(S56)
763	資本活動の国際化と現代資本主義	木下 悦二	46(1/2)	1981(S56)
764	近世後期肥前小川島捕鯨業の一断面：草場佩川の見たる	秀村 選三	46(1/2)	1981(S56)
765	新SNAにみる日本の経済循環	武野 秀樹	46(1/2)	1981(S56)
766	企業合併の実証的研究と企業理論：マンデルカーの研究を中心として	市村 昭三	46(1/2)	1981(S56)
767	2段直列構成システムの信頼性・安全性：(I)	児玉 正憲	46(1/2)	1981(S56)
768	商品過剰説と資本過剰説について：過剰資本と利潤率低下の法則(補論そのI)	逢坂 充	46(1/2)	1981(S56)
769	西九州漁業労働力の存在形態	吉木 武一	46(1/2)	1981(S56)
770	旧産炭地域＝筑豊地域の再開発政策の今日的視座	蔦川 正義	46(1/2)	1981(S56)
771	ドルと国際金融市場：70年代における米国金融構造の変化と関連して	徳永 正二郎	46(1/2)	1981(S56)
772	パートナーシップ会計の資本維持構造	藤田 昌也	46(1/2)	1981(S56)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
773	統計環境の実証的考察...	浜砂 敬郎	46(1/2)	1981(S56)
774	「下請制と社会的分業の関係」についての覚書	井出 義則	46(1/2)	1981(S56)
775	インセンティブ・システムについて(I)：分権的企業のインセンティブ・システム	岡部 鐵男	46(3)	1981(S56)
776	組織の政治経済学：M. N. ザルドのばあい	中野 裕治	46(3)	1981(S56)
777	科学技術革命論からみた「唯研」生産力・技術論争	久野 国夫	46(3)	1981(S56)
778	80年代米穀物戦略の方向：特に1973年農業・消費者保護法、1977年食糧・農業法を中心に	川本 忠雄	46(3)	1981(S56)
779	カーター報告の研究：カナダにおける法人税改革構想	納富 一郎	46(3)	1981(S56)
780	独占価格・独占利潤と再生産	清野 良栄	46(3)	1981(S56)
781	外国為替と国際通貨(I)：『国際通貨の理論』補遺	木下 悦二	46(4/5)	1981(S56)
782	薩摩藩郷土守屋家をめぐる一・二の問題	秀村 選三	46(4/5)	1981(S56)
783	蜷川虎三の統計利用論	大屋 裕雪	46(4/5)	1981(S56)
784	売上債権投資の決定モデルの定式化：トセイの所論を中心として	市村 昭三	46(4/5)	1981(S56)
785	2段直列構成システムの信頼性・安全性：(II)	児玉 正憲	46(4/5)	1981(S56)
786	プリュム修道院所領明細表(893年)のカエサリウス写本(1222年)について。：西欧中世農村史史料伝来の1例	森本 芳樹	46(4/5)	1981(S56)
787	商品過剰説と利潤率低下の法則(上)：再び井村喜代子氏の所説に寄せて：過剰資本と利潤率低下の法則(補論そのII)	逢坂 充	46(4/5)	1981(S56)
788	薩摩藩初期の検地と石高	松下 志朗	46(4/5)	1981(S56)
789	国民経済間の不均等発展の変動相場：国際価値論的接近	徳永 正二郎	46(4/5)	1981(S56)
790	「明治初期日本漁業報告」	福留 久大	46(4/5)	1981(S56)
791	マルクス価値論と論理分析：碧海純一教授のマルクス批判に関連して	刀田 和夫	46(4/5)	1981(S56)
792	第一次大戦前フランスの産業組織：1919年〈クレマンテル調査〉の一局面	古賀 和文	46(4/5)	1981(S56)
793	『国富論』における賃金と人口について：A. ヤングの所説との対比で	関 源太郎	46(4/5)	1981(S56)
794	フランスの同族企業におけるトップ・マネジメントの成立：シュネーデル社の経営組織：1913年	藤村 大時郎	46(4/5)	1981(S56)
795	14-16世紀ケルンにおけるツunft制度の変質過程：中世後期ケルンの「経済構造の転換」の基礎課程	田北 廣道	46(4/5)	1981(S56)
796	外国為替と国際通貨(II)：『国際経済の理論』補遺	木下 悦二	46(6)	1982(S57)
797	商品過剰説と利潤率低下の法則(下)：再び井村喜代子の所説に寄せて	逢坂 充	46(6)	1982(S57)
798	現代米国における合併会計の基本問題	佐々木 利充	46(6)	1982(S57)
799	「剰余価値学説史」におけるK・マルクスとA・スミス：蓄積=再生産論をめぐって	秋田 清	46(6)	1982(S57)
800	19世紀前半期のフランス社会	湯村 武人	47(1)	1982(S57)
801	「貸借」複記性分析の一視点	藤田 昌也	47(1)	1982(S57)
802	社会的厚生にもとづく実質国民所得の評価	緒方 隆	47(1)	1982(S57)
803	因子分析法による福岡県市町村の消費者動向-意識特性の分析-	市村 昭三	47(1)	1982(S57)
804	旧制度末期から19世紀前半期にかけての北部フランスにおける大借地農業者について	湯村 武人	47(2/3)	1982(S57)
805	日本水産業再編過程の研究(I)：のり養殖の機械化	中橋 興	47(2/3)	1982(S57)
806	共同(意志)決定に関する一考察	北原 貞輔	47(2/3)	1982(S57)
807	人口勘定システムの構造	武野 秀樹	47(2/3)	1982(S57)
808	商業統計からみた福岡市小売業の特性分析	市村 昭三	47(2/3)	1982(S57)
809	保全回数を考慮した冗長システムの信頼性	児玉 正憲	47(2/3)	1982(S57)
810	小農地代の形成機構	宮川 謙三	47(2/3)	1982(S57)
811	資本の絶対的過剰生産と実現恐慌論(上)：富塚良三氏の所説に寄せて	逢坂 充	47(2/3)	1982(S57)
812	ロンドン・バランスと取引通貨：国際通貨としての英ポンド	徳永 正二郎	47(2/3)	1982(S57)
813	動的計画可能関数について	岩本 誠一	47(2/3)	1982(S57)
814	変動為替相場制下の世界経済	皆村 武一	47(2/3)	1982(S57)
815	南北交渉の現状とNIE0の将来	中村 靖志	47(2/3)	1982(S57)
816	マクロ経済的計画値の基本性格：統計利用論の展開のために	浜砂 敬郎	47(2/3)	1982(S57)
817	A Disequilibrium Economy Model with Inventory and Subjective Demand Function	Hosoe Moriki	47(2/3)	1982(S57)
818	国際的セーフガード問題とMFA貿易	西田 勝喜	47(2/3)	1982(S57)
819	プリュム修道院所領明細帳(893年)の史料批判をめぐる二つの問題：(I)	森本 芳樹	47(4)	1982(S57)
820	「貨幣資本と現実資本」論の萌芽：J. ウイルソンの金融市場逼迫論	川波 洋一	47(4)	1982(S57)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
821	米国・世銀援助政策の「新路線」と現代東南アジアにおける「緑の革命」	川本 忠雄	47(4)	1982(S57)
822	マルクス「生産価格」論の形成とリカード「価値修正」論：「剰余価値学説史」におけるマルクスとリカード(I)	秋田 清	47(4)	1982(S57)
823	変動相場制と国際通貨ドル：(II)	深町 郁弥	48(1)	1982(S57)
824	プリュム修道院所領明細帳(893年)の史料批判をめぐる二つの問題：(II)	森本 芳樹	48(1)	1982(S57)
825	労働＝真の・唯一の費用論と労働価値説の論証	刀田 和夫	48(1)	1982(S57)
826	科学技術革命論と今日のオートメーション	久野 国夫	48(1)	1982(S57)
827	ジョルジュ・ルフェーヴルの《農民革命》について	湯村 武人	47(5/6)	1983(S58)
828	国際価値論の課題：(I)	木下 悦二	47(5/6)	1983(S58)
829	調査目的について	大屋 祐雪	47(5/6)	1983(S58)
830	種々の需要形態に関する統一的在庫モデルの研究	児玉 正憲	47(5/6)	1983(S58)
831	組織均衡理論と組織の境界	川端 久夫	47(5/6)	1983(S58)
832	シュマーレンバッハ動態論と秘密積立金：(I)	津守 常弘	47(5/6)	1983(S58)
833	企業財務視点からの拡大効果の一考察	浦野 平三	47(5/6)	1983(S58)
834	合併動機としての株主の富極大化仮説を支持する実証研究とその問題点	市村 昭三	47(5/6)	1983(S58)
835	水資源問題の計量分析：需要関数の計測について	山崎 良也	47(5/6)	1983(S58)
836	有限責任と企業形態	後藤 泰二	47(5/6)	1983(S58)
837	変動相場制と国際通貨ドル(I)	深町 郁弥	47(5/6)	1983(S58)
838	エルトン・メイヤーの初期労作について	原田 實	47(5/6)	1983(S58)
839	資本の絶対的過剰生産と実現恐慌論(中)：富塚良三氏の所説に寄せて	逢坂 充	47(5/6)	1983(S58)
840	会計の統制機能と管理会計：管理会計の展開と差異分析論(1)	西村 明	47(5/6)	1983(S58)
841	インセンティブ・システムについて：(II)	岡部 鐵男	47(5/6)	1983(S58)
842	マルクスの英国農業機械化論	福留 久大	47(5/6)	1983(S58)
843	株式会社における資本金勘定の固定化についての一試論：株式会社会計論序説	藤田 昌也	47(5/6)	1983(S58)
844	制御過程・配分過程の動的逆理論	岩本 誠一	47(5/6)	1983(S58)
845	所有主体の多様化現象と経営支配の複層性について：西独における株式所有構造の展開(2)	丑山 優	47(5/6)	1983(S58)
846	A. スミスの近代的人間像について：「道徳感情論」六版での第一部第三篇の改訂に関連して	関 源太郎	47(5/6)	1983(S58)
847	再論。家畜と社会	湯村 武人	48(2)	1983(S58)
848	組織構造の多次元モデル	北原 貞輔	48(2)	1983(S58)
849	伝統的貿易理論批判：国民的生産能力の理論化のために	鳴瀬 成洋	48(2)	1983(S58)
850	文革前中国における減価償却論小史	藤田 昌也	48(2)	1983(S58)
851	均衡、定常と適応：経営問題を中心として	北原 貞輔	48(3/4)	1983(S58)
852	資本の絶対的過剰生産と実現恐慌論(下)：富塚良三氏の所説に寄せて	逢坂 充	48(3/4)	1983(S58)
853	原価会計の統制機能について	西村 明	48(3/4)	1983(S58)
854	労働力の価値と家事労働	刀田 和夫	48(3/4)	1983(S58)
855	技術先端産業の確率過程：半導体産業を例として(I)	久野 国夫	48(3/4)	1983(S58)
856	『資本論』翻訳の一齣	福留 久大	48(3/4)	1983(S58)
857	中国における減価償却基金管理の問題	藤田 昌也	48(3/4)	1983(S58)
858	年雇労働力について：(III)	湯村 武人	48(5/6)	1983(S58)
859	制御・学習および適応：経営問題を中心として	北原 貞輔	48(5/6)	1983(S58)
860	複合冗長系の保全性：(I)	児玉 正憲	48(5/6)	1983(S58)
861	サン・ベルタン修道院所領明細帳(844～859年)をめぐる諸問題：(I)	森本 芳樹	48(5/6)	1983(S58)
862	18世紀におけるロンドン私立銀行とイングランド銀行：中央銀行の形成過程	藤田 幸雄	48(5/6)	1983(S58)
863	信託機関と証券市場：米国商業銀行の信託兼営化に関する基礎的考察	青山 和司	48(5/6)	1983(S58)
864	国際通貨の「多様化」について：第三国貿易通貨と為替媒介通貨	井上 伊知郎	48(5/6)	1983(S58)
865	19世紀後半期における農業年雇事情：パ・ド・カレ県の場合	湯村 武人	49(1/2)	1984(S59)
866	いわゆる「後半体系」についての覚書	木下 悦二	49(1/2)	1984(S59)
867	企業組織と神経組織	北原 貞輔	49(1/2)	1984(S59)
868	クラブ財の理論	武野 秀樹	49(1/2)	1984(S59)
869	非合理性、妄想、産業疲労：1920年代初期におけるエルトン・メイヤーの思想	原田 実	49(1/2)	1984(S59)
870	複合冗長系の保全性：(II)	児玉 正憲	49(1/2)	1984(S59)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
871	標準原価会計の形成の論理と批判の論理：管理会計の展開と差異分析論(2)	西村 明	49(1/2)	1984(S59)
872	第三次産業の配置と所得の地域的循環	矢田 俊文	49(1/2)	1984(S59)
873	制御過程の三面鏡理論：離散編	岩本 誠一	49(1/2)	1984(S59)
874	不均衡動学モデルの展開：(I)	細江 守紀	49(1/2)	1984(S59)
875	わが国における産業論研究の展開：戦後産業発展との関連において	水口 和寿	49(1/2)	1984(S59)
876	低経済成長下における雇用政策の展開：雇用保険制度を中心にして	来島 浩	49(1/2)	1984(S59)
877	貨幣と剰余価値との関連についての一考察	立花 敬雄	49(1/2)	1984(S59)
878	経営組織の現状と将来	北原 貞輔	49(3)	1984(S59)
879	同時故障を考慮した2段階直列構成システムの解析	児玉 正憲	49(3)	1984(S59)
880	「会計利潤」についての一試論：投下資本回収計算の成立	藤田 昌也	49(3)	1984(S59)
881	戦後アメリカ経済におけるmarkup behavior と産業支配：コングロマリットとスタグフレーション	野下 保利	49(3)	1984(S59)
882	H. C. テーラーの農業階梯論について	湯村 武人	49(4/6)	1984(S59)
883	ソフト・システム論 その意義と応用：経営問題を対象として	北原 貞輔	49(4/6)	1984(S59)
884	近世における銭貨流通の一考察：福岡藩の「匁銭」成立を求めて	藤本 隆士	49(4/6)	1984(S59)
885	J. S. ミルの「功利主義論」について	荒牧 正憲	49(4/6)	1984(S59)
886	公共サービスを含む擬市場均衡	武野 秀樹	49(4/6)	1984(S59)
887	黒田長政の貿易：都市・流通政策との関連にみる	武野 要子	49(4/6)	1984(S59)
888	資本構成理論の新展開の模索：キムらの所論を中心にして	市村 昭三	49(4/6)	1984(S59)
889	再生しない多数の要素から成る複合冗長系の残存時間分布について	児玉 正憲	49(4/6)	1984(S59)
890	サン・ベルクン修道院所領明細帳(844年～859年)をめぐる諸問題：(II)	森本 芳樹	49(4/6)	1984(S59)
891	資本過剰説と「実現論なき恐慌論」(上)：宇野弘蔵氏の所説に寄せて	逢坂 充	49(4/6)	1984(S59)
892	柳川藩初期の石高と年貢	松下 志朗	49(4/6)	1984(S59)
893	薩摩藩留學生見学工場	福留 久大	49(4/6)	1984(S59)
894	増減記帳法と商業資金管理：負数回避の会計	藤田 昌也	49(4/6)	1984(S59)
895	明治期肥前福母炭坑に関する一考察	東定 宣昌	49(4/6)	1984(S59)
896	第1次大戦前後における筑豊炭鉱業の労資関係：(I)	萩野 喜弘	49(4/6)	1984(S59)
897	白崎秀雄「鈍翁・益田孝」を読む：組織論の読み	日置 弘一郎	49(4/6)	1984(S59)
898	機械論的パラダイムから全体論的パラダイムへ	北原 貞輔	50(1/2)	1984(S59)
899	マルクスの運輸論における「有用効果」概念の批判的考察	刀田 和夫	50(1/2)	1984(S59)
900	西南農法の普及と林遠里＝勸農社：島根県を事例として	西村 卓	50(1/2)	1984(S59)
901	経営労務論と労働者分析	遠藤 雄二	50(1/2)	1984(S59)
902	恐慌の契機としての信用について	中野 元	50(1/2)	1984(S59)
903	経済分析と計量経済学：A・マルシャルの所論について	西村 善博	50(1/2)	1984(S59)
904	マルクスの統計の一面：『資本論』における英国農業労働者賃銀	福留 久大	50(1/2)	1984(S59)
905	西ドイツ1983年国勢調査法にかんする連邦憲法裁判所の判決文	浜城 敬郎	50(1/2)	1984(S59)
906	企業と生物システムのアナロジー	北原 貞輔	50(3/4)	1985(S60)
907	新しい意思決定論に向けて	北原 貞輔	50(3/4)	1985(S60)
908	企業における権力ゲームのシナリオ分析：(1)	日置 弘一郎	50(3/4)	1985(S60)
909	企業合併と資本蓄積：石油・天然ガス産業の最近の事例(1978-80年)を中心として	野下 保利	50(3/4)	1985(S60)
910	アメリカの商業銀行における証券・信託業務の展開	青山 和司	50(3/4)	1985(S60)
911	商業資本の運動による再生産の弾力性について：恐慌の現実的契機としての商業資本	中野 元	50(3/4)	1985(S60)
912	1960年以降ベルギー学界における中世初期都市＝農村関係に関する研究	森本 芳樹	50(3/4)	1985(S60)
913	マルクスの統計の一面：「資本論」における英国所得税課税所得	福留 久大	50(3/4)	1985(S60)
914	エコ・マネジメント	北原 貞輔	50(5)	1985(S60)
915	ストック比較計算とフロー比較計算：複記性の根拠について	藤田 昌也	50(5)	1985(S60)
916	企業合併と金融市場：Stephen J. Entin "Merger Activity and Bank Credit"について	野下 保利	50(5)	1985(S60)
917	1960年以降ドイツ学界における中世初期都市＝農村関係に関する研究	森本 芳樹	50(5)	1985(S60)
918	フォース・サイバネティクス	北原 貞輔	50(6)	1985(S60)
919	水の需要弾力性の測定に関する一考察	山崎 良也	50(6)	1985(S60)
920	保全に優先順位がある複合冗長システムの信頼性：(I)	児玉 正憲	50(6)	1985(S60)
921	労働市場への契約論的アプローチ	細江 守紀	50(6)	1985(S60)
922	経営・経済と法：昭和56年改正商法における「資本金」規定をめぐって	片山 伍一	51(1/2)	1985(S60)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
923	システム思考の発展	北原 貞輔	51(1/2)	1985(S60)
924	情報の二面的特質と情報コスト	北原 貞輔	51(1/2)	1985(S60)
925	プリュム修道院所領明細帳に追加部分はないか。シュワープによる新版に寄せて	森本 芳樹	51(1/2)	1985(S60)
926	サービス労働と価値形成：通説的所説の批判	刀田 和夫	51(1/2)	1985(S60)
927	ケインズの有効需要論：『貨幣論』から『一般理論』へ	山田 信一	51(1/2)	1985(S60)
928	マルクスとハズバッハ：一九世紀中葉英国農業者階層規模別構成	福留 九大	51(1/2)	1985(S60)
929	経営進化の多段モデル	北原 貞輔	51(3)	1985(S60)
930	ロートベルトゥスの地代論とマルクス：『剰余価値学説史』におけるマルクスとリカードウ：(Ⅱ)	秋田 清	51(3)	1985(S60)
931	アメリカ初期管理運動の一側面：機械化と記録制度	中川 誠士	51(3)	1985(S60)
932	地域人口予測にかんする一考察	西村 善博	51(3)	1985(S60)
933	昭和55～57年度学位論文要旨・論文審査要旨	本吉 敬治	51(3)	1985(S60)
934	調査計画について	大屋 祐雪	51(4)	1986(S61)
935	ソフト経済：その意義を考える	北原 貞輔	51(4)	1986(S61)
936	CIF売買の起源について：定型貿易慣習の生成に果たした貿易金融の役割	徳永 正二郎	51(4)	1986(S61)
937	石倉一郎氏のサービス理論批判	刀田 和夫	51(4)	1986(S61)
938	ワーク・インセンティブと昇進制度	細江 守紀	51(4)	1986(S61)
939	公共サービスの最適供給と公共資本形成	有吉 範敏	51(4)	1986(S61)
940	クロスボーダー・リース：その特性と展開	里園 清孝	51(4)	1986(S61)
941	労働者階級、労働過程、主体形成	遠藤 雄二	51(4)	1986(S61)
942	企業組織の開放性と閉鎖性	北原 禎輔	51(5)	1986(S61)
943	資本構成論における Non-Debt Tax Shields の意義：デアンジェロ＝マズリスの所論を中心として	市村 昭三	51(5)	1986(S61)
944	種々の需要形態に関する確率的在庫モデル	児玉 正憲	51(5)	1986(S61)
945	所要機能資本説の検討：別府正十郎教授の所説を中心に	藤田 昌也	51(5)	1986(S61)
946	交互ミニマックス制御過程	岩本 誠一	51(5)	1986(S61)
947	経済計画における経済予測の一形態：西ドイツ連邦政府の方法体系の分析	浜砂 敬郎	51(5)	1986(S61)
948	地域企業の環境と自治体の企業育成	日置 弘一郎	51(5)	1986(S61)
949	文化進化に関する基礎的研究	北原 貞輔	51(6)	1986(S61)
950	保全に優先順位がある複合冗長システムの信頼性：(Ⅱ)	児玉 正憲	51(6)	1986(S61)
951	独占的競争と再生産：一般的利潤率法則を中心として	溝上 孝夫	51(6)	1986(S61)
952	兼営銀行制度と貨幣節約：西独における貨幣市場と支払取引制度	清田 匡	51(6)	1986(S61)
953	金融取引と信用創造	原田 善教	51(6)	1986(S61)
954	原油供給システムと中東産油国の資源ナショナリズム：(Ⅰ)	山崎 朗	51(6)	1986(S61)
955	甦るテイラー：最近における「科学的管理」研究の動向について	中川 誠士	51(6)	1986(S61)
956	西ドイツにおける外国人労働者問題と多国籍企業	有賀 優子	51(6)	1986(S61)
957	昭和60年度学位論文要旨・論文審査要旨		51(6)	1986(S61)
958	ケインズのマルクス批判：共通の場はあるか	高橋 正雄	52(1/4)	1987(S62)
959	インフレーションと二つの道	岡橋 保	52(1/4)	1987(S62)
960	経済学の体系について：いわゆるプラン問題	高木 幸二郎	52(1/4)	1987(S62)
961	資本蓄積と信用制度について：「新しい」信用論に学ぶ	荒牧 正憲	52(1/4)	1987(S62)
962	資本蓄積論の構成(上) 相対的過剰人口論の方法論的省察を通して	逢坂 充	52(1/4)	1987(S62)
963	流通労働と価値形成	刀田 和夫	52(1/4)	1987(S62)
964	統計表と集計計画	大屋 祐雪	52(1/4)	1987(S62)
965	Aktueller Querschnitt durch die Erhebungsbedingungen der westdeutschen Regierungsstatistik：(1)	浜砂 敬郎	52(1/4)	1987(S62)
966	西ドイツ地方財政論の現況：(1)	伊東 弘文	52(1/4)	1987(S62)
967	80年代初期の農業不況とレーガン政権の農業政策	宮川 謙三	52(1/4)	1987(S62)
968	外国為替と国際通貨：岡橋・岩野両教授に因って	木下 悦二	52(1/4)	1987(S62)
969	商業銀行のターム・ローンと金融市場	深町 郁彌	52(1/4)	1987(S62)
970	金融革新と「市場の力」	川波 洋一	52(1/4)	1987(S62)
971	金融の証券化と資本の自由化：過剰流動性問題と規制解除金融システム	徳永 正二郎	52(1/4)	1987(S62)
972	近世住友家の商用貸付：とくに後藤縫殿助家の場合	宮本 又次	52(1/4)	1987(S62)
973	薩摩藩郷土守屋家の系譜と舎人(重亮)以前の諸問題(Ⅰ)	秀村 選三	52(1/4)	1987(S62)
974	1880年代における奄美各港の移出入について	松下 志朗	52(1/4)	1987(S62)
975	昭和初期、筑豊における炭鉱労働組合の系譜	東定 宣昌	52(1/4)	1987(S62)
976	西欧中世初期農村史研究の最近の成果と課題	森本 芳樹	52(1/4)	1987(S62)
977	疎外の論理と弁証法：ヘーゲルにおける弁証法の成立によせて	副田 満輝	52(1/4)	1987(S62)
978	創業カリスマの確立過程：企業における権力ゲームのシナリオ分析Ⅱ	日置 弘一郎	52(1/4)	1987(S62)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
979	資本主義的統制について：ブラウオイのブレイヴァマン批判(1)	遠藤 雄二	52(1/4)	1987(S62)
980	管理会計研究の展開	西村 明	52(1/4)	1987(S62)
981	貨幣価値変動会計についての一考察	藤田 昌也	52(1/4)	1987(S62)
982	ゼロ・サム論を越えて	北原 貞輔	52(1/4)	1987(S62)
983	工業の立地類型と工場成長の地域間格差	矢田 俊文	52(1/4)	1987(S62)
984	公共サービスの最適配分	武野 秀樹	52(1/4)	1987(S62)
985	資本構成の決定要因の比較静学分析：タガートの所論を中心にして	市村 昭三	52(1/4)	1987(S62)
986	質的データによる景気予測について	佐伯 親良	52(1/4)	1987(S62)
987	非対称情報とリスク分担の最適契約	細江 守紀	52(1/4)	1987(S62)
988	確率的在庫モデルの最適政策：(I)	児玉 正憲	52(1/4)	1987(S62)
989	順序配分過程について	岩本 誠一	52(1/4)	1987(S62)
990	OAにおける統合通信LANの評価	時永 祥三	52(1/4)	1987(S62)
991	認識構造について	北原 貞輔	52(5)	1987(S62)
992	確率的在庫モデルの最適政策：(II)	児玉 正憲	52(5)	1987(S62)
993	マネタリー・アプローチと国際流動性問題：戦後期国際収支調整論の検討	徳永 正二郎	52(5)	1987(S62)
994	On the Regional Structure of the Japanese Economy	Yada Toshifumi	52(5)	1987(S62)
995	非対称的行動情報と企業組織の有効性	細江 守紀	52(5)	1987(S62)
996	時間依存優先権を考慮したデマンドアサイメント方式バス型LANの近似解析	時永 祥三	52(5)	1987(S62)
997	P情報とS情報	北原 貞輔	52(6)	1987(S62)
998	Reliability and Maintainability of a Multicomponent Series-Parallel System with Simultaneous Failure under Preemptive Repeat Repair Discipline	児玉 正憲	52(6)	1987(S62)
999	地方自治体における財務会計オンラインシステム分析の一視点	時永 祥三	52(6)	1987(S62)
1000	利潤概念と競争論：生産当事者の意識の問題を中心として	溝上 孝夫	52(6)	1987(S62)
1001	安定行列と価格：Leontief-Sraffa体系における価格の収束性	永田 聖二	52(6)	1987(S62)
1002	経済のソフト化について	山崎 良也	53(1/2)	1987(S62)
1003	アメリカ企業の資本構成の実証研究と資本構成理論	市村 昭三	53(1/2)	1987(S62)
1004	会計管理論と会計情報システム論：中国における会計属性をめぐる論争	西村 明	53(1/2)	1987(S62)
1005	経済のサービス化と富の生産：「成長の経済」と「沈滞の経済」の背後にあるもの	徳永 正二郎	53(1/2)	1987(S62)
1006	西ドイツ地方財政論の現況(2)	伊東 弘文	53(1/2)	1987(S62)
1007	中国における減価償却基金金融論	藤田 昌也	53(1/2)	1987(S62)
1008	西独における現代経済予測論の一断面(1)：T. ファユナの景気予測論と構造予測論	浜砂 敬郎	53(1/2)	1987(S62)
1009	寡占市場における情報獲得と情報シェアリング	細江 守紀	53(1/2)	1987(S62)
1010	インフレーション会計の基本問題	藤重 義則	53(1/2)	1987(S62)
1011	P. リンズィの「インダストリィ」概念について：スコットランド啓蒙形成期における「経済改良」提言の一つの論理	関 源太郎	53(1/2)	1987(S62)
1012	経営学におけるポストモダン(1)：自己組織性・ホロン・contingencies	日置 弘一郎	53(1/2)	1987(S62)
1013	所得分布に関する分布関数の推定	佐伯 親良	53(1/2)	1987(S62)
1014	増減記帳法の科学性について	張 以寛	53(1/2)	1987(S62)
1015	ホロン経営	北原 貞輔	53(3)	1987(S62)
1016	Leontief-Sraffa体系における非基礎的生産物：「自然価格」の存在とその収束性	永田 聖二	53(3)	1987(S62)
1017	戦間期アメリカの商業銀行とターム・ローン	数阪 孝志	53(3)	1987(S62)
1018	物象の人格化をめぐる	安田 均	53(3)	1987(S62)
1019	韓国農地改革の再評価	深川 博史	53(3)	1987(S62)
1020	ECにおける資本移動の自由化	星野 郁	53(3)	1987(S62)
1021	第1期レーガン政権下の租税政策：財務省報告(1984年11月)の批判的評価	赤石 孝次	53(3)	1987(S62)
1022	進化する倫理	北原 貞輔	53(4/5)	1988(S63)
1023	アメリカにおける経営情報システムとしてのセグメント情報システムの発展	市村 昭三	53(4/5)	1988(S63)
1024	アメリカの「債務国」への転化とドルの基軸通貨性の侵食	深町 郁彌	53(4/5)	1988(S63)
1025	動的在庫モデルの最適政策(I)：連続編	児玉 正憲	53(4/5)	1988(S63)
1026	カロリング期所領明細帳研究の成果と課題(1)	森本 芳樹	53(4/5)	1988(S63)
1027	資本蓄積論の構成(中)：利子生み資本と資本蓄積(I)	逢坂 充	53(4/5)	1988(S63)
1028	SNA統計とマルクス：付加価値と価値生産物	福留 久大	53(4/5)	1988(S63)
1029	技術革新と「投下労働価値説」：面值と生産力のパラドックス	徳永 正二郎	53(4/5)	1988(S63)

『経済学研究』 文献目録

昭和6 (1931) 年 第1輯～令和4 (2022) 年 第89巻4号 (九州大学経済学会発行)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1030	西ドイツ地方財政論の現況(Ⅲ・完)	伊東 弘文	53(4/5)	1988(S63)
1031	ケトラーの統計学	高橋 政明	53(4/5)	1988(S63)
1032	「情報量統計学」の現状と課題	坂元 慶行	53(4/5)	1988(S63)
1033	動的計画と累次積分について	岩本 誠一	53(4/5)	1988(S63)
1034	明治初期、福岡県の鉱業行政：石炭鉱業における試掘、開坑手続を中心として	東定 宣昌	53(4/5)	1988(S63)
1035	第1次大戦前後における筑豊炭鉱業の労資関係(Ⅱ)	荻野 喜弘	53(4/5)	1988(S63)
1036	交通業の生産物・再論	刀田 和夫	53(4/5)	1988(S63)
1037	西独における現代経済予測論の一断面(完)：T. ファユナの景気予測論と構造予測論	浜砂 敬郎	53(4/5)	1988(S63)
1038	輸出確認統計について：貿易業務統計研究2	森 博美	53(4/5)	1988(S63)
1039	T.メルヴィルの「経済改良」提言にみるスコットランド「近代的経済社会」の構想：P. リンズィの所説との対比で	関 源太郎	53(4/5)	1988(S63)
1040	ASEAN諸国の経済変動と貿易構造の変化	佐伯 親良	53(4/5)	1988(S63)
1041	知識ベースを用いた経済計算エキスパートシステムの考察	時永 祥三	53(4/5)	1988(S63)
1042	メタインフォーメーション	北原 貞輔	53(6)	1988(S63)
1043	動的在庫モデルの最適政策(Ⅱ)：連続編	児玉 正憲	53(6)	1988(S63)
1044	棲み分け社会と利潤形成：「関係」概念としての価値・利潤	徳永 正二郎	53(6)	1988(S63)
1045	戦後における生産調整政策の再検討	松井 隆幸	53(6)	1988(S63)
1046	開放体系下のマクロ経済と財政政策	高木 かおる	53(6)	1988(S63)
1047	制限情報最尤法とAIC	林田 実	53(6)	1988(S63)
1048	商業銀行の証券業務への進出について	数阪 孝志	53(6)	1988(S63)
1049	スペイン・ポルトガルのEC加盟：経済統合と経済発展	星野 郁	53(6)	1988(S63)
1050	西ドイツの1987年国勢調査にかんするグロマンレポート(於：東京、'87年9月)	浜砂 敬郎	53(6)	1988(S63)
1051	技術情報生産の経営管理	小川 英次	54(1/2)	1988(S63)
1052	情報システムの新しい段階：情報化とその技術進歩	涌田 宏昭	54(1/2)	1988(S63)
1053	オフィスワークの概念：OA理論の基礎概念として	小島 敏宏	54(1/2)	1988(S63)
1054	企業合併・買収の成立要件と利害者集団	市村 昭三	54(1/2)	1988(S63)
1055	九州経済の計量・計画モデル	山崎 良也	54(1/2)	1988(S63)
1056	リードタイムのある動的在庫モデルの最適政策	児玉 正憲	54(1/2)	1988(S63)
1057	動的計画による不等式論	岩本 誠一	54(1/2)	1988(S63)
1058	参入-投資の競争ゲームとコスト情報	細江 守紀	54(1/2)	1988(S63)
1059	情報通信事業と金融情報ネットワーク：波及効果と規制緩和策をめぐって	時永 祥三	54(1/2)	1988(S63)
1060	「個別資本の理論」について：学説史的感想	川端 久夫	54(1/2)	1988(S63)
1061	経営学におけるポストモダン(Ⅱ)	日置 弘一郎	54(1/2)	1988(S63)
1062	日本の産業空洞化と雇用問題	遠藤 雄二	54(1/2)	1988(S63)
1063	カロリング期所領明細帳研究の成果と課題(2)	森本 芳樹	54(1/2)	1988(S63)
1064	ワルラス世界と価値概念：私的所有と棲み分け社会	徳永 正二郎	54(1/2)	1988(S63)
1065	西ドイツの政府間財政関係と補助金	伊東 弘文	54(1/2)	1988(S63)
1066	統計利用論の分析視角をめぐって	浜砂 敬郎	54(1/2)	1988(S63)
1067	SQC→TQC→TQM	北原 貞輔	54(3)	1988(S63)
1068	個別資本説における経営技術批判	川端 久夫	54(3)	1988(S63)
1069	リードタイムのある動的在庫モデルの定常政策	児玉 正憲	54(3)	1988(S63)
1070	『資本論』首節の一字：マルクスにおける過剰	福留 久大	54(3)	1988(S63)
1071	米国生保会社におけるサープラス(surplus)の管理：新たな財務管理の模索	古瀬 政敏	54(3)	1988(S63)
1072	特別剰余価値と競争論	溝上 孝夫	54(3)	1988(S63)
1073	資本の所有と機能	安田 均	54(3)	1988(S63)
1074	双方独占と協力について	福澤 勝彦	54(3)	1988(S63)
1075	商業資本の排除と流通費用	宮崎 卓朗	54(3)	1988(S63)
1076	剰余価値の収入形態と剰余価値の資本化：「単純再生産」論と蓄積(Ⅱ)	諸泉 俊介	54(3)	1988(S63)
1077	セキュリティゼーションと商業銀行	数阪 孝志	54(3)	1988(S63)
1078	財務省報告(1984年11月)と1986年税制改革法の評価(Ⅰ)：最適課税論の展開と連邦所得税改革	赤石 孝次	54(3)	1988(S63)
1079	為替レート変化と産業構造に関する理論的考察	高木 かおる	54(3)	1988(S63)
1080	金融資本と「経営者」	野田 弘英	54(4/5)	1988(S63)
1081	L・ケイムズにおける「富裕な商業社会」の問題	小柳 公洋	54(4/5)	1988(S63)
1082	社会科学のなかの統計学	大屋 祐雪	54(4/5)	1988(S63)
1083	利子生み資本と資本蓄積(Ⅱ)：資本蓄積論の構成(続)	逢坂 充	54(4/5)	1988(S63)
1084	日本の直接投資とアジアの産業的・金融的連関：ASEAN向投資の特性と関連して	徳永 正二郎	54(4/5)	1988(S63)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1085	西ドイツ市町村財政調整の再検討：1	伊藤 弘文	54(4/5)	1988(S63)
1086	統計調査体系論ノート	濱砂 敬朗	54(4/5)	1988(S63)
1087	匿名『スコットランドにおける漁業およびリネン製造業改良の諸理由』について：経済界量とその推進主体形成の問題	関 源太郎	54(4/5)	1988(S63)
1088	批判経営学の戦時経済統制論：馬場克三の戦時論文をめぐって	川端 久夫	54(4/5)	1988(S63)
1089	アメリカ企業財務の最近の動向：自社株式の買戻しの急増傾向	市村 昭三	54(4/5)	1988(S63)
1090	北九州経済の数量分析	山崎 良也	54(4/5)	1988(S63)
1091	一般的生産・需要形態に関する静態的在庫モデル	児玉 正憲	54(4/5)	1988(S63)
1092	九州地区における情報処理産業展開の一考察：技術高度化への対応を中心として	時永 祥三	54(4/5)	1988(S63)
1093	米国の医療保険制度改革と民間医療ビジネスの最近の動向	松山 幸弘	54(4/5)	1988(S63)
1094	MARXISM, SOVIET UNION AND ANDREI D. SAKHAROV	高橋 正雄	54(6)	1989(H1)
1095	経営技術学への途：日本経営学史の一齣	川端 久夫	54(6)	1989(H1)
1096	リードタイムのある確率的在庫モデル：連続編	児玉 正憲	54(6)	1989(H1)
1097	国際通貨・ドル本位制・変動相場制：為替論争の理論的・現代的課題は何か	徳永 正二郎	54(6)	1989(H1)
1098	マクロ政策の国際協調と完全雇用：為替レート調整とその国内均衡への影響に関する一考察	高木 かおる	54(6)	1989(H1)
1099	西ドイツ農業と農政の方向性：各政党の農業計画を素材にして	北崎 浩嗣	54(6)	1989(H1)
1100	幕末一明治中期の長崎における製茶輸出	原 康記	54(6)	1989(H1)
1101	リードタイムのある確率的在庫モデル：離散編	児玉 正憲	55(1/2)	1989(H1)
1102	The Depression and Restructuring of Kitakyushu's Economy	矢田 俊文	55(1/2)	1989(H1)
1103	取引費用と組織構造の選択戦略	岡部 鐵男	55(1/2)	1989(H1)
1104	最適契約構造の分析：信用供与と長期契約の場合	細江 守紀	55(1/2)	1989(H1)
1105	ポートフォリオ分析エキスパートシステムの構築について	時永 祥三	55(1/2)	1989(H1)
1106	日本的M&A戦略の特質と課題：グローバル・リストラの買収をめぐって	安田 義郎	55(1/2)	1989(H1)
1107	経営技術学の胚胎：大木秀男の戦時経営学説	川端 久夫	55(1/2)	1989(H1)
1108	Reform of Ownership Organization and Stock Systems in China	西村 明	55(1/2)	1989(H1)
1109	The International Regulations Governing the Capital Adequacy of Banks and Its Influence on Japanese Banks Management	丑山 優	55(1/2)	1989(H1)
1110	東アジア比較経営論ノート：日韓比較調査のために（上）	日置 弘一郎	55(1/2)	1989(H1)
1111	日本の直接投資とタイ工業化：日本の直接投資がタイ経済・金融市場に与えるインパクト(1)	徳永 正二郎	55(1/2)	1989(H1)
1112	西ドイツ市町村財政調整の再検討（2）	伊東 弘文	55(1/2)	1989(H1)
1113	筑後国久留米藩の藩札：享保期以前の事例研究	松下 志朗	55(1/2)	1989(H1)
1114	Das Gesamtsystem der statistische Erhebungen in Japan	濱砂 敬朗	55(1/2)	1989(H1)
1115	耐久財貸借の経済的性格	刀田 和夫	55(1/2)	1989(H1)
1116	経営技術の夭折：大木秀男の戦後経営学説	川端 久夫	55(3)	1989(H1)
1117	離散確率的在庫モデルの同値変換	児玉 正憲	55(3)	1989(H1)
1118	タイの投資・輸出奨励策と企業内国際貿易：日本の直接投資がタイ国経済・金融市場に与えるインパクト：（2）	徳永 正二郎	55(3)	1989(H1)
1119	東アジア比較経営論ノート：日韓比較調査のために(下)	日置 弘一郎	55(3)	1989(H1)
1120	企業の生産費用と労働組合の行動	福澤 勝彦	55(3)	1989(H1)
1121	アメリカの1985年農業法と農業団体の反応：1987年の修正論議をめぐって	堤 菜穂子	55(3)	1989(H1)
1122	経済法則と資本の行動：現代資本主義論への展望	溝上 孝夫	55(3)	1989(H1)
1123	二国モデルにおける課税と資本移動の厚生経済分析	前田 純一	55(3)	1989(H1)
1124	「所有と経営の分離」の現代性	安田 均	55(3)	1989(H1)
1125	「経済学批判要綱」における資本蓄積論についての一考察	諸泉 俊介	55(3)	1989(H1)
1126	積極側貸借対象表計上能力問題史の一齣：特に、計算限定項目を中心に	森 美智代	55(3)	1989(H1)
1127	バーナードとその組織観の変遷	飯野 春樹	55(4/5)	1990(H2)
1128	共同受注グループの一考察：異業種交流を中心に	平池 久義	55(4/5)	1990(H2)
1129	GROWTH MODEL OF SMALL COMPANIES IN JAPAN	塩次 喜代明	55(4/5)	1990(H2)
1130	中国国営企業の人事・労務管理：経済改革以前の実情とその特徴	林 新生	55(4/5)	1990(H2)
1131	ドイツ銀行の企業集団化政策	丑山 優	55(4/5)	1990(H2)
1132	文明の装置としての企業：比較経営と比較文明論の接点	日置 弘一郎	55(4/5)	1990(H2)
1133	国際会計の展開とその意義	徳賀 芳弘	55(4/5)	1990(H2)
1134	相互会社における自己資本の帰属について：自己資本に対する社員の権利	古瀬 政敏	55(4/5)	1990(H2)
1135	グローバル・ネオマネジメント	北原 貞輔	55(4/5)	1990(H2)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1136	離散確率的在庫モデルに関する同値変換の一般化	児玉 正憲	55(4/5)	1990(H2)
1137	パラメトリックな線形計画と動的計画（I）	岩本 誠一	55(4/5)	1990(H2)
1138	アメリカハイテク産業の現状と州政策(I)	時永 祥三	55(4/5)	1990(H2)
1139	構造論と動態論の方法について：利潤率の低下法則と蓄積の法則に関連して	逢坂 充	55(4/5)	1990(H2)
1140	西ドイツ市町村財政調整の再検討(3・完)	伊東 弘文	55(4/5)	1990(H2)
1141	サービス論争の生産的労働論から価値論・商品論への転換について	刀田 和夫	55(4/5)	1990(H2)
1142	統計環境の分析視角：統計調査とプライバシー問題	浜砂 敬郎	55(4/5)	1990(H2)
1143	信用供与の技術革新と商業銀行（上）：1930年代アメリカにおける担保貸付との関連で	川波 洋一	55(4/5)	1990(H2)
1144	組織・文化・社会	北原 貞輔	55(6)	1990(H2)
1145	生産技術・経営技術・管理技術：片岡信之・貫隆夫の見解に関連して	川端 久夫	55(6)	1990(H2)
1146	返品および追加注文を許す一期間確率的在庫モデル（I）	児玉 正憲	55(6)	1990(H2)
1147	Economic Asianization and the Economies of ASEAN: The Position of ASEAN and Kyushu in the New Asian Trading System	Tokunaga Shojiro	55(6)	1990(H2)
1148	Der Kommunale Finanzausgleich in der Bundesrepublik Deutschland und Japan-Ein Vergleich	Itoh Kobun	55(6)	1990(H2)
1149	戦略と組織構造	岡部 鐵男	55(6)	1990(H2)
1150	アメリカハイテク産業の現状と州政策：（II）	時永 祥三	55(6)	1990(H2)
1151	信用供与の技術革新と商業銀行（下）：1930年代アメリカにおける担保貸付との関連で	川波 洋一	55(6)	1990(H2)
1152	好況期の現実資本と貨幣資本の蓄積	鳥井 鋼生	55(6)	1990(H2)
1153	持株会社の支配機構：インサル・グループを中心に	原田 善教	56(1/2)	1991(H3)
1154	ドイツ大銀行のリテール・バンキング（1）：貯蓄預金業務と消費者信用業務を中心に	清田 匡	56(1/2)	1991(H3)
1155	1950・60年代アメリカの商業銀行	数阪 孝志	56(1/2)	1991(H3)
1156	米国生命保険会社の商品改革の進展	中浜 隆	56(1/2)	1991(H3)
1157	多極システム下の国際的マネーフロー	前田 淳	56(1/2)	1991(H3)
1158	Wandel der Industriestruktur nach 1945 in Japan	Aramaki Masanori	56(1/2)	1991(H3)
1159	生産力の発展過程と一般的利潤率の変動について	逢坂 充	56(1/2)	1991(H3)
1160	JAPAN'S INVESTMENT AND DEVELOPMENT OF ASEAN FINANCIAL MARKETS: Thai and Malaysian cases	Tokunaga Shojiro	56(1/2)	1991(H3)
1161	給付能力課税の原則と課税単位：D. Pohmerの所説を中心に	伊東 弘文	56(1/2)	1991(H3)
1162	わが国における統計環境政策の若干の問題点	濱砂 敬郎	56(1/2)	1991(H3)
1163	第1次大戦前後における筑豊炭鉱業の労資関係：Ⅲ	荻野 喜弘	56(1/2)	1991(H3)
1164	消費者信用の発生とファイナンス・カンパニー	川波 洋一	56(1/2)	1991(H3)
1165	経営管理・生産管理・労務管理	川端 久夫	56(1/2)	1991(H3)
1166	中国社会主義会計の構造と特質：ソ連型会計制度との比較において	西村 明	56(1/2)	1991(H3)
1167	返品および追加注文を許す一期間確率的在庫モデル：Ⅱ	児玉 正憲	56(1/2)	1991(H3)
1168	パラメトリックな線形計画と動的計画：Ⅱ	岩本 誠一	56(1/2)	1991(H3)
1169	交渉力、取引特定投資、および情報に関する取引メカニズムの分析：Ⅰ	細江 守紀	56(1/2)	1991(H3)
1170	企業の競争戦略と先発者の利益	岡部 鉄男	56(1/2)	1991(H3)
1171	アメリカにおける金融・財務エキスパートシステムの現状：その1	時永 祥三	56(1/2)	1991(H3)
1172	再び労務管理の理論について：『労務管理の基本問題』を中心として	川端 久夫	56(3)	1990(H2)
1173	種々の返却および追加注文を許す確率的在庫モデル：（I）	児玉 正憲	56(3)	1990(H2)
1174	アメリカにおける金融・財務エキスパートシステムの現状：（Ⅱ）	時永 祥三	56(3)	1990(H2)
1175	The Credit Extension and the Collateral System: Historical Development of Business Loans by American Commercial Banks：（I）	Kawanami Yoichi	56(3)	1990(H2)
1176	マーシャル経済学と「代表的企業」概念	岩下 伸朗	56(3)	1990(H2)
1177	発展途上国における所得移転効果について：異なる2つの為替相場制度をめぐって	長島 正治	56(3)	1990(H2)
1178	アメリカの非組合大企業における人事管理：F.K. フォルクスの所論の批判的検討	今村 寛治	56(3)	1990(H2)
1179	グローバル競争戦略論の展開：多国籍企業論の新動向	津守 貴之	56(3)	1990(H2)
1180	昭和63年度・平成元年度学位論文要旨・論文審査要旨		56(3)	1990(H2)
1181	返却および追加注文を許す多期間確率的在庫モデル	児玉 正憲	56(4)	1991(H3)
1182	マルクスのサービス論とその射程	刀田 和夫	56(4)	1991(H3)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1183	戦間期長崎県における海外移民について	原 康記	56(4)	1991(H3)
1184	マクロ経済指標の国際比較のための経済指数	松川 太一郎	56(4)	1991(H3)
1185	韓国『第6次経済社会発展 5か年計画修正計画(1988-1991年)』	深川 博史	56(4)	1991(H3)
1186	日本の生産システムの歴史的背景とその現代的展開	下川 浩一	56(5/6)	1992(H4)
1187	ドイツの労働協約と経営協定	佐護 譽	56(5/6)	1992(H4)
1188	日本型経営方式の移転可能性：イギリスでの事例を中心に	石井 修二	56(5/6)	1992(H4)
1189	科学的管理と「日本的経営」、1910～1945年：「計画と執行の分離」の観点から	中川 誠士	56(5/6)	1992(H4)
1190	管理概念の外延と内包：バーナード・サイモン理論覚書：(I)	川端 久夫	56(5/6)	1992(H4)
1191	資本勘定の成立についての一考察	藤田 昌也	56(5/6)	1992(H4)
1192	たかがドラッカー、されどドラッカー：経営学におけるポストモダン ⁴	日置 弘一郎	56(5/6)	1992(H4)
1193	日本とイギリスの女性労働者	遠藤 雄二	56(5/6)	1992(H4)
1194	原価計算・管理会計史論についての一考察：ジョンソン＝キャプラン『失われた関連性』における問題提起を受けて	大下 丈平	56(5/6)	1992(H4)
1195	西欧中世前期貨幣史の諸問題：1960年以降ヨーロッパ学界の研究成果から	森本 芳樹	56(5/6)	1992(H4)
1196	Japan's FDI-Promoting Systems and Intra-Asia Networks: New Investment and Trade Systems Created by A Borderless Economy	Tokunaga Shojiro	56(5/6)	1992(H4)
1197	中国の統計報告制度にかんする調査分析	濱砂 敬郎	56(5/6)	1992(H4)
1198	株式の公開買い付けとその資金調達方法との関連性：ハリス、フランク、メイヤーらの実証研究を中心として	市村 昭三	56(5/6)	1992(H4)
1199	種々の返却および追加注文を許す確率的在庫モデル：(II)	児玉 正憲	56(5/6)	1992(H4)
1200	医療技術労働の発達構造	下山 房雄	56(5/6)	1992(H4)
1201	垂直統合と不確実性	岡部 鐵男	56(5/6)	1992(H4)
1202	日本情報産業のアジアネットワークと中国の開放経済体制	時永 祥三	56(5/6)	1992(H4)
1203	ポストMM理論の展開：情報非対称性下の資本構成理論	翟 林瑜	56(5/6)	1992(H4)
1204	明治20年代の社債発行と保険会社引受：九州の鉄道・紡績を中心として	小川 功	56(5/6)	1992(H4)
1205	管理過程論の特質にかんする一考察：二村敏子「管理過程論の系譜」に学んで	川端 久夫	57(1)	1992(H4)
1206	種々の返却および追加注文を許す一般的需要・確率的在庫モデル：一期間モデル	児玉 正憲	57(1)	1992(H4)
1207	MONEYLESS FOREIGN INVESTMENT AND DEVELOPMENT OF ASIAN FINANCIAL MARKETS: Financial Linkages between Local Markets and Offshore Center	徳永 正二郎	57(1)	1992(H4)
1208	循環的成長と労働市場：Ricardo の場合	関根 順一	57(1)	1992(H4)
1209	「貨幣資本」蓄積の機構	鳥井 鋼生	57(1)	1992(H4)
1210	9世紀イタリア中・北部の農地契約：中世初期イタリア農村社会解明のために	城戸 照子	57(1)	1992(H4)
1211	消費をめぐる諸問題：消費社会の経済理論 (I)	溝上 孝夫	57(1)	1992(H4)
1212	製品差別化と物品税	井田 貴志	57(1)	1992(H4)
1213	ある非凸期待費用関数の最適政策：(I)	児玉 正憲	57(2)	1992(H4)
1214	インセンティブ・システムと多国籍企業のトランスファー・プライス	岡部 鐵男	57(2)	1992(H4)
1215	資本制経済における Golden Rule の達成可能性	関根 順一	57(2)	1992(H4)
1216	明治期長崎貿易における外国商社の進出とその取引について：中国商社の場合を中心に	原 康記	57(2)	1992(H4)
1217	証券化 その背景と矛盾	片桐 謙	57(2)	1992(H4)
1218	平成2年度学位論文要旨・論文審査要旨	西村 明	57(2)	1991(H3)
1219	インサル公益企業集団の中核持株会社Middle West Utilitiesの1929年における財務再建と株価操作	本田 英夫	57(3/4)	1992(H4)
1220	ドイツ新連結会計規準形成の論理：正規の連結の諸原則(GoK)の規準形成に対する役割	木下 勝一	57(3/4)	1992(H4)
1221	ドイツにおけるオプション取引の貸借対照表計上能力論	森 美智代	57(3/4)	1992(H4)
1222	旧ソ連邦における市場経済への移行と会計に関する一考察	齋藤 久美子	57(3/4)	1992(H4)
1223	管理過程論に対する管理者行動論のインパクト：キャロル・ギレン「古典的管理職能は管理者の仕事の記述に役立つか」を読んで	川端 久夫	57(3/4)	1992(H4)
1224	THE DEVELOPMENT AND FUTURE OF MANAGEMENT ACCOUNTING IN JAPAN AND THE U. S. A. : A COMPARISON OF MANAGEMENT PHILOSOPHIES	Nishimura Akira	57(3/4)	1992(H4)
1225	ハムレットの悩み：キャリア形成における実存的決断と意思決定	日置 弘一郎	57(3/4)	1992(H4)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1226	The Background to the Incident of the Securities Loss Compensations in Japan: Economic, Political, and Cultural Aspects	Tokuga Yoshihiro	57(3/4)	1992(H4)
1227	ある非凸期待費用関数の最適政策：II	児玉 正憲	57(3/4)	1992(H4)
1228	最短ルート問題のその後について	岩本 誠一	57(3/4)	1992(H4)
1229	垂直統合と取引費用	岡部 鐵男	57(3/4)	1992(H4)
1230	Genetic Algorithm学習理論にもとづく財務計画策定システムの構成	時永 祥三	57(3/4)	1992(H4)
1231	尤度比を用いた二つの順序と不完備情報の多段決定問題の性質について	中井 達	57(3/4)	1992(H4)
1232	ゲーム理論過程としての投資と資本構成政策の決定	翟 林瑜	57(3/4)	1992(H4)
1233	明治期、日本における最初の朝鮮人労働者：佐賀県長者炭坑の炭坑夫	東定 宣昌	57(3/4)	1992(H4)
1234	中国工業企業の統計計算制度にかんする調査分析	濱砂 敬郎	57(3/4)	1992(H4)
1235	サー・ジョン・クラークによるスコットランド経済の現状把握(I)：1707年の「合邦」とかれの「経済改良」思想の展開	関 源太郎	57(3/4)	1992(H4)
1236	14-16世紀小都市における支配とツンフト：「修道院都市」ジークブルクの場合	田北 廣道	57(3/4)	1992(H4)
1237	NASH EQUILIBRIUM STRATEGIES IN KALAI AND STANFORD MODEL WITH A COST FUNCTION AND CONSISTENT CONJECTURAL VARIATIONS	是枝 正啓	57(5/6)	1992(H4)
1238	均一課税の厚生分析	緒方 隆	57(5/6)	1992(H4)
1239	THE SIGNIFICANCE OF PART-TIME EMPLOYMENT IN THE CONTEXT OF LABOUR-MARKET ADJUSTMENT	藪田 雅弘	57(5/6)	1992(H4)
1240	改訂SNAの基本的勘定構造	金丸 哲	57(5/6)	1992(H4)
1241	改訂SNAの勘定構造とその行列表示	有吉 範敏	57(5/6)	1992(H4)
1242	半順序サービス規律をもつ並列型待ち行列システム	児玉 正憲	57(5/6)	1992(H4)
1243	同時系対逐次系：積分と最適化のために	岩本 誠一	57(5/6)	1992(H4)
1244	An Analysis of Transaction-Specific Investment and Duopolistic Group Competition	細江 守紀	57(5/6)	1992(H4)
1245	垂直統合と契約	岡部 鐵男	57(5/6)	1992(H4)
1246	CHARACTERIZATION OF AGREEABLE PLANS IN AN ECONOMY WITH HETEROGENEOUS CAPITAL GOODS: THE CONTINUOUS-TIME CASE	大住 圭介	57(5/6)	1992(H4)
1247	低配当政策の妥当性に関する一考察	翟 林瑜	57(5/6)	1992(H4)
1248	韓国および日本における中期景気循環の推計	長島 正治	57(5/6)	1992(H4)
1249	管理職務記述の生成と展開	川端 久夫	57(5/6)	1992(H4)
1250	G7の協調による「ドル本位制」	深町 郁彌	57(5/6)	1992(H4)
1251	産業連関表の投入産出関係について：(I)	濱砂 敬郎	57(5/6)	1992(H4)
1252	サー・ジョン・クラークによるスコットランド経済の現状把握(II)：1707年の「合邦」とかれの「経済改良」思想の展開	関 源太郎	57(5/6)	1992(H4)
1253	14-15世紀西欧における都市と農村：近代都市システムの起点形成	田北 廣道	57(5/6)	1992(H4)
1254	管理職務行動の内容と特性：W. ホイットレーの研究をめぐって	川端 久夫	58(1)	1992(H4)
1255	待合所の大きさが異なる複数並列型待ち行列システム	児玉 正憲	58(1)	1992(H4)
1256	経済改革から市場化へ：ゴルバチョフ改革のパラドクス	金田 辰夫	58(1)	1992(H4)
1257	「貨幣資本と現実資本」論の二つの型：マルクスとヴェブレン	川波 洋一	58(1)	1992(H4)
1258	不確実性下の製品開発投資における参入と撤退の決定問題：商品が2個の場合	時永 祥三	58(1)	1992(H4)
1259	韓国農業の構造変動：全国統計にみる経営規模別農家戸数の変化	深川 博史	58(1)	1992(H4)
1260	金融不安定性と成長の持続性	関根 順一	58(1)	1992(H4)
1261	日本経営学史断想：準拋棄取替え（独→米）過程の一齣	川端 久夫	58(2)	1992(H4)
1262	基軸通貨ドルの侵食：為替媒介通貨を中心に	深町 郁彌	58(2)	1992(H4)
1263	ある確率的システムの最適政策：1	児玉 正憲	58(2)	1992(H4)
1264	西欧中世初期荘園制の諸側面 1：最近5年間における農村史の研究状況	森本 芳樹	58(2)	1992(H4)
1265	実際経験率が予定経験率に一致する条件下での米国生命保険相互会社の収益管理メカニズム	清水 博	58(2)	1992(H4)
1266	バーナード・サイモン理論におけるリーダーシップとオーソリティ：バーナーディアンによる理解とその特質	福永 文美夫	58(2)	1992(H4)
1267	J. S. ミル社会科学方法論と静態・動態峻別論	諸泉 俊介	58(2)	1992(H4)
1268	収益・費用観の変化と実現概念の変化	北山 弘樹	58(2)	1992(H4)
1269	経営学史の方法についての覚書：裴富吉『経営学発達史』に寄せて	川端 久夫	58(3)	1993(H5)
1270	ある確率的システムの最適政策(II)	児玉 正憲	58(3)	1993(H5)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1271	戦前期の生保不動産投資と土地会社等への関与：事例研究を中心として	小川 功	58(3)	1993(H5)
1272	アジアにおける情報通信の現状(I)：高度化と経済波及効果のモデルをめぐって	時永 祥三	58(3)	1993(H5)
1273	韓国における農地の賃貸借について：農地価格の上昇と賃貸借の拡大	深川 博史	58(3)	1993(H5)
1274	「都市と農村」の理論におけるスミスとミル	諸泉 俊介	58(3)	1993(H5)
1275	中間財務情報のレビュー：SAS第71号「中間財務情報」の概要と若干の検討	北山 弘樹	58(3)	1993(H5)
1276	平成3年度学位論文要旨・論文審査要旨	服部 民夫	58(3)	1992(H4)
1277	現代生産システムの課題：国際化の中で	国狭 武己	58(4/5)	1993(H5)
1278	為替転嫁とマークアップ行動：誤差修正メカニズムの応用	小島 平夫	58(4/5)	1993(H5)
1279	非対称情報とゲーム均衡	村田 省三	58(4/5)	1993(H5)
1280	双線形時系列モデルのマルコフ表現とモーメントについて	中村 博和	58(4/5)	1993(H5)
1281	制約付き構造方程式推定量の近似分布と三次の有効性について	大屋 幸輔	58(4/5)	1993(H5)
1282	The Growth of the East Asian Region and the Kyushu Economy	Yada Toshifumi	58(4/5)	1993(H5)
1283	線形積分と動的計画	岩本 誠一	58(4/5)	1993(H5)
1284	不完全競争下の産業内貿易と海外直接投資	細江 守紀	58(4/5)	1993(H5)
1285	アジアにおける情報通信の現状(2)：各国の情報通信基盤整備の課題	時永 祥三	58(4/5)	1993(H5)
1286	一度に複数の値を観測することのできる確率的逐次割当問題について	中井 達	58(4/5)	1993(H5)
1287	The Components and Structure of Managerial Work: The Extension and Intension of 'Management' Concept	Kawabata Hisao	58(4/5)	1993(H5)
1288	日本の会計制度における「公開思想」の発展	津守 常弘	58(4/5)	1993(H5)
1289	西欧中世初期荘園制の諸側面(2)：最近5年間における農村史の研究状況	森本 芳樹	58(4/5)	1993(H5)
1290	ドイツ産業連関分析の新局面	濱砂 敬郎	58(4/5)	1993(H5)
1291	韓国農地法論争の経過と争点：第3次農地法論争を中心として	深川 博史	58(4/5)	1993(H5)
1292	Business Administration and Labor Management	川端 久夫	58(6)	1993(H5)
1293	西欧中世初期における三圃制度をめぐって(1)：所領明細帳の分析から	森本 芳樹	58(6)	1993(H5)
1294	韓国の農地保全制度：国土利用管理体系における農地保全法の運用実態	深川 博史	58(6)	1993(H5)
1295	新古曲派内生的技術進歩論の展開	関根 順一	58(6)	1993(H5)
1296	平成4年度学位論文要旨・論文審査要旨	濱砂 敬郎	58(3)	1993(H5)
1297	西欧中世初期における三圃制度をめぐって2：所領明細帳の分析から	森本 芳樹	59(1/2)	1993(H5)
1298	Une note preparatoire sur l'individualisation des salaires: en perspectives historique et internationale	下山 房雄	59(1/2)	1993(H5)
1299	DOLLAR AND YEN: Changes in the Dollar Standard System and Economic Regionalism	徳永 正二郎	59(1/2)	1993(H5)
1300	アジアにおける情報通信の現状：3：産業連関表にもとづく計量分析	時永 祥三	59(1/2)	1993(H5)
1301	A Theory on the Structure of Productive Forces	久野 国夫	59(1/2)	1993(H5)
1302	NAFTAにみる制度的地域統合：アメリカ通商政策の新展開	立石 剛	59(1/2)	1993(H5)
1303	COMMERCIALIZATION OF AGRICULTURE IN CENTRAL LUZON	西村 知	59(1/2)	1993(H5)
1304	自社株買い戻し・配当政策と株価：アメリカ企業の事例を中心として	辻 聖二	59(1/2)	1993(H5)
1305	明治農法の地域的形成と篤農農法：島根県能義郡布部村宇山栄太郎と一粒植稲栽培法	西村 卓	59(3/4)	1994(H6)
1306	近世村落と土地所持慣行	江藤 彰彦	59(3/4)	1994(H6)
1307	明治初期筑豊炭田における石炭借区の推移：『鉱山借区一覧表』の分析	今野孝	59(3/4)	1994(H6)
1308	1920年代前半における石炭鉱業連合会の活動と筑豊炭鉱業	荻野 喜弘	59(3/4)	1994(H6)
1309	唐津海軍炭坑の設定とその経営	Tojo Nobumasa	59(3/4)	1993(H5)
1310	明治中期の石炭輸出と貿易商の動向：長崎港の場合を中心に	原 康記	59(3/4)	1994(H6)
1311	福岡藩初期の農村支配について	松下 志朗	59(3/4)	1994(H6)
1312	1970年代工業生産の国際的配置の新展開：フランス繊維工業の場合を中心に	古賀和文	59(3/4)	1994(H6)
1313	Méthode de calcul du Bénéfice et vision économique de l'industriel du 19e siècle. Schneider et Cie vers 1840	藤村 大時郎	59(3/4)	1994(H6)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1314	中世後期ブリュッセルの財政構造：毛織物ギルドとショセの財政をめぐって	藤井 美男	59(3/4)	1994(H6)
1315	中世初期イタリア北部の農村構造：サンタ・ジュリア・ディ・ブレシア修道院所領明細帳の分析から	城戸 照子	59(3/4)	1994(H6)
1316	中世初期東フランクの流通関係国王文書	藤田 裕邦	59(3/4)	1994(H6)
1317	中世後期ケルン空間の中心地システムの確立：小都市ジークブルクの市場機能からみた	田北 廣道	59(3/4)	1994(H6)
1318	西欧中世初期における社会・経済的発展の担い手を求めて。対話的研究の展望	森本 芳樹	59(3/4)	1994(H6)
1319	Relations Professionnelles au JAPON de l'Après-Guerre: leurs Aspects Actuels et leurs Origines Sociétales. Présentation des Faits suivies de Commentaires Méthodologiques	下山 房雄	59(3/4)	1994(H6)
1320	The Recent Developments in Japanese Management Accounting and their Impact on British and New Zealand Companies	西村 明	59(3/4)	1994(H6)
1321	戦略的行為と組織の変革	塩次 喜代明	59(3/4)	1994(H6)
1322	サー・ウィリアム・シートンのスコットランド経済開発論：(I)	関 源太郎	59(3/4)	1994(H6)
1323	日本型経済システムの「制度」分析：レギュレーション理論の視点から	磯谷 明德	59(3/4)	1994(H6)
1324	部分観測可能なマルコフ連鎖の上での最適選択問題について	中井 達	59(3/4)	1994(H6)
1325	1930年代日本農村の医療利用組合運動と国民健康保険法の成立	相澤 與一	59(5/6)	1994(H6)
1326	20世紀社会主義と労働者階級の世界史的能力：21世紀社会政策理論のために	荒又 重雄	59(5/6)	1994(H6)
1327	わが国労働統計における失業概念の形成に関する若干の考察	加藤 佑治	59(5/6)	1994(H6)
1328	「日本的雇用慣行」とホワイトカラー	牧野 富夫	59(5/6)	1994(H6)
1329	フランス人民戦線期の労働基準政策：その改革と経済的障害の軌跡	向井 喜典	59(5/6)	1994(H6)
1330	非営利組織と社会経済制度問題：V・ペストフ (Pestoff) の所説の示唆するもの	藤田 暁男	59(5/6)	1994(H6)
1331	独占資本の資本蓄積と価値法則	清野 良榮	59(5/6)	1994(H6)
1332	「バブル」崩壊と不況	中野 元	59(5/6)	1994(H6)
1333	法人資本主義における形態と実態	安田 均	59(5/6)	1994(H6)
1334	J. S. ミルの遊休資本の理論：『試論集』第二論文の検討	諸泉 俊介	59(5/6)	1994(H6)
1335	マクロ動学分析の方法	関根 順一	59(5/6)	1994(H6)
1336	日本資本主義の技術特性についての一試論	久野 国夫	59(5/6)	1994(H6)
1337	確率的逐次割当問題に関連した諸問題について：(I)	中井 達	59(5/6)	1994(H6)
1338	地域間格差の三形態と国土政策へのインプリケーション	山崎 朗	59(5/6)	1994(H6)
1339	西欧中世初期荘園制の諸側面 (III)：最近5年間における農村史の研究状況	森本 芳樹	59(5/6)	1994(H6)
1340	サー・ウィリアム・シートンのスコットランド経済開発論 (II)	関 源太郎	59(5/6)	1994(H6)
1341	中世後期都市デュレンにおける支配とツunft (I)：ガツフェル体制の成立とその意義	田北 廣道	59(5/6)	1994(H6)
1342	現代制度主義経済学ノート：新制度派，現代制度派，レギュレーション	磯谷 明德	59(5/6)	1994(H6)
1343	エンティティ・キャピタル・モデルの特性について	清水 博	59(5/6)	1994(H6)
1344	西欧中世初期荘園制の諸側面 4：最近5年間における農村史の研究状況	森本 芳樹	60(1/2)	1994(H6)
1345	統一ドイツと財政調整：連邦制財政システムは生き残れるか	伊東 弘文	60(1/2)	1994(H6)
1346	アジアにおける情報通信の現状 4：日系企業へのアンケート調査による分析	時永 祥三	60(1/2)	1994(H6)
1347	動学消費需要関数の計測	朱保華	60(1/2)	1994(H6)
1348	消費行為の象徴性についての一試論：儀礼食を実証対象として	小川 真理	60(1/2)	1994(H6)
1349	フィリピン・西ビサヤ地方稲作農村の農業発展：イロイロ州ポタン村の事例を中心に	西村 知	60(1/2)	1994(H6)
1350	多国籍企業の対外投資と資金調達：「企業内部純余剰仮説」の実証的検討	立石 剛	60(1/2)	1994(H6)
1351	ロシア式交渉	木村 汎	60(3/4)	1994(H6)
1352	Some problems of Japanese-Russian Official Economic Cooperation in the Russian Far East	Kovrigin Evgenii	60(3/4)	1994(H6)
1353	異体間での大規模経済協力 (その1)：チュメニ・プロジェクトへの一考察	鈴木 啓介	60(3/4)	1994(H6)
1354	近年におけるEU共通農業政策(CAP)の改革理念	山内 良一	60(3/4)	1994(H6)
1355	地域情報化政策の再検討：地域ソフトウェアセンターとソフトウェア技術者の育成をめぐって	伊東 維年	60(3/4)	1994(H6)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1356	バブル経済と東アジアの経済成長：東アジア産業資本の後退	蔡 希賢	60(3/4)	1994(H6)
1357	ウルグアイラウンド農業交渉にみるEC提案の変遷：主に関税化と保護水準の指標をめぐって	北崎 浩嗣	60(3/4)	1994(H6)
1358	NAFTAにおける農業問題	星野 菜穂子	60(3/4)	1994(H6)
1359	プリュム修道院所領明細帳に見える複数者保有マンスと分数マンスについて：古典荘園制における農民経済動態の解明のために	森本 芳樹	60(3/4)	1994(H6)
1360	市場社会と人間像：役割社会における経済と人間	逢坂 充	60(3/4)	1994(H6)
1361	労働価値論と思考の型	福留 久大	60(3/4)	1994(H6)
1362	旧東ドイツ市町村財政の構造と現状	伊東 弘文	60(3/4)	1994(H6)
1363	中世後期都市デュレンにおける支配とツunft(2)：ガツフェル体制の成立とその意義	田北 廣道	60(3/4)	1994(H6)
1364	農家経済の自立と農地の保全：韓国の農業振興地域制度	深川 博史	60(3/4)	1994(H6)
1365	減価償却論覚書	藤田 昌也	60(3/4)	1994(H6)
1366	地域の産業構造の分析	塩次 喜代明	60(3/4)	1994(H6)
1367	La Comptabilite de Gestion au Japon une Approche Historique	Ohshita Johei	60(3/4)	1994(H6)
1368	確率的逐次割当問題に関連した諸問題について：Ⅱ	中井 達	60(3/4)	1994(H6)
1369	異体制間での大規模経済協力 2：チュメニ・プロジェクトへの一考察	鈴木 啓介	60(5/6)	1995(H7)
1370	過渡波に注目した株価認識エキスパートシステム構成の一手法	時永 祥三	60(5/6)	1995(H7)
1371	日本型企业システムとレギュレーション理論：「企業主義的レギュレーション」の分析枠組を求めて	磯谷 明德	60(5/6)	1995(H7)
1372	現代フランス管理会計研究の基調：伝統的分析会計の継承と戦略的管理会計の展開	大下 丈平	60(5/6)	1995(H7)
1373	自動車産業の静脈部：とくに自動車解体業とシュレッダー業を中心として	外川 健一	60(5/6)	1995(H7)
1374	韓国企業の対外直接投資と資金調達・貿易決済：日本多国籍企業との比較検討を通じて	濱地 秀行	60(5/6)	1995(H7)
1375	米国の『戦略的投資政策』と日米通商問題：貿易と投資の政策的リンクページ	立石 剛	60(5/6)	1995(H7)
1376	英国の封建制と鹿猟林：原始的蓄積論のために	福留 久大	60(5/6)	1995(H7)
1377	マルクスの流通手段論：資本論・1巻3章2節	福留 久大	61(1)	1995(H7)
1378	『国富論』第1編第11章「地代について」のもつ意味をめぐって：「価値尺度」論との関係を中心に	高 哲男	61(1)	1995(H7)
1379	動学投資関数	朱 保華	61(1)	1995(H7)
1380	実際経験率の下での生保会社の平準ROE管理について	清水 博	61(1)	1995(H7)
1381	平成5年度学位論文要旨・論文審査要旨		61(1)	1995(H7)
1382	スミス「地代」論における「構成価格」論の意義について：ダム・スミスの「地代」論(V)	高 哲男	61(2)	1995(H7)
1383	平滑化パターション解析による情報伝送網最適化の一考察	時永 祥三	61(2)	1995(H7)
1384	自動車産業の静脈部(II)：中古車流通とタイヤリサイクルの経済地理学的考察	外川 健一	61(2)	1995(H7)
1385	循環型社会システムについての一考察	溝上 孝夫	61(2)	1995(H7)
1386	マルクスと鉄道労働者	福留 久大	61(2)	1995(H7)
1387	平成6年度学位論文要旨・論文審査要旨		61(2)	1995(H7)
1388	退職給付会計の日米比較	桜井 久勝	61(3/4)	1995(H7)
1389	先物投資の業績測定	大日方 隆	61(3/4)	1995(H7)
1390	株式流通市場から見た自己株取得の影響	高橋 元	61(3/4)	1995(H7)
1391	デリバティブ取引が株式市場にもたらしたもの	俊野 雅司	61(3/4)	1995(H7)
1392	新しい経営戦略のための企業動態分析	中村 寿太郎	61(3/4)	1995(H7)
1393	日本の管理会計の構造と特質	西村 明	61(3/4)	1995(H7)
1394	損益勘定の生成に関する構造論的考察	藤田 昌也	61(3/4)	1995(H7)
1395	郵便貯金事業の経営政策	丑山 優	61(3/4)	1995(H7)
1396	発熱する東アジアの経済とグローバル化する経営：民話と現実	塩次 喜代明	61(3/4)	1995(H7)
1397	The Obstacles to International Harmonization of Accounting in Japan	Tokuga Yoshihiro	61(3/4)	1995(H7)
1398	サービスの概念と第三次産業：サービス＝機能説に関連して	刀田 和夫	61(3/4)	1995(H7)
1399	最近の景気指標分析の展開：日本経済への適用	佐伯 親良	61(3/4)	1995(H7)
1400	不確実性と投資需要	朱 保華	61(3/4)	1995(H7)
1401	中世後期ケルンにおけるツunftと政治統合：「ガツフェル」体制の意義をめぐって	田北 廣道	61(3/4)	1995(H7)
1402	地震保険と自由平等	小川 浩昭	61(3/4)	1995(H7)
1403	不確実性の下での最適危機管理について	岩本 誠一	61(5/6)	1996(H8)
1404	EUにおける情報通信自由化の現状と課題	時永 祥三	61(5/6)	1996(H8)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1405	保険金融論研究序説：安定成長期以降の生命保険金融	小川 浩昭	61(5/6)	1996(H8)
1406	米国の会計基準設定過程における監査人の行動誘因：会計規制論の展開における実証研究の意義に関連して	大石 桂一	61(5/6)	1996(H8)
1407	J. ロビンソン『資本蓄積論』と消費社会の経済像：資本蓄積論の新しい課題	逢坂 充	62(1/6)	1996(H8)
1408	『資本論』首節の一語：マルクスにおける欠如	福留 久大	62(1/6)	1996(H8)
1409	『国富論』第1編における2つの「構成価格」論：羽島教授のスミス「地代」論解釈に対する批判的評価を手がかりに	高 哲男	62(1/6)	1996(H8)
1410	D. フォーブスによる密輸批判と経済発展の展望：18世紀中葉スコットランドの一政治エージェントの悩み	関 源太郎	62(1/6)	1996(H8)
1411	戦後日本経済への「階層的市場—企業ネクサス」論アプローチ：一つの覚書	磯谷 明德	62(1/6)	1996(H8)
1412	豊臣政権期の検地と石高	松下 志朗	62(1/6)	1996(H8)
1413	西欧中世初期社会・経済史の総合を目指して：最近の2著をめぐる	森本 芳樹	62(1/6)	1996(H8)
1414	石炭産業における私雇外国人	Tojo N.	62(1/6)	1996(H8)
1415	「日本的経営」論の再検討：岩田龍子教授の所説をめぐる	荻野 喜弘	62(1/6)	1996(H8)
1416	「プロト工業化」から「手工業地域」へ：第8回国際経済史会議以降の欧米学界	田北 廣道	62(1/6)	1996(H8)
1417	アジア経済の発展と周辺革命：資本主義世界システムとアジアの成長(1)	徳永 正二郎	62(1/6)	1996(H8)
1418	構造分析的な産業連関分析の一形態：L. Czaykaの「いわゆる質的産業連関分析法」について	濱砂 敬郎	62(1/6)	1996(H8)
1419	構造変化と国際競争力：日本の産業構造と制度構造の変化に関連させて	石田 修	62(1/6)	1996(H8)
1420	日本の管理会計の新たな展開：原価企画から戦略的原価企画	西村 明	62(1/6)	1996(H8)
1421	経営戦略研究のフィールドと理論	塩次 喜代明	62(1/6)	1996(H8)
1422	「活動」原理に基づく管理会計論の構想：H. ブッカンの所説を中心として	大下 丈平	62(1/6)	1996(H8)
1423	会計制度・会計実務の国際比較方法試論：量的比較に焦点を当てて	徳賀 芳弘	62(1/6)	1996(H8)
1424	垂直合併と市場からの締め出し効果	岡部 鐵男	62(1/6)	1996(H8)
1425	情報とサービス：羽田昇史教授の所説に関連して	刀田 和夫	62(1/6)	1996(H8)
1426	ファジィ環境下の確率的意志決定過程：ベルマン・ザデーのアプローチとの比較	岩本 誠一	62(1/6)	1996(H8)
1427	再交渉と排他的取引：契約論的アプローチ	細江 守紀	62(1/6)	1996(H8)
1428	Equilibrium Growth Paths in Two-Sector Models of Endogenous Economic Growth	大住 圭介	62(1/6)	1996(H8)
1429	経営管理と情報システム構成の現状と課題：分散化とネットワークングを中心として	時永 祥三	62(1/6)	1996(H8)
1430	短・中期経済変動分析のシミュレーションモデル	佐伯 親良	62(1/6)	1996(H8)
1431	確率的順序関係と学習のプロセスについて	中井 達	62(1/6)	1996(H8)
1432	保険代位制度について：機能面から見た制度の本質	中出 哲	62(1/6)	1996(H8)
1433	保険金融論研究序説：基礎理論の検討	小川 浩昭	62(1/6)	1996(H8)
1434	マルチメディア環境とプライバシー	時永 祥三	63(1)	1996(H8)
1435	Green Belt in the Republic of Korea	Fukagawa Hiroshi	63(1)	1996(H8)
1436	保険本質論	小川 浩昭	63(1)	1996(H8)
1437	スウェーデン自動車産業における作業組織改革：チーム方式解明の手がかりとして	今村 寛治	63(1)	1996(H8)
1438	開城簿記の一考察	藤田 昌也	63(2)	1996(H8)
1439	一度に複数の対象が現れる確率的な逐次割り当てモデル：不完備情報の場合	中井 達	63(2)	1996(H8)
1440	「制度の経済学」と貨幣・労働のダイナミクス	磯谷 明德	63(2)	1996(H8)
1441	保険の歴史と分類：自助・互助・公助の保険経済学	小川 浩昭	63(2)	1996(H8)
1442	エルバーフェルト制度の展開：(1)	加来 祥男	63(3)	1996(H8)
1443	社会保険の保険学：自助・互助・公助の保険経済学	小川 浩昭	63(3)	1996(H8)
1444	経営環境の変化と本社機能立地：(株)神戸製鋼所の事例より	田中 康一	63(3)	1996(H8)
1445	CALSによる企業経営革新の現状と課題	時永 祥三	63(4/5)	1997(H9)
1446	自動車産業の静脈部(III)：シュレッダー・ダスト問題と環境政策としての自動車リサイクル	外川 健一	63(4/5)	1997(H9)
1447	Subrogation in Insurance and Unjust Enrichment: An Examination of English and Japanese Laws from a Comparative Standpoint	Nakaide Satoshi	63(4/5)	1997(H9)
1448	保険におけるホショウ・貨幣	小川 浩昭	63(4/5)	1997(H9)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1449	カーター報告後の30年と資産課税	中西 一	63(4/5)	1997(H9)
1450	ドイツ農村のバス実験：欧州社会の公共交通観	福留 久大	63(4/5)	1997(H9)
1451	イギリス海外投資とロンドン証券取引所会員の国際裁定取引	稲富 信博	63(6)	1997(H9)
1452	保険事業の自立化と発展	小川 浩昭	63(6)	1997(H9)
1453	中国語版の『資本論』：翻訳を巡る微視的体験	福留 久大	63(6)	1997(H9)
1454	航空機材割り当て逆問題について	岩本 誠一	64(1/2)	1997(H9)
1455	地域金融機関の行動分析	堀江 康熙	64(1/2)	1997(H9)
1456	フラクタル時系列の予測手法を用いた株価予測の検討	時永 祥三	64(1/2)	1997(H9)
1457	戦前の国土計画：「国土計画設定要綱」を中心にして	山崎 朗	64(1/2)	1997(H9)
1458	農業保護と環境保全：山内良一著『農業保護の理論と政策』について	深川 博史	64(1/2)	1997(H9)
1459	電子マネーと確証：現状と課題	藤田 昌也	64(3/4)	1998(H10)
1460	エルバーフェルト制度の展開：(II)	加来 祥男	64(3/4)	1998(H10)
1461	空間克服と経済発展	山崎 朗	64(3/4)	1998(H10)
1462	経済的弱者の保険：その保険的意義	小川 浩昭	64(3/4)	1998(H10)
1463	社会構造と空間構造：M. カステルの都市・空間分析の枠組み	豆本 一茂	64(3/4)	1998(H10)
1464	予算管理システムの効率性評価とファジィ化：誘因におけるファジィネスに関する試論	小野 博則	64(5/6)	1998(H10)
1465	複式簿記の損益計算構造についての一考察：貸借複式簿記と龍門帳の対比を通じて	吉永 心一	64(5/6)	1998(H10)
1466	論会計的職能と本质	郭 道揚	64(5/6)	1998(H10)
1467	The Foundations of Statistical Activity Cost Theor with Applications to Some Old Accountin Measurement Issues：A Simulation Approach	Gibbin Michae	64(5/6)	1998(H10)
1468	ビジネスゲームと会計教育：Q-Shu P-coneゲームの開発	藤田 昌也	64(5/6)	1998(H10)
1469	フランス管理会計の方法とその射程：分析会計から管理会計へ	大下 丈平	64(5/6)	1998(H10)
1470	新年金会計基準の会計データへの影響	徳賀 芳弘	64(5/6)	1998(H10)
1471	内生的プロダクト・サイクル・モデルによる経済分析：R&D部門における外部性の導入	片桐 昭司	64(5/6)	1998(H10)
1472	最適分割の三体問題について	岩本 誠一	64(5/6)	1998(H10)
1473	Optimal Subsidy Policy and the Implementation Game	Hosoe Moriki	64(5/6)	1998(H10)
1474	Global Asymptotic Convergence of Optimal Time-Paths in Renewable Resource Problem	Osumi Keisuke	64(5/6)	1998(H10)
1475	The Japanese Model of the Transition from an Industrial to Information Societ：An Example of the Machinery Sector	Hisano Kunio	64(5/6)	1998(H10)
1476	部分観測可能なマルコフ連鎖での多段決定モデルについて：MTP_2の場合	中井 達	64(5/6)	1998(H10)
1477	寡占の空間的特質	山崎 朗	64(5/6)	1998(H10)
1478	自動車文明と生活文化：くるま社会からの脱却	福留 久大	64(5/6)	1998(H10)
1479	昭和初年における石炭鉱業連合会による送炭制限	萩野 喜弘	64(5/6)	1998(H10)
1480	偏用秩序の維持と日本銀行考査：バブル期以降の金融機関指導と課題	堀江 康熙	64(5/6)	1998(H10)
1481	構造転換期における統計調査環境の一断面：国勢調査員の任用類型と統計環境の地域的動向	濱砂 敬郎	64(5/6)	1998(H10)
1482	損害保険の自国保険主義と税制：米国連邦消費税との関連について	大石 正明	64(5/6)	1998(H10)
1483	サービス＝生産物説の擁護：金子ハルオ教授の拙論批判への反論	刀田 和夫	65(1/2)	1998(H10)
1484	情報的発展様式とフローの空間：M. カステルの都市・空間理論の展開	豆本 一茂	65(1/2)	1998(H10)
1485	シャンパーニュ大市，都市当局，在地住民：プロヴァンを中心にして	花田 洋一郎	65(1/2)	1998(H10)
1486	A Model of 'International Sales'	Sugeta Hajime	65(1/2)	1998(H10)
1487	イラク軍クウェート侵攻によるクウェート航空機損害に係わる保険金請求・第一審判例D 研究ノート：death-blow principle, 並びに top-down principle of subrogationについて	大石 正明	65(1/2)	1998(H10)
1488	平成の金融破綻	堀江 康熙	65(3)	1998(H10)
1489	EDIアンケート調査による企業間データ交換の分析：物流EDIから金融EDIへ	時永 祥三	65(3)	1998(H10)
1490	過剰富裕の経済学	田中 史郎	65(3)	1998(H10)
1491	麻生商店の石炭販売：プール制離脱・販売自立化期から昭和石炭株式会社成立期まで	新鞍 拓生	65(3)	1998(H10)
1492	平成「大恐慌型」不況：美光彦の新著の見地	福留 久大	65(3)	1998(H10)
1493	平成9年度学位論文要旨・論文審査要旨	神沢 正典	65(3)	1998(H10)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1494	中世後期ケルン空間の流通と制度：シュターベル研究序説(1)	田北 廣道	65(4)	1998(H10)
1495	比較生産費の定義とその政策的含意(1)：国際競争力の評価、制度と政策に関連して	石田 修	65(4)	1998(H10)
1496	転換期の在来産業経営：大正後期・昭和戦前期における小規模醤油醸造家の事例に即して	花井 俊介	65(4)	1998(H10)
1497	18世紀前半中部ヨーロッパにおける所領経営の再編：北東ボヘミア手工業定住の事例に即して	碓井 仁	65(4)	1998(H10)
1498	原価企画と原価低減分析	西村 明	65(5)	1999(H11)
1499	アメリカの福祉国家政策(1)「偉大な社会」以前	新井 光吉	65(5)	1999(H11)
1500	中世後期ケルン空間の流通と制度：シュターベル研究序説(2)	田北 廣道	65(5)	1999(H11)
1501	国際貿易におけるロビーイングの役割：易交渉モデルによる理論的分析	池田 康弘	65(5)	1999(H11)
1502	我が国の「貸し渋り」分析	堀江 康熙	65(6)	1999(H11)
1503	ワークフロー管理システムとBPR：現状と業務改善への応用	時永 祥三	65(6)	1999(H11)
1504	アメリカの対外経済政策と冷戦の経済的起源	新井 光吉	65(6)	1999(H11)
1505	産業研究における立地分析の意義	山崎 朗	65(6)	1999(H11)
1506	不完全競争市場における競争と協調：非主流派近代経済学における理論的発展と関連して	関野 秀明	65(6)	1999(H11)
1507	A Classification of Transitive Sofic Systems	Osikawa Motosige	66(1)	1999(H11)
1508	閉路を含むネットワーク上の結合型最適経路問題の負同値法による解法	丸山 幸宏	66(1)	1999(H11)
1509	2企業間の開発投資計画ゲーム	寺岡 義伸	66(1)	1999(H11)
1510	A Simple Derivation of The Moments for Coupon Collector Problem	Nishi Akihiro	66(1)	1999(H11)
1511	順序制約の下での情報量規準とペナルティー項について	安楽 和夫	66(1)	1999(H11)
1512	再帰的方法による複合評価系の最適化	岩本 誠一	66(1)	1999(H11)
1513	不完備情報マルコフ過程におけるベイズ学習について	中井 達	66(1)	1999(H11)
1514	U-統計量の正規近似の改良とその比較	前園 伸彦	66(1)	1999(H11)
1515	経済時系列解析とカオス一時系列予測への応用	時永 祥三	66(1)	1999(H11)
1516	工場閉鎖の地域的特質	山崎 朗	66(1)	1999(H11)
1517	Optimal Reservation Price in Public Biddings：Competition versus Collusion	Miura Isao	66(1)	1999(H11)
1518	銀行信用の構図：国際通貨システムの歴史と論理(I)	徳永 正二郎	66(1)	1999(H11)
1519	君が代の歌曲の制度化	福留 久大	66(1)	1999(H11)
1520	冷戦後の米国予算均衡化政策と国家機能の変革	室山 義正	66(1)	1999(H11)
1521	戦後日本の労働市場と雇用の「流動化」(I)	磯谷 明德	66(1)	1999(H11)
1522	韓国における農業構造政策の大転換	深川 博史	66(1)	1999(H11)
1523	経済動学とカオス制御	時永 祥三	66(2)	1999(H11)
1524	米国の財政再建政策と国家安全保障戦略	室山 義正	66(2)	1999(H11)
1525	戦後日本の労働市場と雇用の「流動化」(II)：制度進化の視点から	磯谷 明德	66(2)	1999(H11)
1526	日本の産業配置の歴史的変遷	山崎 朗	66(2)	1999(H11)
1527	企業のリスク・ファイナンスと保険【序】	吉澤 卓哉	66(2)	1999(H11)
1528	アメリカ複本位制とフィッシャー	中路 敬	66(2)	1999(H11)
1529	失業の代替指標と失業・不安定就業	岩井 浩	66(3)	1999(H11)
1530	ドイツ型金融システムとライヒスバンク	居城 弘	66(3)	1999(H11)
1531	ドイツ社会統計と営業調査：1843年プロイセン営業表について	長屋 政勝	66(3)	1999(H11)
1532	1903年国際統計協会ベルリン大会における代表法論争	木村 和範	66(3)	1999(H11)
1533	ART・Alternative Risk Transferと再保険とに関する考察：リスク処理に係る代替性について	大石 正明	66(3)	1999(H11)
1534	為替の起源と初期預金銀行：国際通貨システムの歴史と論理(II)	徳永 正二郎	66(3)	1999(H11)
1535	小規模金融機関の経営地盤	堀江 康熙	66(3)	1999(H11)
1536	マイクロデータ公開の国際的な動向と展望	濱砂 敬郎	66(3)	1999(H11)
1537	15-16世紀シュターベルの動態分析に向けて：ケルンを中心とした史料論的概観(1)	田北 廣道	66(3)	1999(H11)
1538	再論：初期イギリス鉄道投資家の分析(1)	稲富 信博	66(3)	1999(H11)
1539	アメリカとカナダの医療政策	新井 光吉	66(3)	1999(H11)
1540	韓国の農業機械半額供給事業	深川 博史	66(3)	1999(H11)
1541	ある学際的アプローチ(インターディシプリナリーパースペクティブ)の批判的考察：会計学の方法について	藤田 昌也	66(3)	1999(H11)
1542	IAPC保証業務一般原則の検討	長吉 眞一	66(3)	1999(H11)
1543	Industrial Systems and Industrial Agglomeration in Japan	Yamasaki Akira	66(3)	1999(H11)
1544	21世紀の保険事業の進むべき方向性	吉澤 卓哉	66(3)	1999(H11)
1545	現代のグローバリズムとリージョナリズム	田中 素香	66(4)	1999(H11)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1546	ドル体制の変遷と現局面：国際信用連鎖と基軸通貨ドルの変容	奥田 宏司	66(4)	1999(H11)
1547	「ドル本位制」と国際資金循環の不安定性	山本 栄治	66(4)	1999(H11)
1548	欧州単一通貨ユーロと国際通貨体制：一つの試論	藤田 誠一	66(4)	1999(H11)
1549	さよならドルペッグ：アジア各国の新しい為替制度への模索	関 志雄	66(4)	1999(H11)
1550	ミクロ統計の匿名性の技術的社会的性格	浜砂 敬郎	66(4)	1999(H11)
1551	15-16世紀シュターペルの動態分析に向けて：ケルンを中心とした史料論的概観(2)	田北 廣道	66(4)	1999(H11)
1552	再論：初期イギリス鉄道投資家の分析(2)	稲富 信博	66(4)	1999(H11)
1553	国際市場の構造：市場における時間要素・空間要素と関連させて	石田 修	66(4)	1999(H11)
1554	韓国における農地賃賃借の実態把握	深川 博史	66(4)	1999(H11)
1555	Structural Change and Economic Growth: Survey and Empirical Analysis for the Asian Countries	Osaka Hitoshi	66(4)	1999(H11)
1556	会計制度分析へのExit-Voice論の拡張可能性について	澤邊 紀生	66(4)	1999(H11)
1557	90年代の対B直接投資環境と日本経済の特質	篠崎 彰彦	66(4)	1999(H11)
1558	自動車リサイクルの国際比較	外川 健一	66(4)	1999(H11)
1559	金融再保険やファイナイト保険における保険料と保険リスクの関係	吉澤 卓哉	66(4)	1999(H11)
1560	決済ネットワークの形成とリスク分析の基礎的考察	時永 祥三	66(5/6)	2000(H12)
1561	契約法と取引不履行の経済学	細江 守紀	66(5/6)	2000(H12)
1562	近代国家形成過程における都市エリートの学説史的検討：象と方法をめぐって	藤井 美男	66(5/6)	2000(H12)
1563	保護セル保険会社の構造	吉澤 卓哉	66(5/6)	2000(H12)
1564	戦間期日本石炭市場の需給構造の変化について	新鞍 拓生	66(5/6)	2000(H12)
1565	Effective Investments under Exclusive Dealing and Common Agency	Arima Hiroe	66(5/6)	2000(H12)
1566	書評：山崎朗著『産業集積と立地分析』（大明堂、240頁、1999年）	加藤 和暢	66(5/6)	2000(H12)
1567	平成11年度学位論文要旨・論文審査要旨	山崎 朗	66(5/6)	2000(H12)
1568	サービス業の販売商品：舞台演芸とプロスポーツ興行	刀田 和夫	67(1)	2000(H12)
1569	サプライチェーンマネジメントにおける要因変動リスクとオプション理論：基本的論点とカオス力学系適用について	時永 祥三	67(1)	2000(H12)
1570	欧米諸国と比較した日本の高齢者介護政策	新井 光吉	67(1)	2000(H12)
1571	組織的な監査と監査の品質管理	長吉 眞一	67(1)	2000(H12)
1572	島嶼部（離島）における廃車処理問題	外川 健一	67(1)	2000(H12)
1573	税理士の専門家責任と保険制度	吉澤 卓哉	67(1)	2000(H12)
1574	アーヴィング・フィッシャーのマクロ経済学：景気循環理論の展開	中路 敬	67(1)	2000(H12)
1575	書評：徳賀芳弘著『国際会計論』（中央経済社、251頁、2000年3月）	山地 秀俊	67(1)	2000(H12)
1576	変動相場の世界とユーロカレンシー市場：ドル本位制形成の意味論(I)	徳永 正二郎	67(2)	2000(H12)
1577	地域金融機関の不良債権	堀江 康熙	67(2)	2000(H12)
1578	賠償責任保険の基本構造と専門職業人向け賠償責任保険	吉澤 卓哉	67(2)	2000(H12)
1579	超低金利と生命保険業	茶野 努	67(2)	2000(H12)
1580	規制における統合と分離および結託防止メカニズム：非対称的な複数情報のケースについて	有馬 弥重	67(2)	2000(H12)
1581	書評：西村明著『会計の統制機能と管理会計』（同文館、304頁、2000年4月）	足立 浩	67(2)	2000(H12)
1582	書評：矢田俊文著『21世紀の国土構造と国土政策：21世紀の国土のグランドデザイン・考』（大明堂、vi +266頁、1999年）	山川 充夫	67(2)	2000(H12)
1583	書評：長吉眞一著『財務諸表監査の構造分析』（中央経済社、209頁、2000年）	内藤 文雄	67(2)	2000(H12)
1584	国際通貨と国際流動性：ドル本位制形成の意味論(II)	徳永 正二郎	67(3)	2001(H13)
1585	知識マネジメントと企業経営革新：情報システム構成論からのアプローチ	時永 祥三	67(3)	2001(H13)
1586	ドイツ学界における環境史研究の現状：エネルギー問題への接近方法を求めて	田北 廣道	67(3)	2001(H13)
1587	国際貿易と資本財：限界理論と余剰理論との対比のなかで	石田 修	67(3)	2001(H13)
1588	書評：稲富信博著『イギリス資本市場の形成と機構』（九州大学出版会、381頁、2000年）	飯田 隆	67(3)	2001(H13)
1589	P. クルーグマンとA. マーシャルの産業集積論	山本 健兒	67(4/5)	2001(H13)
1590	多国籍企業の立地と産業集積の理論	松原 宏	67(4/5)	2001(H13)
1591	グローバル化と地域構造についての一考察	鈴木 洋太郎	67(4/5)	2001(H13)
1592	産業再編の連鎖と立地…鉄鋼業を軸として	柳井 雅人	67(4/5)	2001(H13)
1593	産業集積と都市集積	田村 大樹	67(4/5)	2001(H13)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1594	日本企業の対外生産とアジア経済圏	久野 国夫	67(4/5)	2001(H13)
1595	モビリティと技術革新	山崎 朗	67(4/5)	2001(H13)
1596	明治末・大正初期における筑豊石炭鉱業の電化	Tojo Nobumasa	67(4/5)	2000(H12)
1597	静脈産業の立地とその育成政策：エコタウン事業を事例として	外川 健一	67(4/5)	2001(H13)
1598	ブリュッセル毛織物工業史論序説：14-15世紀における生産構造の転換を中心に	藤井 美男	67(4/5)	2001(H13)
1599	ハイテク製品貿易と中間財貿易：日本とアジアのハイテク製品貿易の分析を中心として	石田 修	67(4/5)	2001(H13)
1600	土地所有と環境農業の対抗	深川 博史	67(4/5)	2001(H13)
1601	貨幣機能論の問題状況：新古典派とマルクス派	福留 久大	67(4/5)	2001(H13)
1602	企業間電子商取引と電子決済：現状と検討課題について	時永 祥三	67(4/5)	2001(H13)
1603	アメリカの福祉国家政策：偉大な社会計画を中心に	新井 光吉	67(4/5)	2001(H13)
1604	大都市圏に於ける信用金庫の営業地盤	堀江 康熙	67(6)	2001(H13)
1605	電子商取引における課税問題：企業間取引を中心として	時永 祥三	67(6)	2001(H13)
1606	保護セル保険会社に関するパミュダの一般法律：ビジネス・トラスト構造と受益的所有者の責任	吉澤 卓哉	67(6)	2001(H13)
1607	韓国・台湾における自動車リサイクル	外川 健一	67(6)	2001(H13)
1608	Administered protection and vertical integration	Okajima Yoshimoto	67(6)	2001(H13)
1609	平成12年度学位論文要旨・論文審査要旨	王 忠毅	67(6)	2001(H13)
1610	不確実性下の投資決定問題とリスク分析手法について：動的計画法を中心として	時永 祥三	68(1)	2001(H13)
1611	ビッグ・バン前夜におけるジョバー商会の経営と競争	稲富 信博	68(1)	2001(H13)
1612	需要不確実性下の再販売価格制について	三浦 功	68(1)	2001(H13)
1613	日本のIT投資と経済構造への影響：需要サイドと供給サイドからの分析	篠崎 彰彦	68(1)	2001(H13)
1614	クズネッツ曲線の例証：経済発展、所得分配と環境汚染	大坂 仁	68(1)	2001(H13)
1615	自動車産業の静脈部(IV)：「リペアビジネス」としての自動車整備業と自動車のリース、レンタルの現状	外川 健一	68(1)	2001(H13)
1616	1990年代のアメリカの農産物輸出動向と1996年農業法の運用：農産物の国際需給動向などと関連させて	小澤 健二	68(2/3)	2001(H13)
1617	分析派マルクス主義の批判的検討：宇野原理論の社会哲学的再構成に向けて	青木 孝平	68(2/3)	2001(H13)
1618	金利効果の非対称性および資本制経済の不安定性	鳥井 鋼生	68(2/3)	2001(H13)
1619	価格水準の第1次的形成	安田 均	68(2/3)	2001(H13)
1620	日韓半導体産業の新しい競争と協調：半導体製造装置部門とデバイス部門との連携を中心に	関野 秀明	68(2/3)	2001(H13)
1621	ドイツ巨大企業の構成と変動：フィドラーのランキング表による素描	加来 祥男	68(2/3)	2001(H13)
1622	アメリカの福祉国家政策：福祉の改革と切捨て	新井 光吉	68(2/3)	2001(H13)
1623	イノベーション育成型社会経済システム試論	久野 国夫	68(2/3)	2001(H13)
1624	継続監査制度確立の条件	長吉 眞一	68(2/3)	2001(H13)
1625	第2次世界大戦後の資本移動の自由化	稲富 信博	68(2/3)	2001(H13)
1626	IT投資の経済効果に関する実証研究：業種別IT投資とIT労働データの構築に基づく分析	篠崎 彰彦	68(2/3)	2001(H13)
1627	人間・道具を作る動物：フランクリンの人間論	福留 久大	68(2/3)	2001(H13)
1628	米国経済の動向からITの問題を読み解く	篠崎 彰彦	別冊8	2002(H14)
1629	配当政策の理論	花枝 英樹	68(4/5)	2002(H14)
1630	企業の経営効率	富田 輝博	68(4/5)	2002(H14)
1631	自社株取得と株主価値創造：エクイティファイナンスとの関連で	辻 聖二	68(4/5)	2002(H14)
1632	著作権法におけるサービス：舞台演芸、放送およびプロスポーツ	刀田 和夫	68(4/5)	2002(H14)
1633	信用金庫の営業地盤と合併問題	堀江 康熙	68(4/5)	2002(H14)
1634	州の福祉改革：勤労福祉計画	新井 光吉	68(4/5)	2002(H14)
1635	談合防止政策の有効性：Laffont-Tiroleモデルの検証	三浦 功	68(4/5)	2002(H14)
1636	WTO体制下の国際農業政策と韓国農政の転換	深川 博史	68(4/5)	2002(H14)
1637	PFIとRISK処理	大石 正明	68(4/5)	2002(H14)
1638	環境政策における規制システムの経済分析	有馬 弥重	68(4/5)	2002(H14)
1639	The Survey-Conditions of the Japanese Population Census in Today	濱砂 敬郎	68(4/5)	2002(H14)
1640	ミレニアム0Nシリーズ：経済効果と優勝確率	岩本 誠一	68(6)	2002(H14)
1641	遺伝的プログラミングによるシステム関数の近似と経済動学モデル分析への応用	時永 祥三	68(6)	2002(H14)
1642	情報技術導入による自動車ディーラー機能の変質	山崎 朗	68(6)	2002(H14)
1643	組織的監査概念の拡大	長吉 眞一	68(6)	2002(H14)
1644	平成13年度学位論文要旨・論文審査要旨	内田 交謹	68(6)	2002(H14)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1645	第1次世界大戦期ドイツの戦傷者・軍人遺族扶助(1)	加来 祥男	69(1/2)	2003(H15)
1646	破産か長者か	岩本 誠一	69(1/2)	2003(H15)
1647	大都市圏における不良債権問題	堀江 康熙	69(1/2)	2003(H15)
1648	A Genetic Programming Approach to Modeling of Diffusion Processes by using the DT-CNN and its Applications to Control	時永 祥三	69(1/2)	2003(H15)
1649	Spatial Barriers and Development of Capitalism	山崎 朗	69(1/2)	2003(H15)
1650	日本の産業内貿易の構造：従来型産業と最終使用目的別分類からの分析	石田 修	69(1/2)	2003(H15)
1651	A Preliminary Analysis on the Asian TFP：Before and After the Financial Crisis	大坂 仁	69(1/2)	2003(H15)
1652	三菱若松支店に関する覚書	畠山 秀樹	69(3/4)	2003(H15)
1653	明治初年九州諸藩と北海道開拓	鳥巢 京一	69(3/4)	2003(H15)
1654	第一次大戦後における重工業大経営の福利政策：官営製鉄所の日用品供給事業	時里 奉明	69(3/4)	2003(H15)
1655	明治20年代筑豊における採炭業の規模拡大への試み：嘉麻郡綱分村・徳明社の事例	今野 孝	69(3/4)	2003(H15)
1656	醤油醸造業史研究の課題	井奥 成彦	69(3/4)	2003(H15)
1657	改正商法における資本取引と税法	末永 英男	69(3/4)	2003(H15)
1658	資産負債アプローチの計算構造	岡田 裕正	69(3/4)	2003(H15)
1659	期待ギャップ問題の展開とその将来	吉見 宏	69(3/4)	2003(H15)
1660	平成14年改訂監査基準の意義	長吉 眞一	69(3/4)	2003(H15)
1661	管理会計の計算構造に関する一考察	丸田 起大	69(3/4)	2003(H15)
1662	概念フレームワーク下の税効果会計：その適用困難性	衣川 修平	69(3/4)	2003(H15)
1663	選挙制度のもとでの公共財供給と予算肥大化	細江 守紀	69(3/4)	2003(H15)
1664	オープンネットワークによる企業間電子商取引の実施に関する現状と課題	時永 祥三	69(3/4)	2003(H15)
1665	「ドイツ最古・最大」の環境闘争：1802/03年バンベルク・ガラス工場闘争に関する史料論的概観	田北 廣道	69(3/4)	2003(H15)
1666	アメリカ型勤労福祉制度の成果と限界	新井 光吉	69(3/4)	2003(H15)
1667	会計制度改革と日本のコーポレート・ガバナンスに関する一考察：時価会計の導入と株式持ち合いについて	澤邊 紀生	69(3/4)	2003(H15)
1668	ポスト石炭としての環境産業振興政策：とくに廃棄物処理・リサイクルビジネスを題材に	外川 健一	69(3/4)	2003(H15)
1669	フィリップス信用理論：銀行信用論の基本構造	福留 久大	69(5/6)	2003(H15)
1670	アガシ対サンブラス	岩本 誠一	69(5/6)	2003(H15)
1671	ウェーブレット変換を用いたマルチフラクタル次元の定義とその性質を用いた時系列特徴抽出	時永 祥三	69(5/6)	2003(H15)
1672	高齢社会における地域医療の持つ可能性	新井 光吉	69(5/6)	2003(H15)
1673	戦後日本の国土開発政策	山崎 朗	69(5/6)	2003(H15)
1674	貿易・成長と国際分業の効果：純粋労働経済による構造変化分析に基づいて	石田 修	69(5/6)	2003(H15)
1675	日本における使用済み製品の拡大生産者責任制度の特質：家電4品目と自動車を対象に	外川 健一	69(5/6)	2003(H15)
1676	動的計画法を用いたプロジェクト・ファイナンスにおけるリアル・オプション評価とその応用	時永 祥三	69(5/6)	2003(H15)
1677	平成14年度学位論文要旨・論文審査要旨	衣川 修平	69(5/6)	2003(H15)
1678	米国経済の動向から国際経済の現実を垣間見る	篠崎 彰彦	別冊9	2003(H15)
1679	エレクトロニクス産業における戦略的提携の研究	永池 克明	70(1)	2003(H15)
1680	Modeling and Control of Diffusion Processes by using the CNN Approaches based on the Approximation by the Genetic Programming	時永 祥三	70(1)	2003(H15)
1681	産業政策とクラスター計画	山崎 朗	70(1)	2003(H15)
1682	日本の経済成長と企業社会の変遷	遠藤 雄二	70(1)	2003(H15)
1683	ヨーゼフ・シュンペーター「ドイツの財政問題-ライヒ、州、市町村」(上)	伊東 弘文	70(1)	2003(H15)
1684	トヨタの海外展開	上山 邦雄	70(2/3)	2003(H15)
1685	労働力商品への価値法則の適用と労働力価値内在説の展開	櫛田 豊	70(2/3)	2003(H15)
1686	オーストラリアの日系ハイブリッド工場：自動車産業を対象として	公文 溥	70(2/3)	2003(H15)
1687	サービス経済論争の概観：サービス概念を中心に	斎藤 重雄	70(2/3)	2003(H15)
1688	法人・個人所得税統合論の現段階：財務省報告92を中心として	赤石 孝次	70(2/3)	2003(H15)
1689	付加価値税における利子の取扱い：消費型と所得型の比較	朴 源	70(2/3)	2003(H15)
1690	権限移譲とアメリカ州財政：福祉財政の視点から	小泉 和重	70(2/3)	2003(H15)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1691	地方予算の国際比較：現代公共経営における枠配分・責任予算の位置付け	中西 一	70(2/3)	2003(H15)
1692	フィリップス信用理論：所謂一行不能全行可能	福留 久大	70(2/3)	2003(H15)
1693	Environmental issues confronting China and necessary measures : Implications drawn from Japan's experience	永池 克明	70(2/3)	2003(H15)
1694	第1次世界大戦期ドイツの戦傷者・軍人遺族扶助(2)	加来 祥男	70(2/3)	2003(H15)
1695	自治体における政策立案とオープンネットワークから見た電子自治体の現状と課題	時永 祥三	70(2/3)	2003(H15)
1696	ビッグ・バンとシティーの「ウィンブルドン化」	稲富 信博	70(2/3)	2003(H15)
1697	二つの技術革新：製品技術革新と製造技術革新	久野 国夫	70(2/3)	2003(H15)
1698	シリコンクラスター計画	山崎 朗	70(2/3)	2003(H15)
1699	刀田和夫教授・伊東弘文教授略歴および著書・論文目録	九州大学経済学会	70(2/3)	2003(H15)
1700	オフショア・アウトソーシングを考える：情報とグローバル化の交差点	篠崎 彰彦	別冊10	2004(H16)
1701	1940年代初頭大連日本人個人経営者の経歴について	柳沢 遊	70(4/5)	2004(H16)
1702	戦後日本のホワイトカラー：1950年代の銀行員の仕事と生活	市原 博	70(4/5)	2004(H16)
1703	燃料国策と石油資源開発：北樺太石油株式会社と帝国石油株式会社	野田 富男	70(4/5)	2004(H16)
1704	大正・昭和初期長崎県における観光開発と交通網の形成：雲仙の事例	原 康記	70(4/5)	2004(H16)
1705	帝国鉄道協会の成立：日本鉄道業の発展と業界団体	中村 尚史	70(4/5)	2004(H16)
1706	グローバル化は貧者の敵か味方か	石見 徹	70(4/5)	2004(H16)
1707	ナショナル・ミニマムについて考える：第2次世界大戦後の高等学校教育の場合	今井 勝人	70(4/5)	2004(H16)
1708	ロシアにおける農民共同体の最終段階について：1920年代の「自己課税」	奥田 央	70(4/5)	2004(H16)
1709	自由主義と労働者教育：19世紀中葉ドイツにおける労働者(教育)協会の歩み	太田 和宏	70(4/5)	2004(H16)
1710	東ドイツにおける物的刺激ファンドの改革：報酬割増金制度と福利厚生ファンドを中心に	白川 欽哉	70(4/5)	2004(H16)
1711	企業統治と契約	岡部 鐵男	70(4/5)	2004(H16)
1712	産業政策に見る官と民の関係：日本の経験を通じた中国へのインプリケーション	永池 克明	70(4/5)	2004(H16)
1713	企業の取引銀行数の決定要因	堀江 康熙	70(4/5)	2004(H16)
1714	19-20世紀ドイツにおける環境行政の諸局面：環境史の挑戦	田北 廣道	70(4/5)	2004(H16)
1715	メヘレンからアトヘ何がもたらされたのか：エノー伯文書(1328年)に見る工業規約伝播の背景	藤井 美男	70(4/5)	2004(H16)
1716	新しい環境条件下における地域産業政策	山崎 朗	70(4/5)	2004(H16)
1717	経済のグローバル化と貿易の垂直構造	石田 修	70(4/5)	2004(H16)
1718	荻野喜弘教授・加来祥男教授略歴および著書・論文目録	九州大学経済学会	70(4/5)	2004(H16)
1719	Real Options with Risk Aversion Using Tradable Asset in Project Management	陳 曉栄	70(6)	2004(H16)
1720	民間企業の支店立地と行政機関：総合建設業と地方建設局の関係を中心に	藤本 典嗣	70(6)	2004(H16)
1721	イノベーション・システム・アプローチとイノベーションの空間性	戸田 順一郎	70(6)	2004(H16)
1722	平成15年度学位論文要旨・論文審査要旨	池下 研一郎	70(6)	2004(H16)
1723	中国自動車産業の発展と販売組織	米谷 雅之	71(1)	2004(H16)
1724	プログラム・プロジェクト・マネジメントのためのパフォーマンス評価指標に関する一考察	浅田 孝幸	71(1)	2004(H16)
1725	新しい産業構造における企業間関係：知識ベースの企業理論による説明	丹沢 安治	71(1)	2004(H16)
1726	戦後日韓関係の形成とその経済的側面：担い手たちの行動を中心に	柳町 功	71(1)	2004(H16)
1727	Modeling and Analysis of Local Trade Networks and Spatial Clusters using Cellular Automata based on Multi-agent Systems improved by the Genetic Programming	陳 曉栄	71(1)	2004(H16)
1728	中国・韓国の日系企業調査ノート	久野 国夫	71(1)	2004(H16)
1729	「生活圏域」の特質と階層性：「二層の広域圏」にもとづく事業所立地分析	山崎 朗	71(1)	2004(H16)
1730	国際貿易論のベンチマーク再考：現代古典派の視点から	石田 修	71(1)	2004(H16)
1731	アジア企業研究：ケース：台湾エバーグリーン社の競争優位性	星野 裕志	71(1)	2004(H16)
1732	Japan's Experience in International Trade Frictions and Its Implication for China	永池 克明	71(1)	2004(H16)
1733	永池克明教授略歴および著書・論文目録	九州大学経済学会	71(1)	2004(H16)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1734	最適化と方程式と不等式と	岩本 誠一	71(2/3)	2005(H17)
1735	地域銀行の経営と貸出行動	堀江 康熙	71(2/3)	2005(H17)
1736	Existence of Optimal Growth Paths in a Class of Dynamic Economic Problems	大住 圭介	71(2/3)	2005(H17)
1737	ジョン・シンクレアーの貧民救済論について	関 源太郎	71(2/3)	2005(H17)
1738	Modeling and Analysis of Agent-based Artificial Demand-Supply Market by Using the Genetic Programming and its Applications	時永 祥三	71(2/3)	2005(H17)
1739	1930年代初期の福岡県大牟田における電力融通問題	荻野 喜弘	71(2/3)	2005(H17)
1740	Strategic Management of Japanese Companies in East Asia	塩次 喜代明	71(2/3)	2005(H17)
1741	日本型「産業政策」についての一考察	久野 国夫	71(2/3)	2005(H17)
1742	工場閉鎖の地域的特質：1990年と2002年の比較	山崎 朗	71(2/3)	2005(H17)
1743	信書便産業自由化の現状と課題	実積 寿也	71(2/3)	2005(H17)
1744	成長会計モデルによる日本の労働生産性と情報資本の寄与：日本にソロー・パラドックスは存在したか？	篠崎 彰彦	71(2/3)	2005(H17)
1745	Issues and Tasks in Intra-ASEAN Economic Cooperation after the Asian Economic Crisis	清水 一史	71(2/3)	2005(H17)
1746	科学セクターから民間企業への知識フローに関する分析	永田 晃也	71(2/3)	2005(H17)
1747	人口減少下の2030年を考える：生産性はなぜ重要か	篠崎 彰彦	別冊11	2005(H17)
1748	『資本論』の基本性格：経済学と社会主義の間	福留 久大	71(4)	2005(H17)
1749	企業組織と複雑系	岡部 鐵男	71(4)	2005(H17)
1750	Dog Chases Rabbit：An Invariant Imbedding	岩本 誠一	71(4)	2005(H17)
1751	The Effects of Irreversibilities on the Optimal Timing of Pollution Control Policies	藤田 敏之	71(4)	2005(H17)
1752	Syntactical Recognition Systems of Time Series based on the Genetic Programming and its Applications to Clustering of Stock Prices	陳 曉榮	71(4)	2005(H17)
1753	Maximum Altitude：An Invariant Imbedding	岩本 誠一	71(5/6)	2005(H17)
1754	人口センサスの方法転換問題と『EC:Redfern報告』(その1)：伝統型人口センサスの社会的限界	濱砂 敬郎	71(5/6)	2005(H17)
1755	ケース:TOTO：ロジスティクス・マネジメント	星野 裕志	71(5/6)	2005(H17)
1756	リース会計基準と会計諸概念の変容	角ヶ谷 典幸	71(5/6)	2005(H17)
1757	リアルオプションによる発電事業の最適性評価について	高木 昇	71(5/6)	2005(H17)
1758	ヨーゼフ・シュンペーター「ドイツの財政問題-ライヒ、州、市町村」(下)	伊東 弘文	71(5/6)	2005(H17)
1759	平成16年度学位論文要旨・論文審査要旨	野田 英雄	71(5/6)	2005(H17)
1760	生産性の歴史と国際比較：人口減少下の2030年を展望するための基礎的考察	篠崎 彰彦	72(1)	2005(H17)
1761	郵貯の民営化について	堀江 康熙	72(1)	2005(H17)
1762	日本の財務再構築：連載第一回：バブルの発生崩壊と日本の財務諸表への影響	村藤 功	72(1)	2005(H17)
1763	サプライチェーン形成における数理モデル分析について	時永 祥三	72(1)	2005(H17)
1764	人口センサスの方法転換問題と『EC:Redfern報告』(その2)：行政登録簿型人口センサスの情動的技術的な成立条件	濱砂 敬郎	72(2/3)	2005(H17)
1765	Prediction of Future Stock Trends by Using Two-Stage Hierarchical Systems Based on the Segment Categorization and Recognition of Series of Category Symbols Using the Genetic Programming	時永 祥三	72(2/3)	2005(H17)
1766	1467-68年次ブルゴーニュ公財政の支出見積etatiに関する史料論的考察：補論と続論	藤井 美男	72(2/3)	2005(H17)
1767	日本の財務再構築：連載第二回：連結財務管理と自己責任の原則に基づく業績評価	村藤 功	72(2/3)	2005(H17)
1768	市場参入：ケース未来高速：日韓高速旅客船事業	星野 裕志	72(2/3)	2005(H17)
1769	義務教育費負担制度から見る現代中国における国家・農村関係	甘 長青	72(2/3)	2005(H17)
1770	高次積率に対する確率ポラリティモデルの拡張	福井 昭吾	72(2/3)	2005(H17)
1771	ストック・オプション制度の導入に対する株式市場の反応	霍 茜	72(2/3)	2005(H17)
1772	人口センサスの方法転換問題と『EC:Redfern報告』(その3)：行政登録簿型人口センサスの社会的制度的な成立条件	濱砂 敬郎	72(4)	2006(H18)
1773	日韓農業の構造比較：稲作と農民高齢化	深川 博史	72(4)	2006(H18)
1774	日本の財務再構築：連載第三回：事業会社セクターの財務再構築	村藤 功	72(4)	2006(H18)
1775	インターネット・マーケティングと遺伝的プログラミングによる実現ツールの開発	高木 昇	72(4)	2006(H18)
1776	「大いなる他者」としてのアメリカ：「東アジア共同体」を形成するメカニズム	篠崎 彰彦	別冊12	2006(H18)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1777	ニューラルネットワークと遺伝的プログラミングによるルール生成手法を用いたクレジット審査システムの構成	時永 祥三	72(5/6)	2006(H18)
1778	19世紀後半プロイセンにおける工業化と環境立法の整備：住民運動活性化の引き金	田北 廣道	72(5/6)	2006(H18)
1779	日本の財務再構築：連載第四回：金融法人セクターの財務再構築	村藤 功	72(5/6)	2006(H18)
1780	Can the sun rise again in the ubiquitous information age? : Feasibility of a vigorous economic growth for Japan under the diminishing demographic trend	Shinozaki Akihiko	72(5/6)	2006(H18)
1781	職場におけるワーク・ライフ・バランスの必要性	遠藤 雄二	72(5/6)	2006(H18)
1782	貿易構造の変化と市場の階層化	石田 修	72(5/6)	2006(H18)
1783	1930年代における送炭調節の展開(1)	北澤 満	72(5/6)	2006(H18)
1784	平成17年度学位論文要旨・論文審査要旨	Michael Gordon Klasen	72(5/6)	2006(H18)
1785	中国企業の対外進出戦略と日・中・アジア企業の国際競争力：日本企業の対応戦略と東アジア工程分業ネットワーク	永池 克明	73(1)	2006(H18)
1786	A dual approach in optimizing threshold probabilities	岩本 誠一	73(1)	2006(H18)
1787	ワーク・ライフ・バランスと職場	遠藤 雄二	73(1)	2006(H18)
1788	伝統的工芸品産業の振興についての考察：有田焼、博多織、京都の伝統的工芸品産業全般を事例として	米光 靖	73(1)	2006(H18)
1789	Modeling and Analysis of Artificial Auction Markets Consisting of Multi-agents using Genetic Programming for Learning and its Applications	池田 欽一	73(1)	2006(H18)
1790	複雑さと制度に関する予備的考察：一般均衡理論の描く社会経済秩序	有泉 哲	73(1)	2006(H18)
1791	地方分権化に伴う政府の失敗と政治献金	金崎 雅之	73(1)	2006(H18)
1792	現代中国における地方財政調整システムの生成と展開(1)	甘 長青	73(1)	2006(H18)
1793	第1次世界大戦期ドイツの応召兵士の家族支援(1)	加来 祥男	73(2/3)	2006(H18)
1794	信頼支出と責任の経済分析	細江 守紀	73(2/3)	2006(H18)
1795	地域間所得格差と財政・金融	堀江 康熙	73(2/3)	2006(H18)
1796	日本の財務再構築：連載第五回：一般政府セクターの財務再構築	村藤 功	73(2/3)	2006(H18)
1797	新興経済圏の会計基準設計とIASB討議資料の基本論点	小津 稚加子	73(2/3)	2006(H18)
1798	経済的利益概念の展開：1980年代までの議論を中心にして	角ヶ谷 典幸	73(2/3)	2006(H18)
1799	1930年代における送炭調節の展開(2)	北澤 満	73(2/3)	2006(H18)
1800	Analysis of Price Fluctuation in Double Auction Markets consisting of Multi-agents using the Genetic Programming for Learning	Chen Xiaorong	73(2/3)	2006(H18)
1801	現代中国における地方財政調整システムの生成と展開(2)	甘 長青	73(2/3)	2006(H18)
1802	Dynamic Asset Allocation with Event Risks under Value-at-Risk Regulation	時永 祥三	73(4)	2007(H19)
1803	ユニバーサル「通信」サービスの確保：郵便制度への含意	実積 寿也	73(4)	2007(H19)
1804	現代中国における地方財政調整システムの生成と展開(3)	甘 長青	73(4)	2007(H19)
1805	汚染規制における強制保険の有効性とモラルハザード	境 和彦	73(4)	2007(H19)
1806	平成21年・23年経済センサスと統計体系にかんするノート	濱砂 敬郎	73(4)	2007(H19)
1807	「情報経済 = Information Economy」のすすめ	篠崎 彰彦	別冊13	2007(H19)
1808	私の研究ノートから	山本 健兒	別冊13	2007(H19)
1809	汚染削減と経済成長の理論分析	大住 圭介	73(5/6)	2007(H19)
1810	日欧エネルギー・環境政策の行方：『京都議定書』中間総括以降の動き	田北 廣道	73(5/6)	2007(H19)
1811	Labor Market Informational Externalities and Strategic Complementarities among Firms and Workers	Hori Nobuaki	73(5/6)	2007(H19)
1812	Improved Estimation of Tail Distribution of Link Delays by Using Networks Tomography Based on the Genetic Programming and the Importance Sampling	譚 康融	73(5/6)	2007(H19)
1813	平成18年度学位論文要旨・論文審査要旨	霍 茜	73(5/6)	2007(H19)
1814	比較生産費と国際価値：リカード説の本質理解	福留 久大	74(1)	2007(H19)
1815	中世都市ブリュッセルの市政構造：第三会派の形成と変容に至る過程	藤井 美男	74(1)	2007(H19)
1816	最適診療報酬政策：出来高払い制と定額払い制の比較分析	三浦 功	74(1)	2007(H19)
1817	核実験以後の対北コメ支援と過剰問題：公共備蓄制度の導入に関して	深川 博史	74(1)	2007(H19)
1818	日本の財務再構築：連載第六回：家計の財務再構築	村藤 功	74(1)	2007(H19)
1819	補助金の交付金化と環境政策統合：循環型社会形成推進交付金を事例として	八木 信一	74(1)	2007(H19)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1820	Approximating Probability Distribution Function based upon Mixture Distribution Optimized by Genetic Algorithm and its Application to Tail Distribution Analysis using Importance Sampling Method	Tan Kangrong	74(1)	2007(H19)
1821	第1次世界大戦期ドイツの応召兵士の家族支援(2)	加来 祥男	74(2)	2007(H19)
1822	ドイツ統計登録簿型人口センサスの意義と課題(その1)：行政登録簿とセンサスの基本原則	浜砂 敬郎	74(2)	2007(H19)
1823	評価に関連するマルコフ過程での最適化問題について	中井 達	74(2)	2007(H19)
1824	韓国の環境農業直接支払い制度について	深川 博史	74(2)	2007(H19)
1825	A Research Note on the Regional Trend of Income Inequality in Asia : Kuznets Hypothesis Revisited	Osaka Hitoshi	74(2)	2007(H19)
1826	自由化後の郵便事業の最適産業構造について：日本・英国・スウェーデン市場からの帰納	実積 寿也	74(2)	2007(H19)
1827	アジア国際産業連関表の三角化によるハイアラキー性分析	呂 建軍	74(2)	2007(H19)
1828	環境事故と貸手責任の経済分析：長期契約とシャットダウン	後藤 大策	74(2)	2007(H19)
1829	はじめに	堀江 康熙	74(3)	2007(H19)
1830	無貯蓄世帯の増加とその特徴	堀江 康熙	74(3)	2007(H19)
1831	母子世帯と生活保護についての考察	玉田 桂子	74(3)	2007(H19)
1832	地域内における格差に関する考察：医療施設へのアクセシビリティの観点から	川向 肇	74(3)	2007(H19)
1833	高齢社会の下における産業別雇用の世代間格差	志甫 啓	74(3)	2007(H19)
1834	少子高齢社会における製造業の人的資源戦略：製品アーキテクチャの観点からみた技能伝承と技術者育成の課題	永田 晃也	74(3)	2007(H19)
1835	高齢化する東アジア：成長・貯蓄・金融市場への影響	木原 隆司	74(3)	2007(H19)
1836	高齢化に関連した政府支出の増加と国債市場の長期均衡の安定性	中田 真佐男	74(3)	2007(H19)
1837	黄金・白銀・青銅：数と比と形と率と	岩本 誠一	74(4)	2008(H20)
1838	ドイツ統計登録簿型人口センサスの意義と課題(その2)：『センサス構想』と住民登録簿の審査	浜砂 敬郎	74(4)	2008(H20)
1839	ルール地方の化学工業と環境運動：1875-1877イェガー染料会社を例として	田北 廣道	74(4)	2008(H20)
1840	国際競争下における大川家具産地の縮小と振興政策	山本 健兒	74(4)	2008(H20)
1841	グローバル生産システムと貿易構造	石田 修	74(4)	2008(H20)
1842	アジア国際産業連関表を基礎とした情報セクター分析	呂 建軍	74(4)	2008(H20)
1843	中国マクロ経済変数の非正常性とDGPの構造変化	張 艶	74(4)	2008(H20)
1844	日本の information Economy	篠崎 彰彦	別冊14	2008(H20)
1845	私の研究ノートから：2	山本 健兒	別冊14	2008(H20)
1846	第1次世界大戦期ドイツの応召兵士の家族支援(3)	加来 祥男	74(5/6)	2008(H20)
1847	レントシーキングと地域間の統合と分離	細江 守紀	74(5/6)	2008(H20)
1848	Environmental Issues in Economic Development : Reappraisal of CO ₂ Emissions in Asia	Osaka Hitoshi	74(5/6)	2008(H20)
1849	リース会計基準の動向	角ヶ谷 典幸	74(5/6)	2008(H20)
1850	両大戦間期における三菱鉱業の炭鉱経営(1)：1920年代後半～1930年代前半における合理化過程	北澤 満	74(5/6)	2008(H20)
1851	ジャンプ過程を含む変数で記述される評価関数の最適化とKernel-basedパターン構造解析を用いた行動選択への応用	高木 昇	74(5/6)	2008(H20)
1852	中国における経済史研究の現状と課題	李 暁	74(5/6)	2008(H20)
1853	平成19年度学位論文要旨・論文審査要旨	内田 秀昭	74(5/6)	2008(H20)
1854	公正価値会計モデルと複式簿記：会計基準のコンバージェンスとの関連において一	岩崎 勇	75(1)	2008(H20)
1855	応用一般均衡による社会基盤整備のモデル分析とその応用	中西 一	75(1)	2008(H20)
1856	Entry Regulation and Strategic Entry Deterrence in the Airline Market	川崎 晃央	75(1)	2008(H20)
1857	ドイツ統計登録簿型人口センサスの意義と課題(その3)：住民登録簿の一般性とデータ連結(世帯形成)	浜砂 敬郎	75(2/3)	2008(H20)
1858	Environment and Innovation in the Knowledge-based Economy	大住 圭介	75(2/3)	2008(H20)
1859	サブプライム問題と金融コングロマリット経営組織の有効性	久原 正治	75(2/3)	2008(H20)
1860	ジャンプ過程を含む変数で記述される評価関数の最適化とそのリアルオプション手法による事業評価分析への応用	時永 祥三	75(2/3)	2008(H20)
1861	Multi-fractality Analysis of Artificial Stock Prices Generated by Multi-agent using Genetic Programming for Learning and its Applications	Tokinaga Shozo	75(4)	2009(H21)
1862	ドイツ化学工業勃興期の環境闘争：1864-1872年イェガー染料会社の場合	田北 廣道	75(4)	2009(H21)
1863	グローバル生産システムに関する一考察	石田 修	75(4)	2009(H21)

『経済学研究』文献目録

昭和6（1931）年第1輯～令和4（2022）年第89巻4号（九州大学経済学会発行）

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1864	国際援助の動向とミレミアム開発目標の進展：記述データによる現状と展望	大坂 仁	75(4)	2009(H21)
1865	高齢社会の進行と地域金融機関経営	堀江 康熙	75(5/6)	2009(H21)
1866	EUの都市政策	山本 健兒	75(5/6)	2009(H21)
1867	SME版IFRSの開発過程：公開草案（ED）構造化はどのようになされたのか	小津 稚加子	75(5/6)	2009(H21)
1868	十七銀行の戦時期『業務報告書』分析：安田財閥との関係を中心に	宮地 英敏	75(5/6)	2009(H21)
1869	遺伝的手法による関数近似を用いた時系列におけるジャンプ過程の推定とその予測と最適化への応用	譚 康融	75(5/6)	2009(H21)
1870	平成20年度学位論文要旨・論文審査要旨	浅川 哲郎	75(5/6)	2009(H21)
1871	Information Economy で読む景気循環と経済成長	篠崎 彰彦	別冊15	2009(H21)
1872	私の研究ノートから：中小企業家の群像No. 3	山本 健兒	別冊15	2009(H21)
1873	第1次世界大戦期ドイツの応召兵士の家族支援(4)	加来 祥男	76(1)	2009(H21)
1874	The Significance of New Labour's Thoughts: With Special Reference to Its Economic Views in the 1990s	Seki Gentaro	76(1)	2009(H21)
1875	組み込み型プラットフォームの現状とモジュール化に注目した競争力形成の分析	時永 祥三	76(1)	2009(H21)
1876	2000年以降の英国におけるエネルギー・環境政策：温暖化対策のモデルケース	田北 廣道	76(1)	2009(H21)
1877	企業投資と日本経済の中期成長率：情報技術への投資加速を織り込んだシミュレーション	篠崎 彰彦	76(1)	2009(H21)
1878	地域間賃金格差の要因と格差縮小政策	浦川 邦夫	76(1)	2009(H21)
1879	現代の環境問題と市場的手段の意義：普遍的環境問題とその対策	日野 道啓	76(1)	2009(H21)
1880	ダ・ヴィンチ・コード	岩本 誠一	76(2/3)	2009(H21)
1881	インターネット・マーケティングにおける企業間関係とCGM分析に関する基礎的考察	時永 祥三	76(2/3)	2009(H21)
1882	コーポレート・ガバナンスとインサイダー取引の未然防止	岩崎 勇	76(2/3)	2009(H21)
1883	国際財務報告基準を取巻く国際的動向と日本の対応	岩崎 勇	76(2/3)	2009(H21)
1884	The Long-term Trend of Productivity and the Determinants of Factor Inputs Since China's Economic Reform	Osaka Hitoshi	76(2/3)	2009(H21)
1885	交互ダ・ヴィンチ・コード	岩本 誠一	76(4)	2010(H22)
1886	Analysis of Profits/Price Chaoticity in Formalizing Collaboration among Agents and its Application to Control of Chaos	Tokinaga Shozo	76(4)	2010(H22)
1887	日本型企业システムの変容と雇用・再論	磯谷 明德	76(4)	2010(H22)
1888	IT関連産業の経済波及効果：産業連関表による1990年から2005年までの分析	篠崎 彰彦	76(4)	2010(H22)
1889	生産システムの変容と経済危機：アメリカ市場指向生産システムと新興国市場指向生産システム	石田 修	76(4)	2010(H22)
1890	はじめに	堀江 康熙	76(5)	2010(H22)
1891	信用金庫の営業地盤と経営効率性	堀江 康熙	76(5)	2010(H22)
1892	消費者金融業と銀行業の経営統合：金融コングロマリット形成の視点から	茶野 努	76(5)	2010(H22)
1893	リレーションシップ構築コストと金利に関する実証分析	鳥袋 伊津子	76(5)	2010(H22)
1894	企業規模別の借入金利の特徴点：企業側データからみた計量分析	安孫子 勇一	76(5)	2010(H22)
1895	銀行株主とコーポレート・ガバナンス	内田 交謙	76(5)	2010(H22)
1896	個別株式レベルにおける価格急落現象の要因：日本の新興株式市場での実証分析	阿萬 弘行	76(5)	2010(H22)
1897	アジアの株式市場における連関と構造変化	張 艶	76(5)	2010(H22)
1898	東アジアの金融構造の進展と経済成長	木原 隆司	76(5)	2010(H22)
1899	少額決済サービス市場における構造変化：マイクロデータによる電子マネー普及の実証分析	中田 真佐男	76(5)	2010(H22)
1900	The Golden Quadratic Equations	Iwamoto Seiichi	76(6)	2010(H22)
1901	テクノロジー・フロンティアからの乖離の程度、イノベーションの所有権と経済成長	大住 圭介	76(6)	2010(H22)
1902	投資銀行経営は変わるのか：外部環境の変化と経営再生の方向	久原 正治	76(6)	2010(H22)
1903	遺伝的プログラミングによる方程式近似に基づく粒子フィルタを用いた債権格付遷移の推定	時永 祥三	76(6)	2010(H22)
1904	15世紀ブラバント顧問院の成立について	藤井 美男	76(6)	2010(H22)
1905	平成21年度学位論文要旨・論文審査要旨	高山 晃郎	76(6)	2010(H22)
1906	半世紀前の「情報産業論」	篠崎 彰彦	別冊16	2010(H22)
1907	私の研究ノートから：中小企業家の群像No. 4	山本 健兒	別冊16	2010(H22)
1908	ダ・ヴィンチ・コード64	岩本 誠一	77(1)	2010(H22)

『経済学研究』文献目録

昭和6（1931）年第1輯～令和4（2022）年第89巻4号（九州大学経済学会発行）

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1909	2007年統計法といわゆる「基本計画」について：統計調査（実査）の側面から	浜砂 敬郎	77(1)	2010(H22)
1910	スビルオーバー効果の数理モデル解析の現状：局所的交流を行うエージェントを用いた分析を中心として	時永 祥三	77(1)	2010(H22)
1911	1872-75年イエガー染料会社と環境闘争：鑑定書・証言録にみる闘争の諸相	田北 廣道	77(1)	2010(H22)
1912	日本土地市場史・不動産経営史研究の趨勢と課題：徳川～明治期の都市を中心に	鷲崎 俊太郎	77(1)	2010(H22)
1913	中央協和会編『朝鮮人労働者募集状況』	宮地 英敏	77(1)	2010(H22)
1914	フィボナッチ分割：逐次型	岩本 誠一	77(2/3)	2010(H22)
1915	切断分布をともなう回帰分析におけるKernel-based手法の適用：サンプル間変数共有の分析を中心として	時永 祥三	77(2/3)	2010(H22)
1916	グローバル資本主義とイギリスの長期経済成長	稲富 信博	77(2/3)	2010(H22)
1917	IFRS第9号金融商品会計基準の到達点と問題点	岩崎 勇	77(2/3)	2010(H22)
1918	進化学習するマルチエージェントで構成される人工市場における株価からのエージェント行動の判別：粒子フィルタを用いたジャンプマルコフシステムの状態推定適用	時永 祥三	77(4)	2011(H23)
1919	会社法会計の到達点と問題点	岩崎 勇	77(4)	2011(H23)
1920	Measurement of IT Capital Stock and It's Impact : A Case Study of Japan for Further International Comparisons	Shinozaki Akihiko	77(4)	2011(H23)
1921	両大戦間期奉天における綿糸布商とその活動	張 暁紅	77(4)	2011(H23)
1922	アジア通貨危機後のタイ銀行セクターの新展開	スカンヤ ワッタナワリン	77(4)	2011(H23)
1923	鷲崎文三『回顧録』：1876-1930：明治・大正期における鉄道技師の半生	鷲崎 俊太郎	77(4)	2011(H23)
1924	地域銀行の営業地盤と収益性	堀江 康熙	77(5/6)	2011(H23)
1925	変数のショック入力による誘発の評価をめぐる現状と課題：解析手法の比較分析と非線形モデル導入を中心として	時永 祥三	77(5/6)	2011(H23)
1926	社会経済史学の再構成に向けて：ドイツ環境史の可能性(1)	田北 廣道	77(5/6)	2011(H23)
1927	技術と労働、生産力構造	久野 国夫	77(5/6)	2011(H23)
1928	分配可能額計算の到達点と問題点	岩崎 勇	77(5/6)	2011(H23)
1929	会計士監査の社会的役割：会計士監査のシグナリング機能の検証	異島 須賀子	77(5/6)	2011(H23)
1930	(資料)平成22年国勢調査にかんする実査レポート	浜砂 敬郎	77(5/6)	2011(H23)
1931	平成22年度学位論文要旨・論文審査要旨	谷 晶紅	77(5/6)	2011(H23)
1932	情報経済で読み解くロビンソン・クルーソーの世界	篠崎 彰彦	別冊17	2011(H23)
1933	私の研究ノートから：中小企業家の群像No. 5	山本 健兒	別冊17	2011(H23)
1934	交互ダ・ヴィンチ・コード64	岩本 誠一	78(1)	2011(H23)
1935	情報システムのソーシング戦略におけるTCEとRBVの複合型視座：データによる実証とモデル分析	時永 祥三	78(1)	2011(H23)
1936	20世紀初頭ドイツ化学工業と環境闘争：1907/09年イエガー会社の事例	田北 廣道	78(1)	2011(H23)
1937	IFRSにおける概念フレームワークについて：「報告企業」の到達点と問題点を中心として	岩崎 勇	78(1)	2011(H23)
1938	東日本大震災の地域金融に及ぼす影響	堀江 康熙	78(2/3)	2011(H23)
1939	局所的交流をする企業・労働・銀行エージェントからなる平面配置モデルにおける金融政策ショックの伝播分析	時永 祥三	78(2/3)	2011(H23)
1940	プロイセン「一般営業条例」導入直後の環境闘争：1845-55年ヴェーゼンフェルト化学会社を例として	田北 廣道	78(2/3)	2011(H23)
1941	IFRS導入と公正価値会計の拡大	岩崎 勇	78(2/3)	2011(H23)
1942	中世後期ブリュッセル市街市民とブラバント（ブルゴーニュ）公権：ヴァン＝アウトフェン事件を事例として	藤井 美男	78(2/3)	2011(H23)
1943	Stock Price Forecasts and Japanese Household Asset Allocation	Kinari Yusuke	78(2/3)	2011(H23)
1944	Crisis and Organization Failure : Framework of Analysis and Case Studies in Financial Crisis and the Fukushima Nuclear Accident	Kuhara Masaharu	78(4)	2011(H23)
1945	平面上に配置された局所的交流をするエージェントの状態により形成されるクラスタの変動分析	時永 祥三	78(4)	2011(H23)
1946	独占形成期ドイツの化学工業と認可闘争：1880年代半ばの2つの事例研究	田北 廣道	78(4)	2011(H23)
1947	IFRS導入の複式簿記への影響	岩崎 勇	78(4)	2011(H23)
1948	構造変化と非線形性を考慮したモデルによるわが国の歳入と歳出の因果性分析	瀧本 太郎	78(4)	2011(H23)
1949	公共政策と人的資本蓄積および経済成長	村田 慶	78(4)	2011(H23)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1950	粒子フィルタおよび遺伝的プログラミングを用いた非線形時系列モデルにおける構造変化の推定	時永 祥三	78(5/6)	2012(H24)
1951	1870年代前半ドイツ化学工業と環境闘争：「住民保護」の頂点	田北 廣道	78(5/6)	2012(H24)
1952	IASBの概念フレームワークにおける会計目的について	岩崎 勇	78(5/6)	2012(H24)
1953	The welfare impact of marginal consumption tax reforms on young households in Japan	浦川 邦夫	78(5/6)	2012(H24)
1954	Analysis of Nonlinear Characteristics on the Shanghai Stock Market	儲 梅芬	78(5/6)	2012(H24)
1955	ドイツの2011年センサス法と人口・住宅センサスにかんする欧州連合規約(その1)	浜砂 敬郎	78(5/6)	2012(H24)
1956	平成23年度学位論文要旨・論文審査要旨	ワッタナワリン スカンヤ	78(5/6)	2012(H24)
1957	古典で読み解く情報技術と企業改革	篠崎 彰彦	別冊18	2012(H24)
1958	私の研究ノートから：中小企業家の群像No. 6	山本 健兒	別冊18	2012(H24)
1959	18世紀中葉スコットランドの救貧思想の一側面：ワークハウスの設立・運営をめぐって(一)	関 源太郎	79(1)	2012(H24)
1960	平面上に配置された局所的交流をするエージェントへの外部入力による状態変化進行の特性分析とその応用	時永 祥三	79(1)	2012(H24)
1961	19世紀後半バルメンにおける化学工場と環境汚染：1869/1873年ヴェーゼンフェルト化学会社の例	田北 廣道	79(1)	2012(H24)
1962	利益概念と情報価値	岩崎 勇	79(1)	2012(H24)
1963	ドイツの2011年センサス法と人口・住宅センサスにかんする欧州連合規約(その2)	浜砂 敬郎	79(1)	2012(H24)
1964	第1次世界大戦期ドイツの社会保険制度(1)	加来 祥男	79(2/3)	2012(H24)
1965	18世紀中葉スコットランドの救貧思想の一側面：ワークハウスの設立・運営をめぐって(二)	関 源太郎	79(2/3)	2012(H24)
1966	Dynamic Asset Allocation with Value-at-Risk Regulation described by Variables having Jump Diffusion Processes for Multiple Assets	Tokenaga Shozo	79(2/3)	2012(H24)
1967	20世紀初頭における三菱と電力業に関する覚書：猪苗代水力電気の事例を踏まえて	宮地 英敏	79(2/3)	2012(H24)
1968	1920年代の北海道石炭産業における港湾荷役問題：北海道炭礦汽船株式会社の事例	木庭 俊彦	79(2/3)	2012(H24)
1969	ドイツの2011年センサス法と人口・住宅センサスにかんする欧州連合規約(その3:完)	浜砂 敬郎	79(2/3)	2012(H24)
1970	第1次世界大戦期ドイツの社会保険制度(2)	加来 祥男	79(4)	2012(H24)
1971	遺伝的手法と粒子フィルタを用いた動的ベイネットワーク記述における状態変化の推定	時永 祥三	79(4)	2012(H24)
1972	日欧エネルギー・環境政策の行方：経済学の転換点	田北 廣道	79(4)	2012(H24)
1973	IFRSの概念フレームワークの認識問題について	岩崎 勇	79(4)	2012(H24)
1974	江戸の町屋敷経営と不動産収益率の長期分析：1775～1872：三井家両替店請40か所のケーススタディ	鷲崎 俊太郎	79(4)	2012(H24)
1975	信金・信組の収益力と不良資産処理負担	堀江 康熙	79(5/6)	2013(H25)
1976	需要時系列にジャンプ過程が含まれるサプライチェーンにおける小売・製造業者間の情報共有の評価分析	時永 祥三	79(5/6)	2013(H25)
1977	最近の所得分布関数の推定	佐伯 親良	79(5/6)	2013(H25)
1978	19世紀～20世紀初頭ドイツにおける認可闘争とゲーム・ルール：営業認可制度を中心に	田北 廣道	79(5/6)	2013(H25)
1979	中世後期南ネーデルラントの商業組織に関する考察：ロンドンのフランドル＝ハンザを中心に	藤井 美男	79(5/6)	2013(H25)
1980	米国における1933年証券法の制定までの自主的会計規制：ニューヨーク証券取引所と会計プロフェッションの取り組み	大石 桂一	79(5/6)	2013(H25)
1981	原価企画の形成初期の実務例：1950～1960年代の自動車・家電・機械産業	丸田 起大	79(5/6)	2013(H25)
1982	会計基準と法人税法の乖離と接近	平川 茂	79(5/6)	2013(H25)
1983	平成24年度学位論文要旨・論文審査要旨	劉 春燕	79(5/6)	2013(H25)
1984	私の研究ノートから：中小企業家の群像No. 7	山本 健兒	別冊19	2013(H25)
1985	制度としての市場と情報技術革新	篠崎 彰彦	別冊19	2012(H24)
1986	不確実性のスパイラルと管理会計	西村 明	80(1)	2013(H25)
1987	いくつかのネットワーク結合離散系カオス変動モデルにおけるedge snappingおよびpinningによる同期化とその応用	時永 祥三	80(1)	2013(H25)
1988	第一次大戦前のドイツ化学工業と認可闘争：主体配置の変化と科学技術主義の勝利	田北 廣道	80(1)	2013(H25)
1989	ME革命と生産のグローバル化	久野 国夫	80(1)	2013(H25)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
1990	Consumer Preferences for Mobile Broadband Quality in Japan : Implications for the Discussion on Network Neutrality	Jitsuzumi Toshiya	80(1)	2013(H25)
1991	愛知県東浦町の平成22年国勢調査問題にかんする覚え書き	浜砂 敬郎	80(1)	2013(H25)
1992	SCM における内製・外製の均衡分析 : 需要時系列にジャンプ過程が含まれる場合	時永 祥三	80(2/3)	2013(H25)
1993	三井における東京の不動産経営と収益率の数量的再検討 : 1872～1891	鷲崎 俊太郎	80(2/3)	2013(H25)
1994	高齢者の就業意欲と実際の就業形態との格差	浦川 邦夫	80(2/3)	2013(H25)
1995	混合分布およびGAを用いるオプションの価格付け	儲 梅芬	80(2/3)	2013(H25)
1996	第1次世界大戦期ドイツの社会保険制度(3)	加来 祥男	80(4)	2013(H25)
1997	ジャンプ過程を含む変数で記述される需要関数を用いた商品開発投資先行・後発行動の分析とその応用	時永 祥三	80(4)	2013(H25)
1998	IASBの概念フレームワークにおける測定問題について : 2013年討議資料等を中心として	岩崎 勇	80(4)	2013(H25)
1999	ワーク・ライフ・バランス論の超克	遠藤 雄二	80(4)	2013(H25)
2000	アメーバ経営における中国人従業員の採算意識への報酬制度の影響 : (株)カズマでの質問票調査から	丸田 起大	80(4)	2013(H25)
2001	農業協同組合の地盤と経営効率性	堀江 康熙	80(5/6)	2014(H26)
2002	日本における情報工学の展開との比較分析を基礎とした情報経営研究における理論的深化の分析	時永 祥三	80(5/6)	2014(H26)
2003	ビジネスサーバイデータによる景気指標	佐伯 親良	80(5/6)	2014(H26)
2004	1890年代ドイツ化学工業と認可闘争 : 営業監督官の役割をめぐって	田北 廣道	80(5/6)	2014(H26)
2005	ヘルスケアにおける「競争戦略」と原価計算 : TDABCとUVA法の比較考察をめぐって	大下 丈平	80(5/6)	2014(H26)
2006	概念フレームワークにおけるリサイクリング問題について	岩崎 勇	80(5/6)	2014(H26)
2007	グローバルな会計基準設定主体としてのIASB : IASCからIASBへの組織改革	大石 桂一	80(5/6)	2014(H26)
2008	北海道開拓使官有物払下げ事件についての再検討 : 誰が情報をリークしたのか	宮地 英敏	80(5/6)	2014(H26)
2009	破綻距離 (DD) を用いた1990年代生保破綻の分析 : Analysis on Insolvency of Life Insurers in the '90s by Distance to Default	茶野 努	80(5/6)	2014(H26)
2010	S. ヴェイル(Steven Vale : 国連欧州経済委員会)編著『政府統計のための行政的なデータソースと第2次的なデータソースの利用 : 原則と実務にかんするハンドブック』第1部	浜砂 敬郎	80(5/6)	2014(H26)
2011	「情報化のグローバル化」から何を学ぶか	篠崎 彰彦	別冊20	2014(H26)
2012	私の研究ノートから : 中小企業家の群像No. 8	山本 健兒	別冊20	2014(H26)
2013	アメーバ経営の導入効果の検証 : (株)カズマにおける従業員意識と財務業績の向上	丸田 起大	81(1)	2014(H26)
2014	日米情報化投資における構造変化の推定 : チョウテスト・VAR・誘発効果による分析	時永 祥三	81(1)	2014(H26)
2015	S. ヴェイル(Steven Vale : 国連欧州経済委員会)編著『政府統計のための行政的なデータソースと第2次的なデータソースの利用 : 原則と実務にかんするハンドブック』第2部(完)	浜砂 敬郎	81(1)	2014(H26)
2016	フランスの新しい会計基準設定機関(ANC)の設立の経緯 : 戦後から現代に至る制度的・組織的変容	小津 稚加子	81(2/3)	2014(H26)
2017	1889-1899年ダール染料会社をめぐる認可闘争の特質 : 史料論的概観	田北 廣道	81(2/3)	2014(H26)
2018	非線形システムの生成する多変量時系列に対する共分散構造分析に基づく近似表現と粒子フィルタを用いた状態推定の効率的手法	時永 祥三	81(2/3)	2014(H26)
2019	比較生産費と国際価値 : リカード対ヴァイナー	福留 久大	81(4)	2014(H26)
2020	近世九州農村における下人=奉公人・日雇の類型	秀村 選三	81(4)	2014(H26)
2021	第1次世界大戦期ドイツの社会保険制度 (4)	加来 祥男	81(4)	2014(H26)
2022	粒子フィルタとプライシングによる時系列区分化の手法を用いた非線形時系列生成モデルの推定	時永 祥三	81(4)	2014(H26)
2023	医療サービスの質に関する競争と診療報酬制度	三浦 功	81(4)	2014(H26)
2024	東日本大震災における年齢別死者数と津波の規模 : 小地域統計による基礎的考察	宮崎 毅	81(4)	2014(H26)
2025	New Keynesianモデルにおけるインフレ率と失業率の関係	中村 周史	81(4)	2014(H26)
2026	ソーシャル・キャピタルが医療費負担の評価に与える影響 : 東京23区・政令指定都市居住者へのアンケート調査に基づく実証分析	浦川 邦夫	81(4)	2014(H26)
2027	持続イノベーション経済	久野 国夫	81(4)	2014(H26)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
2028	イギリスの1797年国債応募者についての分析	稲富 信博	81(4)	2014(H26)
2029	Prerequisites for a Network Neutrality Solution : Lessons from an Empirical Analysis of the Japanese Broadband Market	Jitsuzumi Toshiya	81(4)	2014(H26)
2030	信用拡張の支持装置としての担保の架空性について : アメリカン・バンキング・プラクティスにおける収益力	川波 洋一	81(4)	2014(H26)
2031	我が国における病院BSC実務の多様性 : ケースレビューによる類型化の試み	丸田 起大	81(4)	2014(H26)
2032	米国証券取引委員会の創設期における会計規制の方向性	大石 桂一	81(4)	2014(H26)
2033	環境史における「長期の19世紀」 : 「1950年代症候群」を超えて	田北 廣道	81(4)	2014(H26)
2034	江戸・東京における不動産経営史の総括と展望	鷲崎 俊太郎	81(4)	2014(H26)
2035	People's Power against Drug Abuse in Public Spaces in Dortmund, Germany	Yamamoto Kenji	81(4)	2014(H26)
2036	自然エネルギーの普及へ向けた自治システムの構築 : 長野県飯田市を事例として	八木 信一	81(4)	2014(H26)
2037	FASB概念フレームワークのIASBフレームワークへの影響について : 質的特性を中心として	岩崎 勇	81(4)	2014(H26)
2038	M&Aに伴う市場集中度の変化が競合他社の研究開発戦略に及ぼす影響	永田 晃也	81(4)	2014(H26)
2039	小標本の階層別データが持つ偏りの補正を目的とした所得分布のバイズ推定	福井 昭吾	81(5/6)	2015(H27)
2040	人口減少社会と地域金融機関経営	堀江 康熙	81(5/6)	2015(H27)
2041	IFRSの概念フレームワークについて : AAAのFASCの見解を中心として(1)	岩崎 勇	81(5/6)	2015(H27)
2042	ドイツ化学企業の立地選択と認可闘争 : 1891年ダール会社の場合	田北 廣道	81(5/6)	2015(H27)
2043	マルチエージェントシステムにおける異質エージェント行動による状態変化分析 : フラクタル・カオス同期分析を中心として	時永 祥三	81(5/6)	2015(H27)
2044	私の研究ノートから : 中小企業家の群像No.9	山本 健兒	別冊21	2015(H27)
2045	戦後沖繩における発送電部門の業態について : 琉球電力公社が設立されるまで	宮地 英敏	82(1)	2015(H27)
2046	第一次世界大戦前ドイツ化学連盟と営業監督官制度 : 雑誌『化学工業』の分析(1)	田北 廣道	82(1)	2015(H27)
2047	時系列区分手法による時間変化多変量ベクトル自己回帰モデルの推定と金融政策ショック分析への応用	時永 祥三	82(1)	2015(H27)
2048	日本の女性雇用の変化 : 1992-2012	遠藤 雄二	82(2/3)	2015(H27)
2049	比較生産費と国際価値 : サムエルソン会長講演	福留 久大	82(2/3)	2015(H27)
2050	IASBの概念フレームワークについて : AAAのFASCの見解を中心として(2)	岩崎 勇	82(2/3)	2015(H27)
2051	第一次世界大戦前ドイツ化学連盟と営業監督官制度 : 雑誌『化学工業』の分析(2)	田北 廣道	82(4)	2015(H27)
2052	第1次世界大戦期ドイツの社会保険制度 (5)	加来 祥男	82(4)	2015(H27)
2053	比較生産費と国際価値 : リカード対アーウィン	福留 久大	82(4)	2015(H27)
2054	ベトナム証券市場の非線形時系列分析	儲 梅芬	82(5/6)	2016(H28)
2055	経営環境の変化と地域銀行の対応	堀江 康熙	82(5/6)	2016(H28)
2056	19世紀末ドイツ化学会社の認可審査と営業監督官 : ダール染料会社を中心に	田北 廣道	82(5/6)	2016(H28)
2057	Industrial district of Arita porcelain in southwestern Japan : Its struggle for revitalization under the long-term stagnation of Japanese economy	Yamamoto Kenji	82(5/6)	2016(H28)
2058	概念フレームワークと計算構造について : IASBの新しい概念フレームワークを中心として	岩崎 勇	82(5/6)	2016(H28)
2059	スピンオフ企業の行動規範と親会社の出資戦略	吉田 友紀	82(5/6)	2016(H28)
2060	英国一五四七年三号法 : 『資本論』邦訳誤訳例	福留 久大	82(5/6)	2016(H28)
2061	私の研究ノートから : 中小企業家の群像No.10	山本 健兒	別冊22	2016(H28)
2062	「管理会計イノベーションの普及」とは何か : 管理会計の発展と変化の視点から	大下 丈平	83(1)	2016(H28)
2063	サーバイデータによる景気、消費者意識指標の分析	佐伯 親良	83(1)	2016(H28)
2064	インドにおける情報産業の発展経過と人材育成に関する考察 : バンガロール・ムンバイの現地調査から	篠崎 彰彦	83(1)	2016(H28)
2065	The choice modeling approach to evaluation of public health insurance system in Japan	Urakawa Kunio	83(1)	2016(H28)
2066	第1次世界大戦期ドイツの社会保険制度 (6)	加来 祥男	83(2/3)	2016(H28)
2067	江戸の土地資産市場と不動産抵当金融 : 築地・鉄砲洲地区における町屋敷売買と家賃の事例	鷲崎 俊太郎	83(2/3)	2016(H28)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
2068	第一次世界大戦前ドイツにおける化学工場の立地と認可制度：バイエル会社の場合 (1)	田北 廣道	83(2/3)	2016(H28)
2069	英国一五四七年三号法：『資本論』英訳誤訳例	福留 久大	83(2/3)	2016(H28)
2070	第一次世界大戦前ドイツにおける化学工場の立地と認可制度：バイエル会社の場合(2)	田北 廣道	83(4)	2016(H28)
2071	Literature Review of Repeated Game Analyses on International Environmental Agreements	Fujita Toshiyuki	83(4)	2016(H28)
2072	How David Ricardo Has Been Misunderstood：The Case of Douglas A. Irwin	Fukudome Hisao	83(4)	2016(H28)
2073	債務の株式化：長谷工コーポレーションの成功事例	大坪 稔	83(5/6)	2017(H29)
2074	近年の金融経済環境と不動産取引の動向	堀江 康熙	83(5/6)	2017(H29)
2075	中世後期ブラバント公権と都市：近代国家形成過程における君主=都市関係の予備的考察	藤井 美男	83(5/6)	2017(H29)
2076	日本の職場における働き方革命について考える	遠藤 雄二	83(5/6)	2017(H29)
2077	対リカード誤解の構造：D・アーウィンの場合	福留 久大	83(5/6)	2017(H29)
2078	コントロールのパラドックスとビジネス・モデル：H. ブッカンのコントロール論を読み解く	大下 丈平	84(1)	2017(H29)
2079	沖縄石油資源開発株式会社の構想と挫折：尖閣諸島沖での油田開発が最も実現に近づいた時	宮地 英敏	84(1)	2017(H29)
2080	第1次世界大戦期ドイツの社会保険制度 (7)	加来 祥男	84(1)	2017(H29)
2081	FASB の概念フレームワークについて：財務諸表に対する注記を中心として	岩崎 勇	84(1)	2017(H29)
2082	『資本論』の沙翁引用：マルクスの演劇的筆法	福留 久大	84(1)	2017(H29)
2083	第一次世界大戦前ドイツ化学工業をめぐる環境闘争の指導者と労働者の役割(1)	田北 廣道	84(2/3)	2017(H29)
2084	コンピュータ会計の発展に伴う複式簿記の変容について	岩崎 勇	84(2/3)	2017(H29)
2085	A Nonlinear Analysis on the Euro Exchange Rate Using MF-DFA	Chu Meifen	84(2/3)	2017(H29)
2086	『資本論』の沙翁引用：引用先と引用元の一覧	福留 久大	84(2/3)	2017(H29)
2087	京都市産業局商工貿易課編『京都陶磁器工業の実態』	宮地 英敏	84(2/3)	2017(H29)
2088	包括的機会・逸失機械統制(COLC)モデルにおける外国為替リスクと利益改善	西村 明	84(4)	2017(H29)
2089	第一次世界大戦前ドイツ化学工業をめぐる環境闘争の指導者と労働者の役割 (2)	田北 廣道	84(4)	2017(H29)
2090	IASBの概念フレームワークについて：財務諸表における表示・開示を中心として	岩崎 勇	84(4)	2017(H29)
2091	モロッコにおける会計基準の二分化：国際会計基準(IFRS)採用と自国基準の再構築の課題	小津 稚加子	84(4)	2017(H29)
2092	「資本論」の沙翁引用：商品は貨幣を恋い慕う	福留 久大	84(4)	2017(H29)
2093	地域銀行の収益力と将来	堀江 康熙	84(5/6)	2018(H30)
2094	ドイツ経済復活の鍵としてのミッテルシュタントと地域経済：Audretsch and Lehmann (2016) とEwing (2014) の見解を踏まえて	山本 健兒	84(5/6)	2018(H30)
2095	A. スミス『国富論』第5編第1章「経費論」の再検討：『道徳感情論』の「正義論」との関連で	川脇 慎也	84(5/6)	2018(H30)
2096	How David Ricardo Has Been Misunderstood：The Case of Jacob Viner	Fukudome Hisao	84(5/6)	2018(H30)
2097	地域経済の4つの支柱とシュタントオルトポリティークの意義：David B. Audretsch による議論の再検討	山本 健兒	85(1)	2018(H30)
2098	19世紀ドイツ・ソーダ工業と環境闘争：1838-79年マテス=ヴェーバー会社の場合	田北 廣道	85(1)	2018(H30)
2099	コントロールのパラドックスとガバナンス・コントロール：ビジネス・モデルの構築が意味するもの	大下 丈平	85(1)	2018(H30)
2100	OHADA (アフリカ商事法調和化機構) 会計システムの形成過程：ユーロ・アフリカ・モデル構築の試み	小津 稚加子	85(1)	2018(H30)
2101	The Case of Foreign-born Laborers in Japan：Social Capital, Health, and Well-Being	Urakawa Kunio	85(1)	2018(H30)
2102	『資本論』の沙翁引用：価値形態論の端緒規定	福留 久大	85(1)	2018(H30)
2103	管理会計研究序説：管理会計と不確実性	西村 明	85(2/3)	2018(H30)
2104	経済学と労働価値説(前編)：『資本論』の歴史的役割と理論的超克	逢坂 充	85(2/3)	2018(H30)
2105	出生率の地域差に関するクロスセクション分析	福井 昭吾	85(2/3)	2018(H30)
2106	『資本論』の沙翁引用：価値対象性という概念	福留 久大	85(2/3)	2018(H30)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
2107	第一次世界大戦前ドイツ・ソーダ工業と環境闘争：1879-1906年マテス=ヴェーバー会社の場合	田北 廣道	85(4)	2018(H30)
2108	昭和金融恐慌下における十七銀行の状況と安田銀行	宮地 英敏	85(4)	2018(H30)
2109	江戸における米価と不動産抵当金利の時系列推計分析：八王子米価と築地・鉄砲洲地区家賃利率	鷺崎 俊太郎	85(4)	2018(H30)
2110	地域経済の構造転換と「場所に関する戦略的経営」：オーストリア・フォラールベルク州の事例	山本 健兒	85(4)	2018(H30)
2111	Multifractal Characteristics of the Euro Exchange Rate	Chu Meifen	85(4)	2018(H30)
2112	『資本論』の沙翁引用：商品と貨幣の非対称性	福留 久大	85(4)	2018(H30)
2113	信用金庫の収益力と将来	堀江 康熙	85(5/6)	2019(H31)
2114	ネットワークにおけるEdge Snappingによる構成要素間の結合係数変化のモデル化を用いた連携分析とその応用	時永 祥三	85(5/6)	2019(H31)
2115	経済学と労働価値説(中編)：『資本論』の歴史的役割と理論的超克	逢坂 充	85(5/6)	2019(H31)
2116	明治期における中小鉱業経営：大阪鉱業株式会社を事例として(1)	北澤 満	85(5/6)	2019(H31)
2117	『資本論』の沙翁引用：貨幣の神の如き全能性	福留 久大	85(5/6)	2019(H31)
2118	環境史史料を読む：もう一つの研究サーヴェイ	田北 廣道	86(1)	2019(R1)
2119	18世紀後半から19世紀初頭の3%コンソル保有者の一断面：未請求者リストの分析	稲富 信博	86(1)	2019(R1)
2120	地域経済とイノベティブな企業群：オーストリア・フォラールベルク州における製造企業最大4社の事例	山本 健兒	86(1)	2019(R1)
2121	明治期における中小鉱業経営：大阪鉱業株式会社を事例として(2)	北澤 満	86(1)	2019(R1)
2122	遺伝的プログラミングを用いた動的バイズネットワーク記述における形状変化の推定とその応用	時永 祥三	86(2/3)	2019(R1)
2123	信用組合の収益力と将来	堀江 康熙	86(2/3)	2019(R1)
2124	スラック概念と包括的機会・逸失機会統制モデル	西村 明	86(2/3)	2019(R1)
2125	昭和金融恐慌と緊急勅令	宮地 英敏	86(2/3)	2019(R1)
2126	価値形態論と貨幣起源：マルクス批判の反批判	福留 久大	86(2/3)	2019(R1)
2127	環境史史料を読む：自動車の登場と塵埃問題	田北 廣道	86(4)	2019(R1)
2128	経済学と労働価値説(続中編)：『資本論』の歴史的役割と理論的超克	逢坂 充	86(4)	2019(R1)
2129	Subjective Poverty Equivalence Scales in Japan: Empirical Analysis by Regional Area and Household Type	Urakawa Kunio	86(4)	2019(R1)
2130	価値形態論と原始貨幣：マルクス批判の反批判	福留 久大	86(4)	2019(R1)
2131	サプライチェーン管理における異質エージェントのモデル化とトモグラフィを用いた確率分布推定	時永 祥三	86(5/6)	2020(R2)
2132	環境史史料を読む：水汚染の環境史への導入	田北 廣道	86(5/6)	2020(R2)
2133	オーストリア・フォラールベルク州の優良企業：合成樹脂製容器、繊維、運輸の各部門に属する諸企業の事例	山本 健兒	86(5/6)	2020(R2)
2134	農業協同組合の収益力と将来	堀江 康熙	86(5/6)	2020(R2)
2135	環境史史料を読む：エムシャー組合の形成と活動(1)	田北 廣道	87(1/3)	2020(R2)
2136	伝統的工業部門で進化したオーストリア・フォラールベルク企業	山本 健兒	87(1/3)	2020(R2)
2137	経済学と労働価値説(後編)：『資本論』の歴史的役割と理論的超克	逢坂 充	87(1/3)	2020(R2)
2138	価値形態論と貸付取引：マルクス批判の反批判	福留 久大	87(1/3)	2020(R2)
2139	環境史史料を読む：エムシャー組合の形成と活動(2)	田北 廣道	87(4)	2020(R2)
2140	Evolution of a Small and Medium-sized Enterprise in a Peripheral Area of Japan into a Hidden Champion	Yamamoto Kenji	87(4)	2020(R2)
2141	Estimating States of Variables in Nonlinear Models used for Supplier-Retailer Relation based on Particle Filters and its Applications to Suppression of Bullwhip Effects	Tokinaga Shozo	87(4)	2020(R2)
2142	『資本論』の沙翁引用：物神崇拜と『空騒ぎ』	福留 久大	87(4)	2020(R2)
2143	地域銀行の経営再編とその効果	堀江 康熙	87(5/6)	2021(R3)
2144	現代フランスコントロール論の系譜：パラドックス、ビジネスモデル、共創戦略	大下 丈平	87(5/6)	2021(R3)
2145	新型コロナウイルス感染症対策下におけるオンライン授業の成果と課題：九州大学経済学部「日本経済史」における学生の受講実態とメッセージ	鷺崎 俊太郎	87(5/6)	2021(R3)
2146	『資本論』の沙翁引用：日本人研究者の優位性	福留 久大	87(5/6)	2021(R3)
2147	オーストリア・フォラールベルク州における機械・電子機器製造部門の多様な優良企業群	山本 健兒	88(1)	2021(R3)
2148	環境史史料を読む：1904-1908年ライン上流域の生物学的調査	田北 廣道	88(1)	2021(R3)

No.	論文タイトル	著者	巻号	発行年
2149	Do the learning opportunities from university experiences affect preferences for redistribution? - The case of Japan	Urakawa Kunio	88(1)	2021(R3)
2150	イニスの貨幣＝信用論：或る空論の批判的検討	福留 久大	88(1)	2021(R3)
2151	中国上海市の住宅価格バブルに関する一考察	王 佳	88(2/3)	2021(R3)
2152	環境史史料を読む：第1次大戦前ドイツ化学工業の「汚染の避難地」(1)	田北 廣道	88(2/3)	2021(R3)
2153	オーストリア・フォラールベルク州の活力ある中小企業	山本 健兒	88(2/3)	2021(R3)
2154	Estimation of Connectivity among Units of Vector Auto-Regressive Models Based On the Edge Snapping and its Applications to the Network Formations / Disruptions Analysis	Tokinaga Shozo	88(2/3)	2021(R3)
2155	進化する産業集積とイノベーション：研究・政策動向に関する覚書	與倉 豊	88(4)	2021(R3)
2156	近代東京における旧福山藩士族のファミリーヒストリー分析：明治期の新聞と昨今のデータベースから紡ぐ江木高遠・保男兄弟の生涯	鷺崎 俊太郎	88(4)	2021(R3)
2157	高度経済成長期の銀行機械化における後発事例の分析：福岡銀行を対象として	宮地 英敏	88(4)	2021(R3)
2158	『飯田市公民館活動記録』の分析：地域自治組織設立後を対象として	八木 信一	88(4)	2021(R3)
2159	貨幣史家のケインズ論：マルクス批判の反批判	福留 久大	88(4)	2021(R3)
2160	環境史史料を読む：第1次大戦前ドイツ化学工業の「汚染の避難地」(2)	田北 廣道	88(5/6)	2022(R4)
2161	Estimation of Occurrence of Jumps in Time Series Models Including Jump Diffusion Processes and Their Applications to Optimal Portfolio Formations	Tokinaga Shozo	88(5/6)	2022(R4)
2162	信用金庫の経営問題：コロナ禍と合併効果	堀江 康熙	88(5/6)	2022(R4)
2163	コロナウイルス時代における価値創造と管理会計	西村 明	88(5/6)	2022(R4)
2164	明治後期釧路地方における石炭販売：大阪鉱業株式会社を事例として	北澤 満	88(5/6)	2022(R4)
2165	福岡市の都市集積に関する一考察	與倉 豊	89(1)	2022(R4)
2166	Multi-Fractality Analysis of Network Traffic based on the Network Tomography and the Genetic Programming and its Applications	Tokinaga Shozo	89(1)	2022(R4)
2167	Do perceptions of the #MeToo movement influence sexual assault reporting? Experimental evidence from Japan	Muroga Kiho	89(1)	2022(R4)
2168	経済学と労働価値説の革新（前編）：現代労働価値説と『諸国民の富』との親和性	逢坂 充	89(1)	2022(R4)
2169	日本の財務再構築：(1) バブルの発生・崩壊と日本の現状	村藤 功	89(1)	2022(R4)
2170	『飯田市公民館活動記録』の分析（続）：地域自治組織設立前を主な対象として	八木 信一	89(2/3)	2022(R4)
2171	アメリカの銀行貸付における収益力概念の定着について	川波 洋一	89(2/3)	2022(R4)
2172	遺伝的プログラミングにより学習するエージェント行動分析を用いた株価生成過程の推定	時永 祥三	89(2/3)	2022(R4)
2173	日本の財務再構築：(2) 事業会社セクターの財務再構築	村藤 功	89(2/3)	2022(R4)
2174	19世紀末フランス工業会計論の再検討：ギルポー「工業会計論」からレオティ＝ギルポー『勘定の科学を皆の手に』へ	大下 丈平	89(4)	2022(R4)
2175	証券投資家間の情報ネットワーク形成過程のEdge Snapping による同期化を用いた分析	時永 祥三、譚 康融	89(4)	2022(R4)
2176	Impacts of US Quantitative Easing on East Asian Currencies	中村 周史	89(4)	2022(R4)
2177	日本の財務再構築：(3) 事業会社セクターの財務再構築	村藤 功	89(4)	2022(R4)